

令和3年度 東京都医師会調査研究委託事業 事業報告書

# 新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と 補助金等経営支援策の状況に関する調査

令和4年3月

一般社団法人 東京都病院協会



令和3年度東京都医師会調査研究委託事業

(調査報告書)

**新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と  
補助金等経営支援策の状況に関する調査**

令和4年3月

一般社団法人 東京都病院協会



# 目次

<b>本調査の目的と結果の概要</b> .....	<b>1</b>
（本調査の目的）.....	1
（調査の視点）.....	2
（調査結果の概要）.....	2
（おわりに）.....	23
<b>新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と補助金等経営支援策の状況に関する調査【詳細、クロス集計】</b> .....	<b>25</b>
（調査票）.....	27
図表 一覧.....	33
回答病院属性.....	37
2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の経営状況.....	46
2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の病床利用率および外来患者数の状況.....	51
2019年度上半期から2021年度上半期の赤字割合.....	54
2020年度下半期と2021年度上半期のコロナ患者・回復患者の受入れ.....	61
補助金等経営支援策の活用状況.....	73
区市町村独自の補助金等の活用状況.....	83
ポストコロナを踏まえた経営の在り方について.....	102

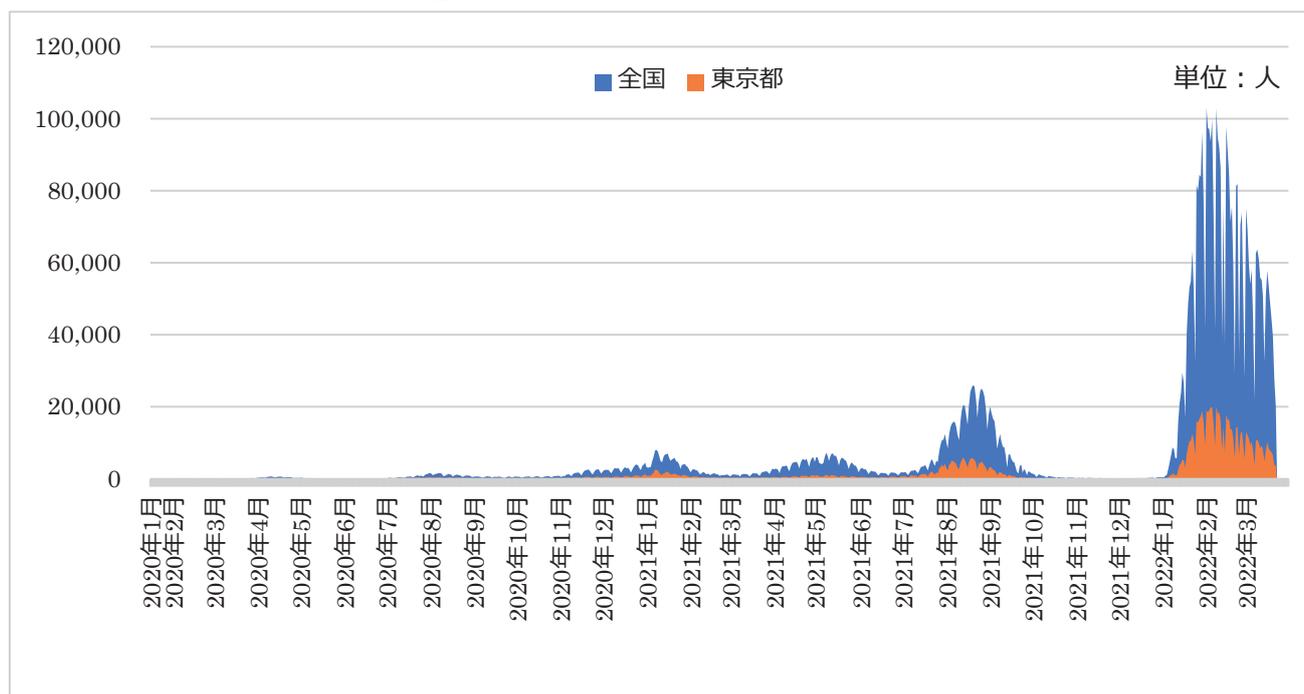


## 本調査の目的と結果の概要

(本調査の目的)

新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)は2020年1月以降日本国内で急速に感染拡大し、2022年2月5日には1日の陽性者数としては最大の103,068人(うち東京都18,807人)となるなど猛威を振っています。陽性者の急増により医療供給体制がひっ迫していたため、4度にわたり特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。コロナ患者のため、東京都では2022年3月上旬時点で7,000床以上のコロナ専用病床を確保しています。しかし、継続的に医療提供体制を維持するためには、通常医療とコロナ治療の両立を保ちつつ、重症患者のための病床を確保する必要があります。コロナ専用病床を確保するという事は、当該病院における通常の医療を制限せざるを得ないことにつながり、後方支援を担う病院の役割がますます重要になることを意味します。そのため、この2年間でそうであったように今後も東京都内の病院は一体となって医療提供体制の確保に向け連携していく必要があります。

### ○国内の新型コロナウイルス感染症陽性者数推移



資料出所:厚生労働省ホームページ「国内の発生状況など」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html>

従前より東京都内の病院、特に急性期機能を有する病院の経営状況は、全国平均と比較して厳しい状況にあります。本調査ではコロナ禍での病院経営について現状の経営状況や課題を把握し、今後の政策・施策提言に活用することを目的としています。

また、国または自治体から交付されている補助金の状況を把握し、行政による医療提供体制維持の支援がより効果的になるよう、病院の声として取りまとめることとしております。

## (調査の視点)

### ● コロナ禍前(2019年度)とコロナ禍(2020年度・2021年度)の経営状況の比較

コロナ禍による病院経営への影響は、第23回医療経済実態調査のほか一般社団法人日本病院会・公益社団法人全日本病院協会・一般社団法人日本医療法人協会によるコロナ感染拡大の影響に関する病院経営状況の調査、福祉医療機構(WAM)による病院経営動向調査などがあるものの、東京都内の病院のみを調査したものは昨年度の本事業を除きありませんでした。本調査は2019年度上半期と2020年度上半期の経営状況を調査した2020年度調査の内容を踏まえ、新たな分析の視点として2019年度上半期・2020年度上半期、そして2021年度上半期の都内の病院の経営状況を把握することで、東京都内の病院への影響について経年比較を通じてより明らかにすることに努めました。

### ● 補助金等経営支援策の活用と区市町村独自補助金の状況

コロナ禍による病院経営への悪影響は明らかであったことから、当初から診療報酬上の臨時的な取扱いにより医療提供体制の確保を図ってきたほか、新型コロナウイルス緊急包括支援交付金をはじめとした補助金の創設・拡充により、病床確保や病院経営の安定化を進めてきたところです。しかし、区市町村が状況に応じてそれぞれ補助制度を創設したことから、病院間においても補助金の格差が生まれてきた可能性があります。そこで、今一度都内の病院はどのような補助金を受けているのかを整理し、補助金のあり方を考えることとしました。

## (調査結果の概要)

### ● 回答病院数

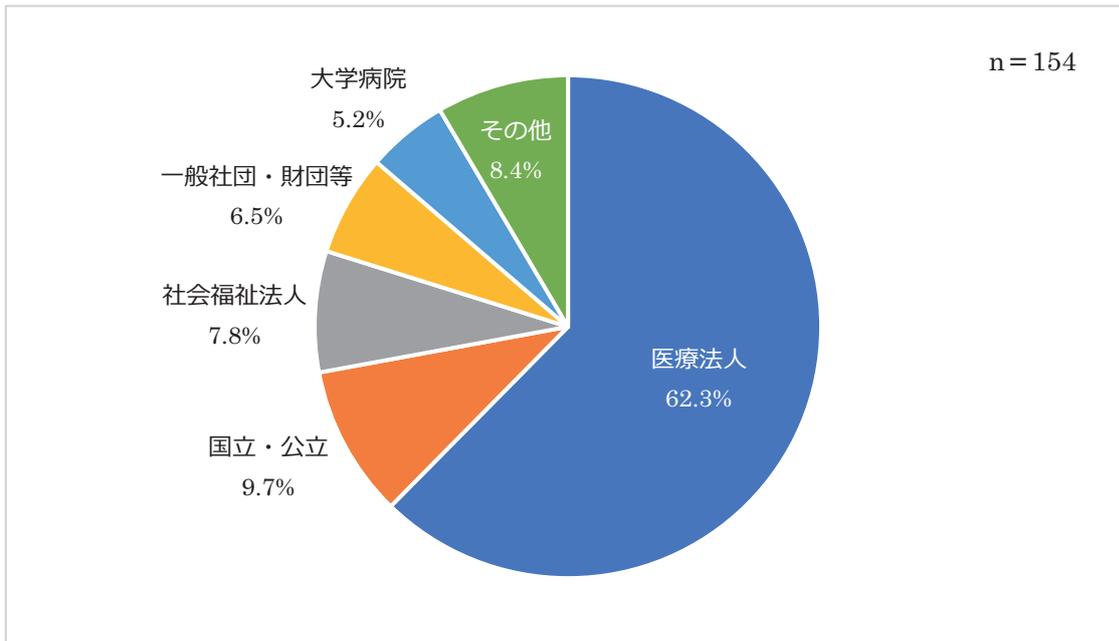
今回の調査は都内637病院に対し依頼状を郵送で送付させていただき、2021年12月3日から2022年1月24日にかけてWeb上で回答いただきました。その結果、感染者数が急増し、業務負担が増加していたにもかかわらず154病院(回答率24.2%)からご回答いただくことができました。ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

● 回答病院の開設主体

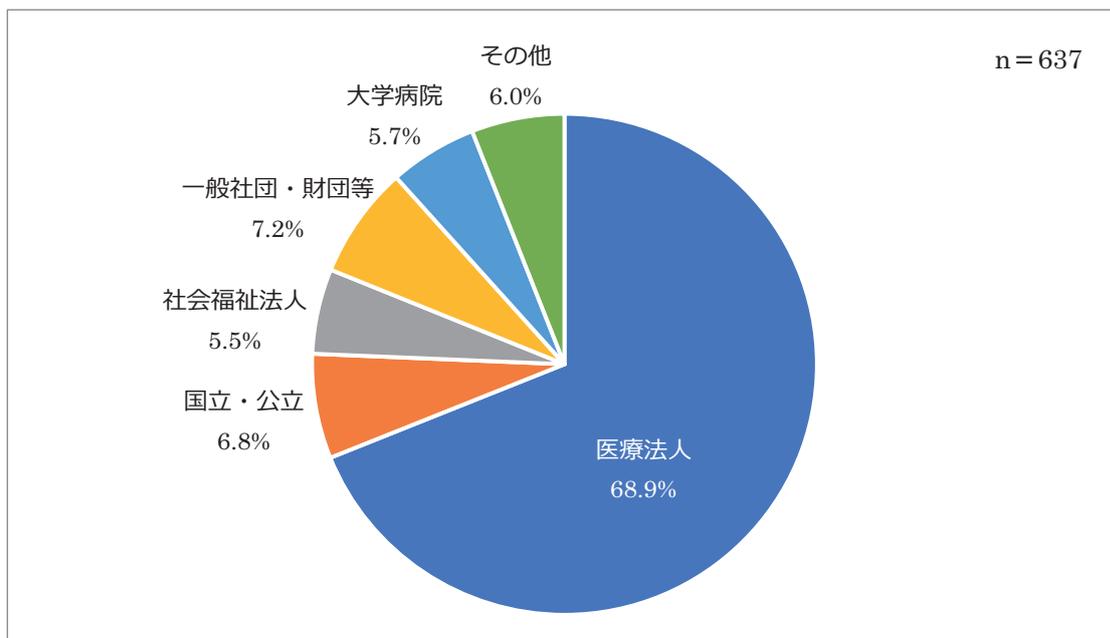
回答病院の開設主体は医療法人が最も多く62.3%でした。

また、母集団である都内全 637 病院の開設主体の割合、病床数の割合、病院類型の割合と比べても大きな差がみられず、母集団の特性を一定程度反映した回答結果が得られるものと推察されます。

○回答病院の開設主体



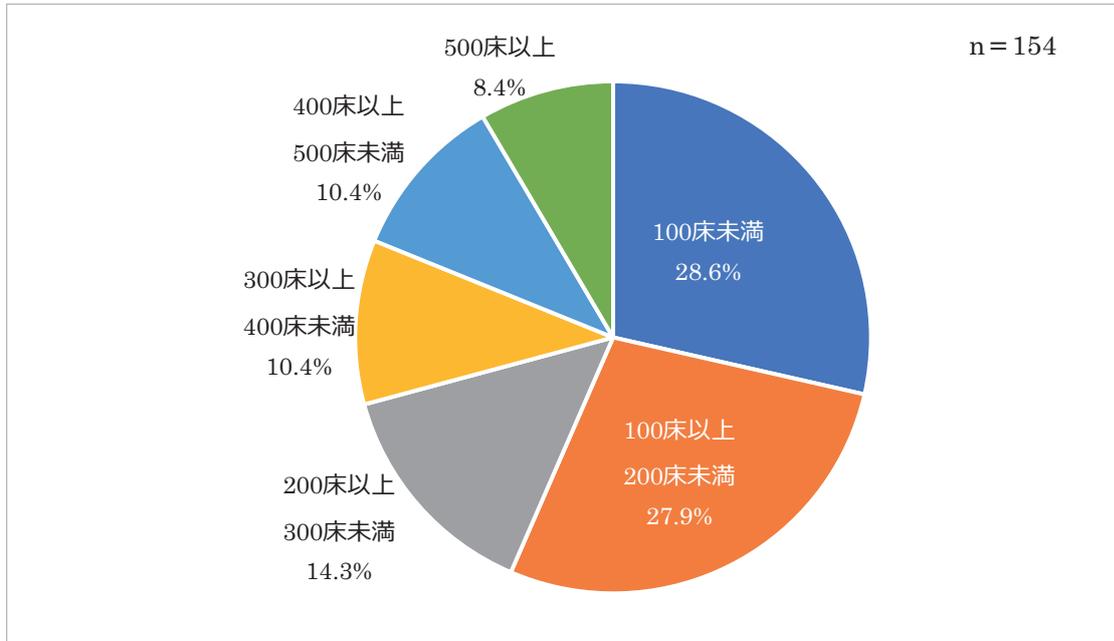
○(参考)東京都内の病院の開設主体



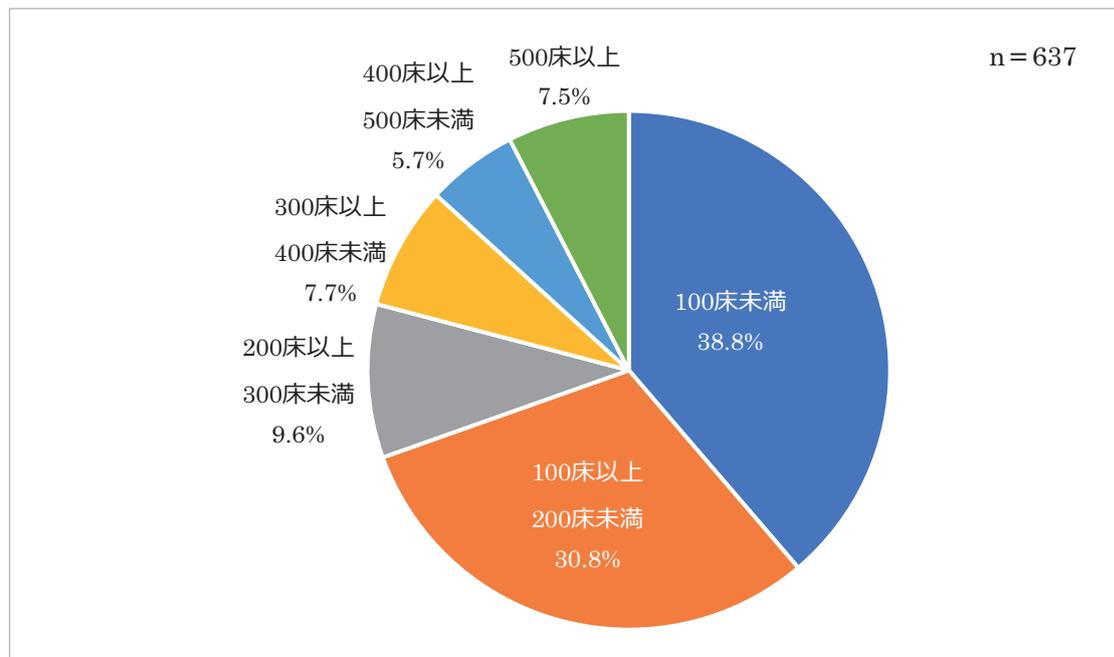
● 回答病院の病床数

回答病院の病床数については、100床未満が最も大きく28.6%、次いで100床以上200床未満が27.9%と続きました。

○回答病院の病床数



○(参考)東京都内の病院の病床数



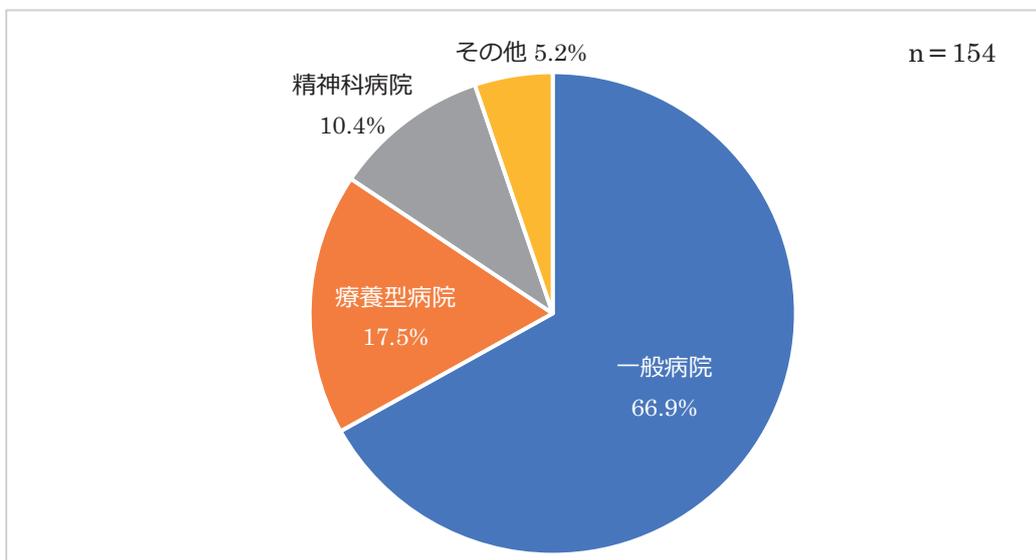
● 回答病院の病院類型

病院の機能によってコロナ禍による病院の経営への影響が異なることが推測されることから、本報告書では医療法上の病床種別を用いて以下のとおり病院類型を定義します。

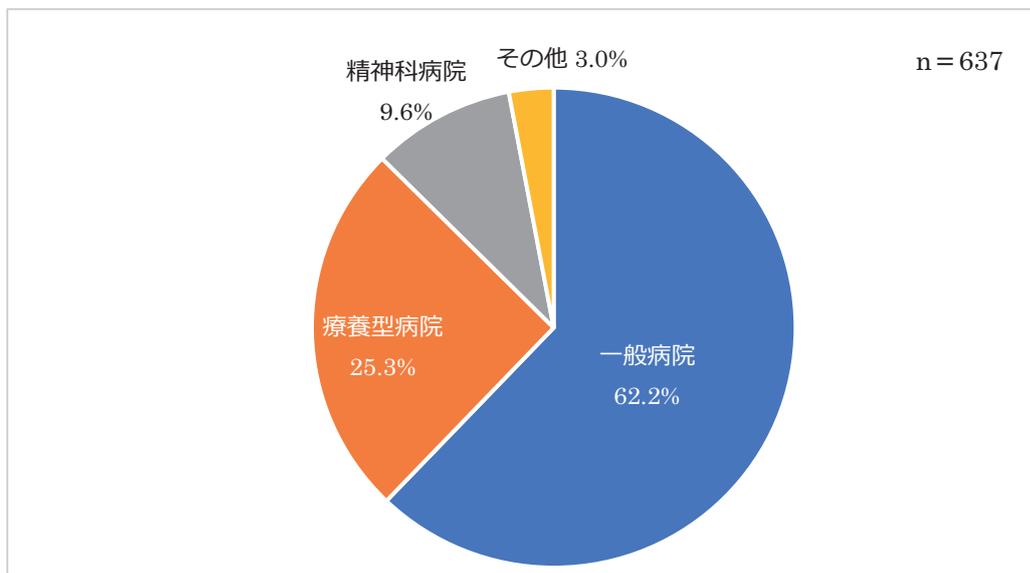
一般病院	全病床に占める一般病床の割合が 50%超の病院
療養型病院	全病床に占める療養病床の割合が 50%超の病院
精神科病院	全病床に占める精神病床の割合が 80%以上の病院

当該定義に沿って回答病院を区分したところ、一般病院が 66.9%、療養型病院が 17.5%、精神科病院が 10.4%でした。その他に分類した病院はいずれの類型にも当てはまらない病院です。

○回答病院の病院類型



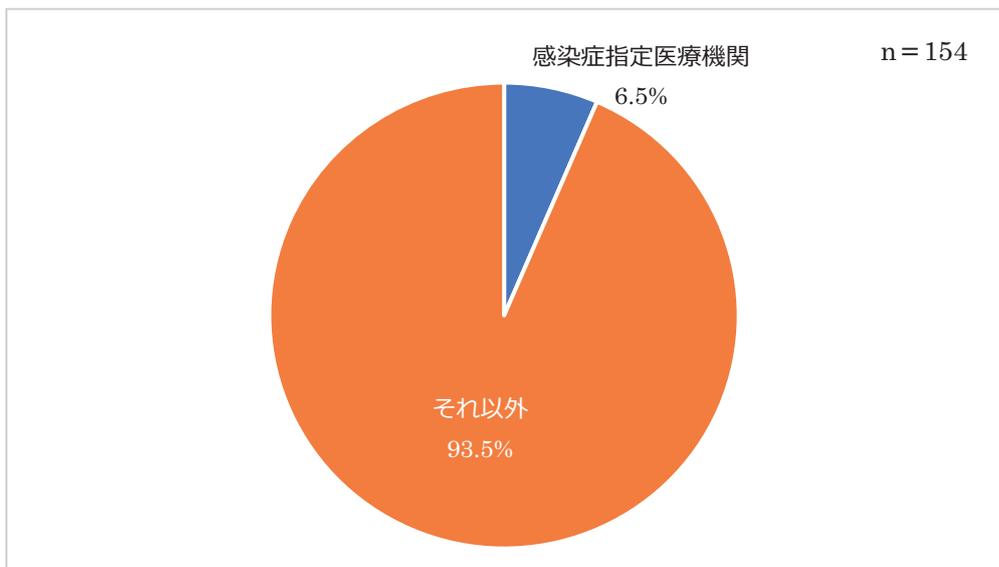
○(参考)東京都内の病院の病院類型



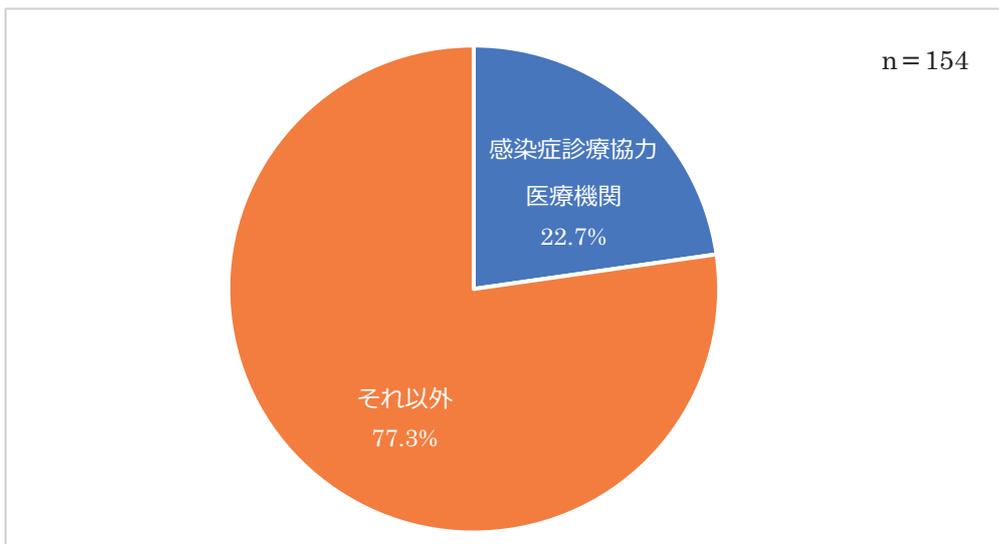
● 感染症指定医療機関等の指定等の有無

回答があった病院のうち、感染症指定医療機関の指定を受けていたのは 6.5%でした。また、感染症診療協力医療機関の指定を受けていたのは 22.7%、新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けていたのは 31.8%でした。発熱外来などを含め、コロナ対応に関し、何らかの指定、登録、設置をしていた病院は 79.8%にのびりました。

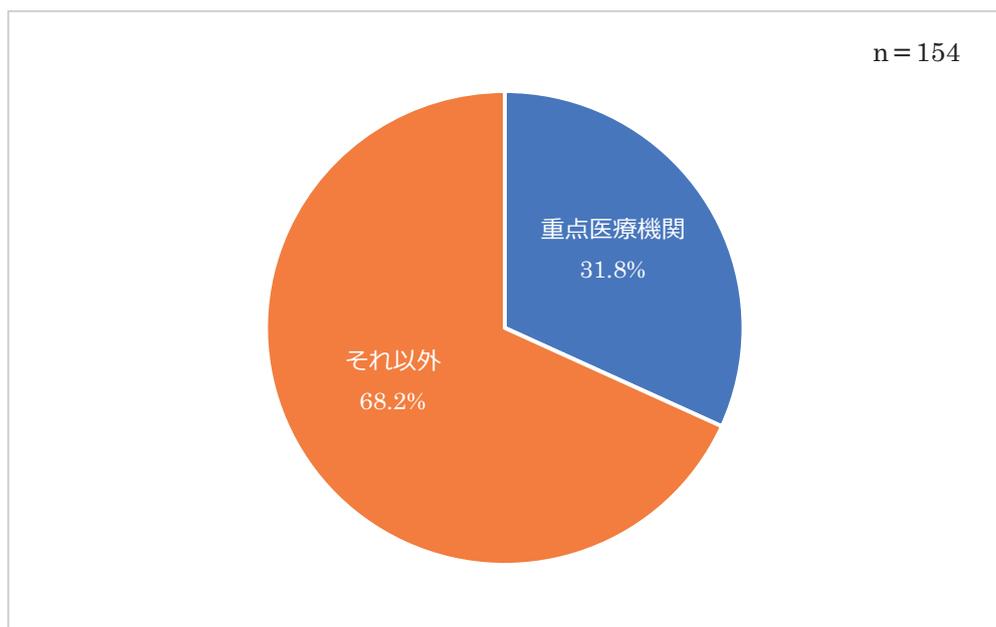
○A 回答病院の感染症指定医療機関の指定有無



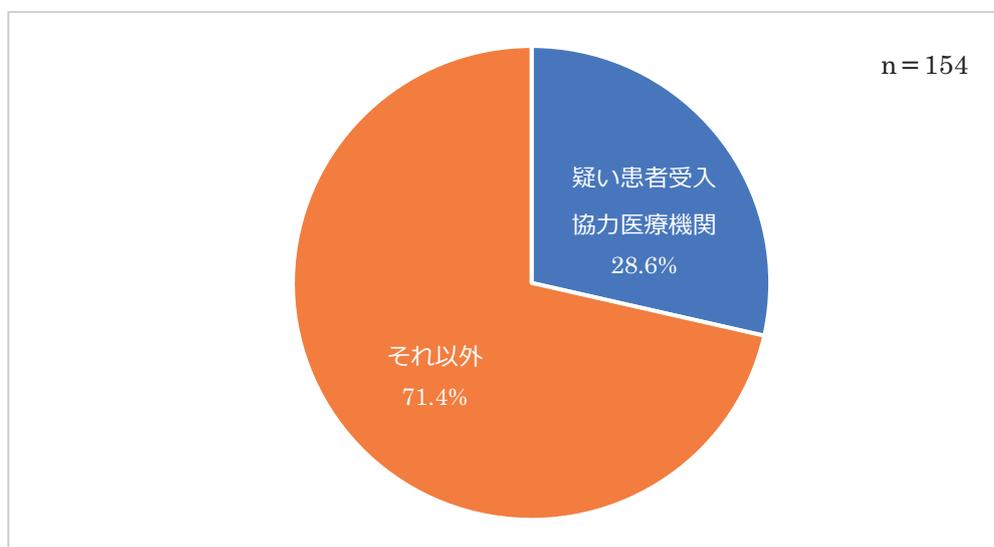
○B 回答病院の感染症診療協力医療機関の指定有無



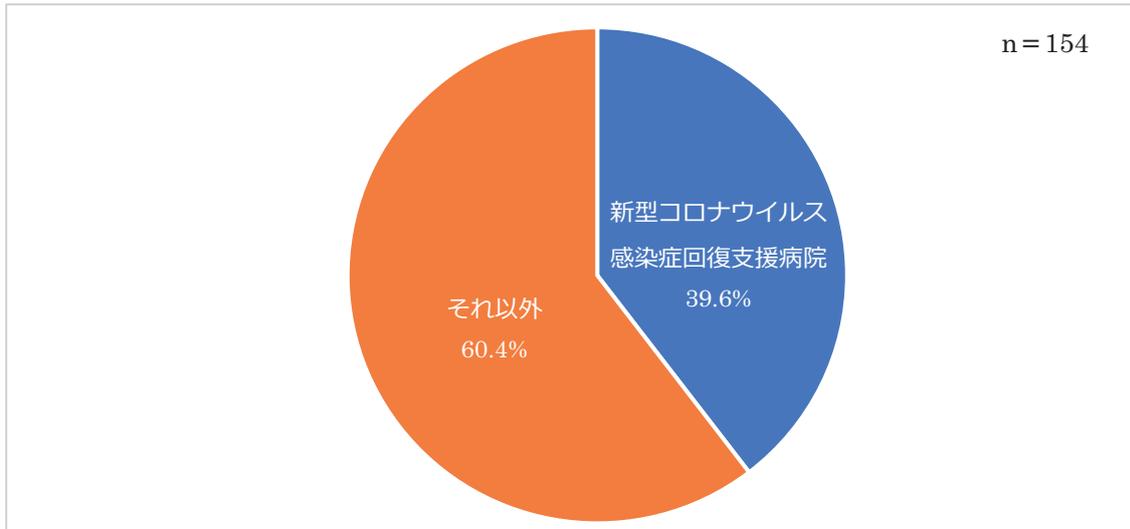
OC 回答病院の新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有無



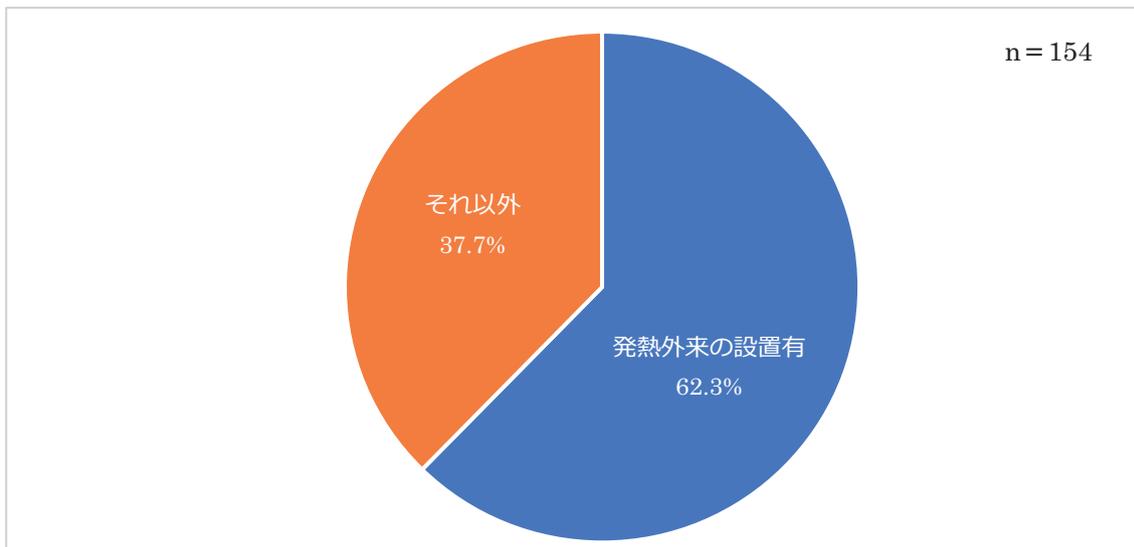
OD 回答病院の新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有無



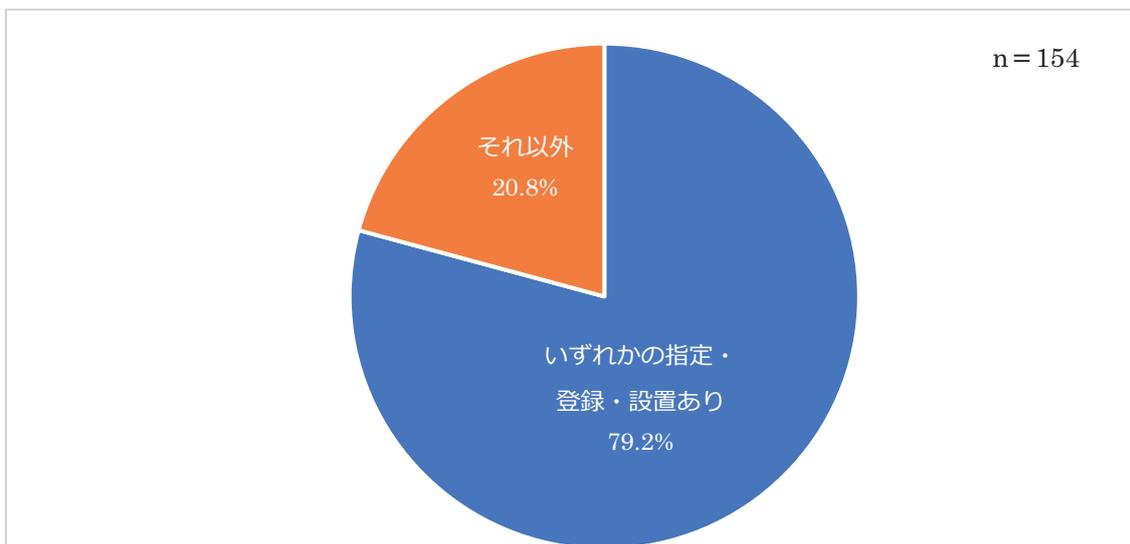
○E 回答病院の新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有無



○F 回答病院の発熱外来の設置有無(過去に設置していた場合を含む)



○回答病院のコロナ対応に関する上記 A~F いずれかの指定・登録・設置の有無



本調査の病院類型ごとの回答数及び有効回答率は以下のとおりです。

調査項目の全部または一部が空白などの回答については経営分析からは除外しておりますが、回答属性や補助金に関する回答の分析には有効に活用しています。

	一般病院	療養型病院	精神科病院	その他	全体	有効回答率
全回答数 (医業収益費用および患者延数無効を含む)	103	27	16	8	154	24.2%
医業収益費用が有効な回答数 (患者延数無効を含む)	86	18	12	7	123	19.3%
医業収益費用・ 患者延数ともに有効な回答数	75	18	10	5	108	17.0%

● 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の経営状況の比較

154病院のうち、医業収益および医業費用について有効な回答があった123病院について、病院類型別に3半期の比較をしたところ、全体としては、医業収益について2020年度下半期も2021年度上半期も2019年度下半期を下回っていました。とくに一般病院では、2020年度下半期は2019年度下半期と比べ医業収益が150,202千円(▲3.84%)も減少していました。

○2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の医業収益

単位：千円

		一般病院 (n = 86) (平均病床 264.9 床)	療養型病院 (n = 18) (平均病床 137.7 床)	精神科病院 (n = 12) (平均病床 285.1 床)	その他 (n = 7) (平均病床 207.7 床)	全体 (n = 123) (平均病床 245.0 床)	
医業収益	2019下半期	3,914,542	835,479	874,114	1,088,179	3,006,471	
	2020下半期	3,764,340	840,172	882,010	1,076,331	2,902,234	
	2021上半期	3,793,321	864,404	900,236	1,079,894	2,928,024	
	2020下半期-2019下半期	▲ 150,202	4,694	7,896	▲ 11,848	▲ 104,236	
	2021上半期-2019下半期	▲ 121,221	28,926	26,122	▲ 8,285	▲ 78,446	
	うち 入院収益	2019下半期	2,589,334	679,342	777,255	961,457	2,040,391
		2020下半期	2,413,690	670,972	782,473	928,479	1,914,991
		2021上半期	2,443,322	703,347	802,931	931,377	1,942,607
		2020下半期-2019下半期	▲ 175,644	▲ 8,370	5,218	▲ 32,978	▲ 125,401
		2021上半期-2019下半期	▲ 146,012	24,005	25,675	▲ 30,080	▲ 97,784
うち 外来収益	2019下半期	1,204,863	115,549	72,005	72,539	870,487	
	2020下半期	1,193,177	120,209	67,817	92,940	863,751	
	2021上半期	1,200,816	120,346	70,876	84,449	868,927	
	2020下半期-2019下半期	▲ 11,686	4,660	▲ 4,189	20,402	▲ 6,736	
	2021上半期-2019下半期	▲ 4,048	4,797	▲ 1,129	11,911	▲ 1,560	

医業費用について、全体では 2020 年度下半期は 2019 年度下半期と比べ 49,521 千円の増加がみられましたが、2021 年度上半期は、2019 年度下半期と比べると減少していました。

医業利益は、全体としていずれの期間においても赤字でした。特に一般病院では、2020 年度下半期は、医業収益の減少と医業費用の増加により赤字額が 426,455 千円となっていました。療養型病院では、2019 年度下半期と 2020 年度下半期は若干の黒字であったものの、2021 年度上半期は利益がほとんどありませんでした。

○2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の医業費用および医業利益

単位：千円

		一般病院 (n = 86) (平均病床 264.9 床)	療養型病院 (n = 18) (平均病床 137.7 床)	精神科病院 (n = 12) (平均病床 285.1 床)	その他 (n = 7) (平均病床 207.7 床)	全体 (n = 123) (平均病床 245.0 床)
医業費用	2019下半期	4,127,498	795,505	873,821	958,462	3,142,106
	2020下半期	4,190,795	806,424	888,650	997,478	3,191,627
	2021上半期	3,990,471	863,435	842,980	991,106	3,055,088
	2020下半期-2019下半期	63,297	10,919	14,829	39,016	49,521
	2021上半期-2019下半期	▲ 137,027	67,930	▲ 30,841	32,644	▲ 87,018
医業利益	2019下半期	▲ 212,956	39,974	293	129,717	▲ 135,635
	2020下半期	▲ 426,455	33,749	▲ 6,640	78,853	▲ 289,393
	2021上半期	▲ 197,150	969	57,256	88,788	▲ 127,064
	2020下半期-2019下半期	▲ 213,499	▲ 6,225	▲ 6,932	▲ 50,864	▲ 153,758
	2021上半期-2019下半期	15,806	▲ 39,004	56,964	▲ 40,929	8,571

● コロナへの対応状況別の経営状況の比較

コロナに対応するためには、一定程度通常の医療について制限せざるを得ない場面もあると考えられます。対応状況別に経営状況を比較すると、「感染症指定医療機関」「感染症診療協力医療機関」「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」「新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」「新型コロナウイルス感染症回復支援病院」「発熱外来の設置」の対応をしている病院では、いずれも 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 3 期間が赤字でした。

感染症指定医療機関は母数が多くはありませんでしたが、いずれも病床規模が大きく、2020 年度下半期は 2019 年度下半期と比べ医業利益は約 10 億円もマイナスが拡大していました。次いで医業利益のマイナスが拡大したのは新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けた病院であり、2020 年度下半期は 2019 年度下半期と比べ約 4 億円拡大していました。

また、12 頁の表にある新型コロナウイルス陽性患者の入院対応をした病院と、回復後の支援のみをした病院を比較すると、ともに医業利益は赤字であるものの、入院対応をした病院では 2019 年度下半期と比べ 2020 年度下半期、2021 年度上半期の医業収益が減少していましたが、回復後の支援のみ実施した病院では、医業収益が増加しているなど、対応状況によって差が出ていることが確認できました。

○コロナへの対応状況別(対応状況別)

2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の経営状況

単位：千円

		感染症指定医療機関の指定有 (n = 9) (平均病床 541.9床)	感染症診療協力医療機関の指定有 (n = 29) (平均病床 384.4床)	新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有 (n = 41) (平均病床 397.5床)	新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有 (n = 40) (平均病床 342.5床)	新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有 (n = 52) (平均病床 179.2床)	発熱外来の設置有 (n = 81) (平均病床 274.8床)	
医業収益	2019下半期	8,598,816	5,345,200	6,332,219	5,119,724	1,517,716	3,652,581	
	2020下半期	7,883,186	5,029,520	5,992,905	4,896,177	1,548,445	3,498,785	
	2021上半期	8,099,805	5,149,536	6,090,159	4,938,139	1,544,653	3,520,772	
	2020下半期-2019下半期	▲ 715,629	▲ 315,680	▲ 339,313	▲ 223,547	30,729	▲ 153,796	
	2021上半期-2019下半期	▲ 499,011	▲ 195,664	▲ 242,060	▲ 181,585	26,937	▲ 131,810	
	うち 入院収益	2019下半期	5,665,480	3,639,726	4,208,091	3,408,743	1,071,719	2,460,059
		2020下半期	4,983,358	3,340,077	3,856,036	3,153,189	1,053,728	2,278,338
		2021上半期	5,225,514	3,418,055	3,933,639	3,194,185	1,073,009	2,310,906
		2020下半期-2019下半期	▲ 682,123	▲ 299,649	▲ 352,055	▲ 255,555	▲ 17,991	▲ 181,722
		2021上半期-2019下半期	▲ 439,966	▲ 221,671	▲ 274,452	▲ 214,559	1,291	▲ 149,153
	うち 外来収益	2019下半期	2,781,979	1,588,067	1,954,368	1,564,886	353,568	1,072,848
		2020下半期	2,648,036	1,549,322	1,921,893	1,555,548	363,394	1,059,926
		2021上半期	2,681,700	1,558,317	1,945,467	1,557,420	354,518	1,059,827
		2020下半期-2019下半期	▲ 133,942	▲ 38,745	▲ 32,475	▲ 9,338	9,826	▲ 12,922
		2021上半期-2019下半期	▲ 100,279	▲ 29,750	▲ 8,901	▲ 7,466	950	▲ 13,021
医業費用	2019下半期	9,410,819	5,634,722	6,749,611	5,356,488	1,539,648	3,842,764	
	2020下半期	9,688,001	5,655,499	6,887,385	5,469,673	1,576,866	3,901,169	
	2021上半期	8,910,512	5,386,096	6,511,737	5,199,774	1,570,201	3,717,767	
	2020下半期-2019下半期	277,182	20,777	137,773	113,185	37,217	58,406	
	2021上半期-2019下半期	▲ 500,307	▲ 248,625	▲ 237,875	▲ 156,713	30,553	▲ 124,996	
医業利益	2019下半期	▲ 812,003	▲ 289,521	▲ 417,393	▲ 236,764	▲ 21,933	▲ 190,182	
	2020下半期	▲ 1,804,814	▲ 625,979	▲ 894,479	▲ 573,496	▲ 28,421	▲ 402,384	
	2021上半期	▲ 810,707	▲ 236,560	▲ 421,578	▲ 261,635	▲ 25,548	▲ 196,996	
	2020下半期-2019下半期	▲ 992,811	▲ 336,457	▲ 477,087	▲ 336,732	▲ 6,488	▲ 212,202	
	2021上半期-2019下半期	1,296	52,961	▲ 4,185	▲ 24,871	▲ 3,615	▲ 6,813	

○新型コロナウイルス感染症への対応状況別(未対応状況別)

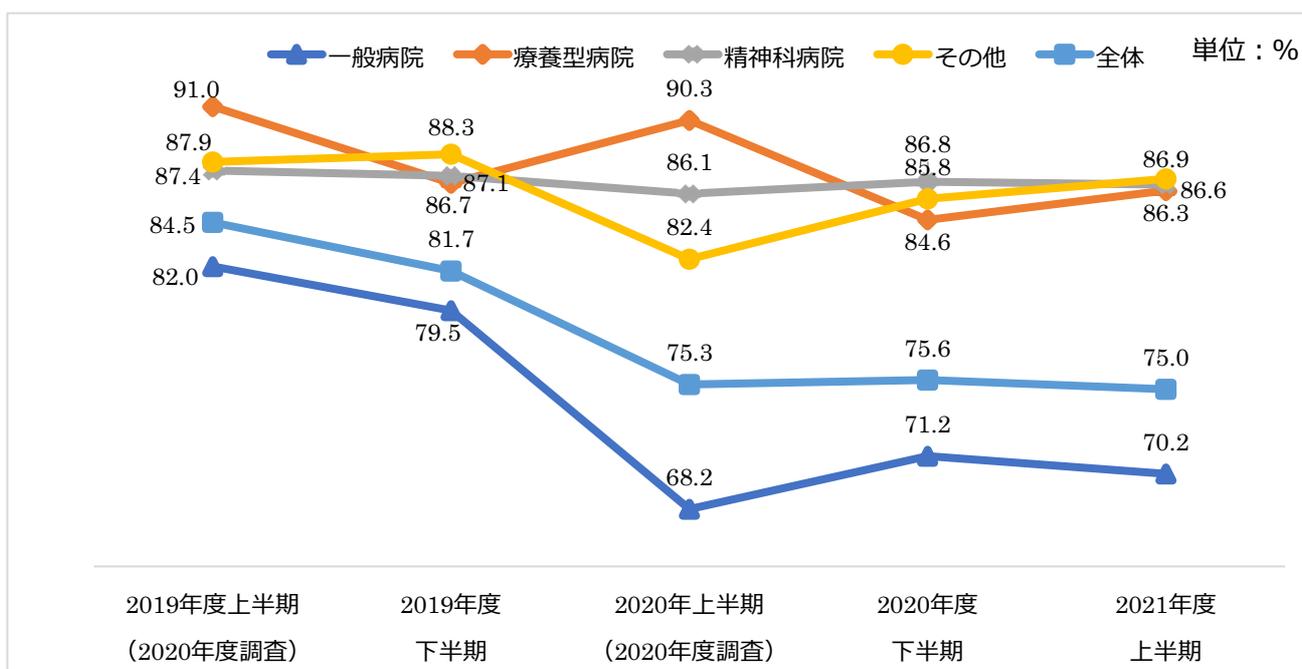
2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の経営状況

単位：千円

		新型コロナウイルス感染症対応有 (いずれか)  (n = 101) (平均病床 266.7 床)	新型コロナウイルス感染症対応有 (外来未実施)  (n = 20) (平均病床 234.1 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援未実施)  (n = 39) (平均病床 416.2 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援のみ実施)  (n = 33) (平均病床 164.1 床)	発熱外来のみ設置 (入院対応未実施)  (n = 10) (平均病床 139.1 床)	未対応  (n = 22) (平均病床 145.5 床)	
医業収益	2019下半期	3,510,140	2,933,251	6,621,495	1,121,405	1,736,457	694,171	
	2020下半期	3,387,789	2,938,253	6,259,924	1,133,865	1,751,046	673,098	
	2021上半期	3,416,198	2,992,677	6,337,637	1,113,605	1,754,622	686,860	
	2020下半期-2019下半期	▲ 122,351	5,002	▲ 361,571	12,461	14,590	▲ 21,074	
	2021上半期-2019下半期	▲ 93,941	59,426	▲ 283,858	▲ 7,800	18,165	▲ 7,311	
	うち 入院収益	2019下半期	2,367,317	1,991,710	4,425,273	858,703	1,078,399	539,507
		2020下半期	2,218,384	1,975,572	4,065,316	842,656	1,071,563	522,139
		2021上半期	2,249,842	2,002,534	4,122,563	843,354	1,065,763	532,120
		2020下半期-2019下半期	▲ 148,933	▲ 16,138	▲ 359,957	▲ 16,048	▲ 6,836	▲ 17,368
		2021上半期-2019下半期	▲ 117,474	10,824	▲ 302,709	▲ 15,350	▲ 12,636	▲ 7,387
	うち 外来収益	2019下半期	1,028,050	846,616	2,057,200	204,751	521,666	147,133
		2020下半期	1,021,733	867,052	2,025,219	201,189	531,499	138,472
		2021上半期	1,027,101	894,560	2,046,933	190,788	547,185	142,765
		2020下半期-2019下半期	▲ 6,317	20,436	▲ 31,982	▲ 3,562	9,833	▲ 8,661
		2021上半期-2019下半期	▲ 949	47,944	▲ 10,267	▲ 13,963	25,519	▲ 4,368
医業費用	2019下半期	3,669,688	2,968,734	6,994,239	1,106,899	1,780,149	720,022	
	2020下半期	3,732,287	3,048,313	7,117,082	1,112,046	1,739,778	709,507	
	2021上半期	3,568,974	2,966,362	6,705,617	1,088,692	1,729,686	695,884	
	2020下半期-2019下半期	62,598	79,579	122,843	5,147	▲ 40,371	▲ 10,514	
	2021上半期-2019下半期	▲ 100,714	▲ 2,372	▲ 288,622	▲ 18,207	▲ 50,463	▲ 24,138	
医業利益	2019下半期	▲ 159,549	▲ 35,483	▲ 372,744	14,506	▲ 43,693	▲ 25,850	
	2020下半期	▲ 344,498	▲ 110,060	▲ 857,158	21,819	11,268	▲ 36,410	
	2021上半期	▲ 152,776	26,315	▲ 367,980	24,913	24,936	▲ 9,024	
	2020下半期-2019下半期	▲ 184,950	▲ 74,576	▲ 484,413	7,313	54,961	▲ 10,559	
	2021上半期-2019下半期	6,773	61,799	4,764	10,408	68,629	16,827	

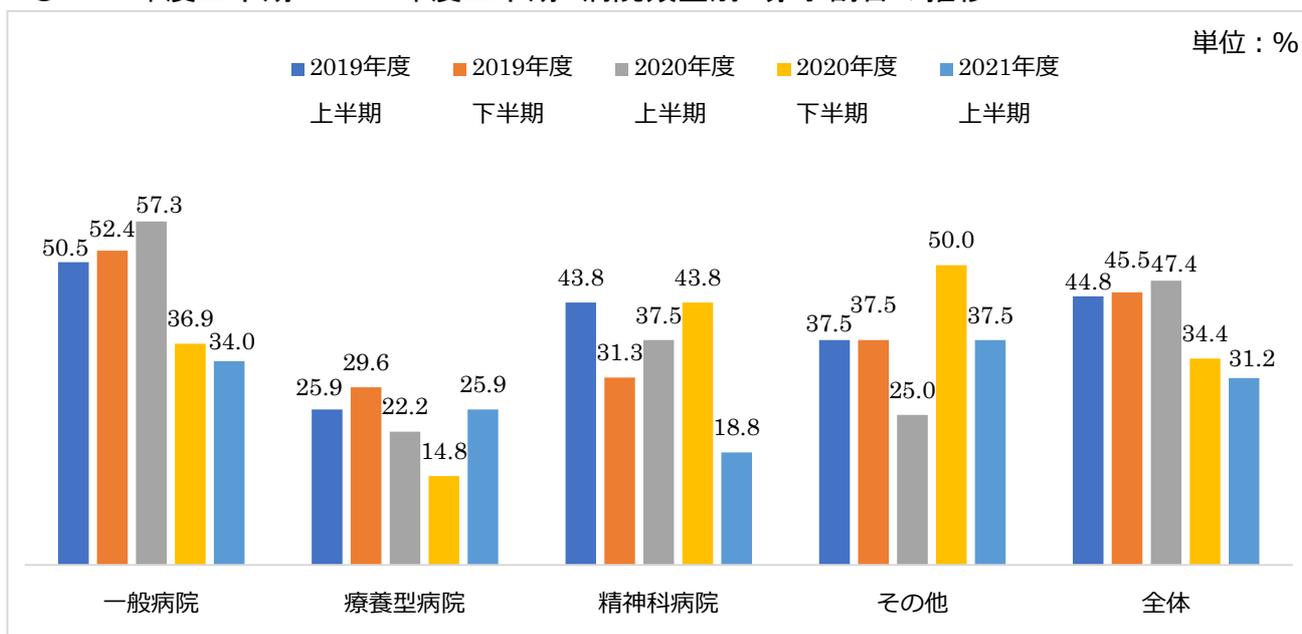
- 2020年度調査と今回調査の結果から見える、2019年度から2021年度上半期の経営状況  
一般病院は1回目の緊急事態宣言が発令された2020年度上半期の病床利用率が68.2%となり、前年度同期と比べて13.8ポイントも低下していました。そのため、一般病院の赤字割合は2020年度上半期には57.3%となるなど、経営状況の悪化がみられたところです。

○2019年度上半期～2021年度上半期 病院類型別 病床利用率の推移



(母数)	一般病院	療養型病院	精神科病院	その他	全体
2020年度調査	71	31	17	2	121
2021年度調査	91	26	15	6	138

○2019年度上半期～2021年度上半期 病院類型別 赤字割合の推移



● 国や都などが交付主体である補助金等経営支援策の活用状況

これまで、2019 年度と比較した 2020 年度および 2021 年度上半期の経営状況を見てきましたが、本業である医業利益は、多くの病院で減少しており、とくにコロナ対応を行った病院では、医業収益の減少に見られたように経営の悪化が顕著でした。

その理由としては、コロナ対応に医療資源を投入した結果、通常の医療を一定程度制限せざるを得なかったことが挙げられます。また、医業収益が減少していなくとも、手袋や個人防護具といった非償還材料の購入、消毒や清掃頻度の増加、あるいは小学校の休校などにより職員が勤務できなくなった場合に備えた人員の確保などの費用の増加がありえるところです。

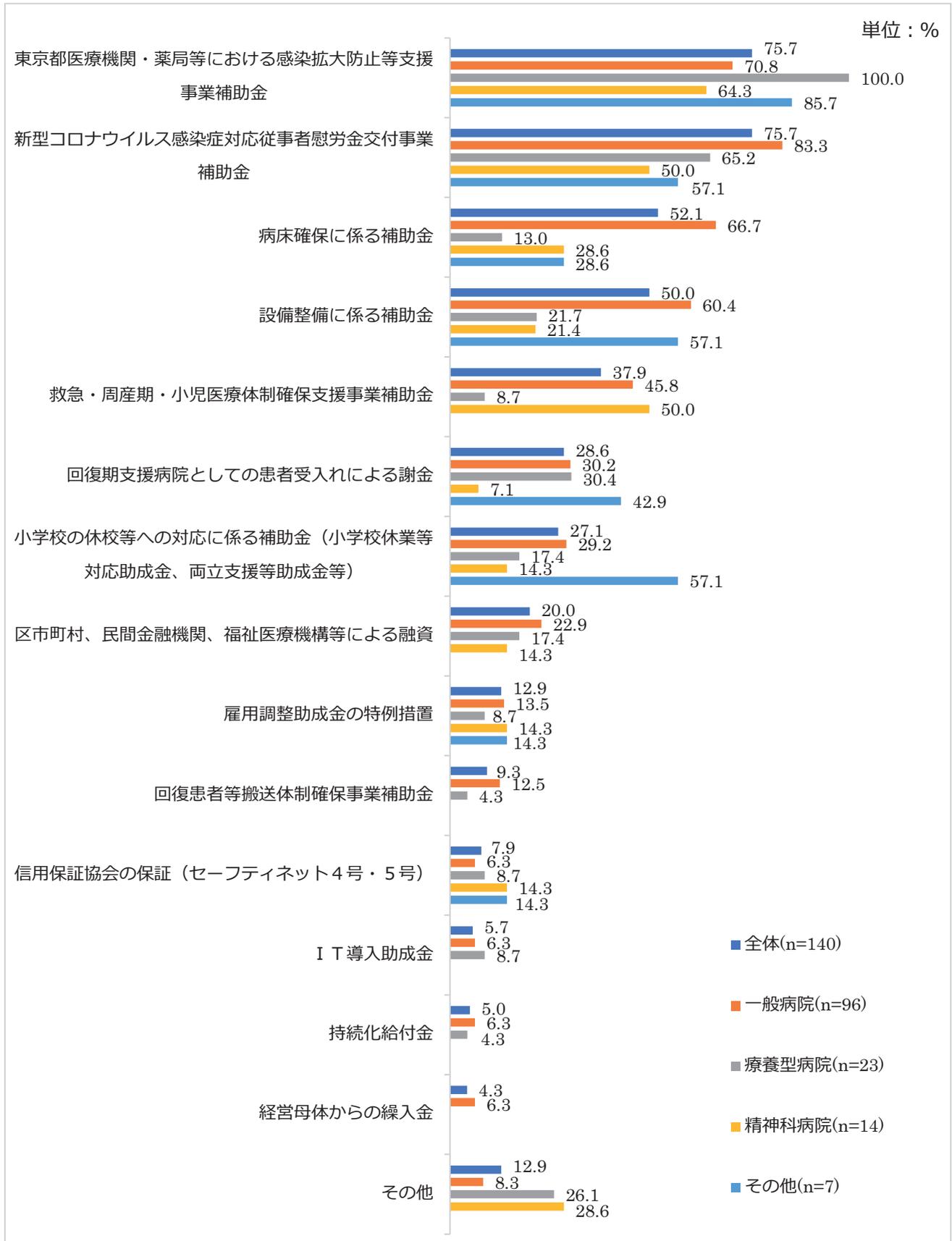
国等行政は、そうした状況にある医療機関を支援するため、複数の補助制度を随時創設・拡充してきました。また、経営支援策としては、医療提供に関する補助制度だけではなく、雇用調整助成金をはじめとした雇用の維持に関する補助や、自治体、民間金融機関、福祉医療機構等による無利子または低利での融資、セーフティーネット 4 号・5 号といった融資を受けやすくするための信用保証協会の保証などもあるところです。コロナ禍において経営支援策を活用（申請中を含む）した東京都内の病院は全体では 90.9%でした。病院類型別にみると、一般病院がやや高く、療養型病院はやや低いもののおおむね 9 割の病院が何らかの経営支援策を活用していました。

○コロナ禍において補助金等経営支援策を活用（申請中を含む）した病院の割合



活用した経営支援策の内容は、全体では東京都医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金が多かったと多く、75.7%が活用していました。活用した経営支援策は病院類型によって違いがあり、一般病院では病床確保に係る補助金を活用した割合が 66.7%と高かったですが、療養型病院では 13.0%、精神科病院では 28.6%でした。また、その他の内容には、インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業や新型コロナウイルス感染症患者の転院等受入のための後方支援病院確保事業などが挙げられました。

○病院類型別 コロナ禍において活用した経営支援策の割合

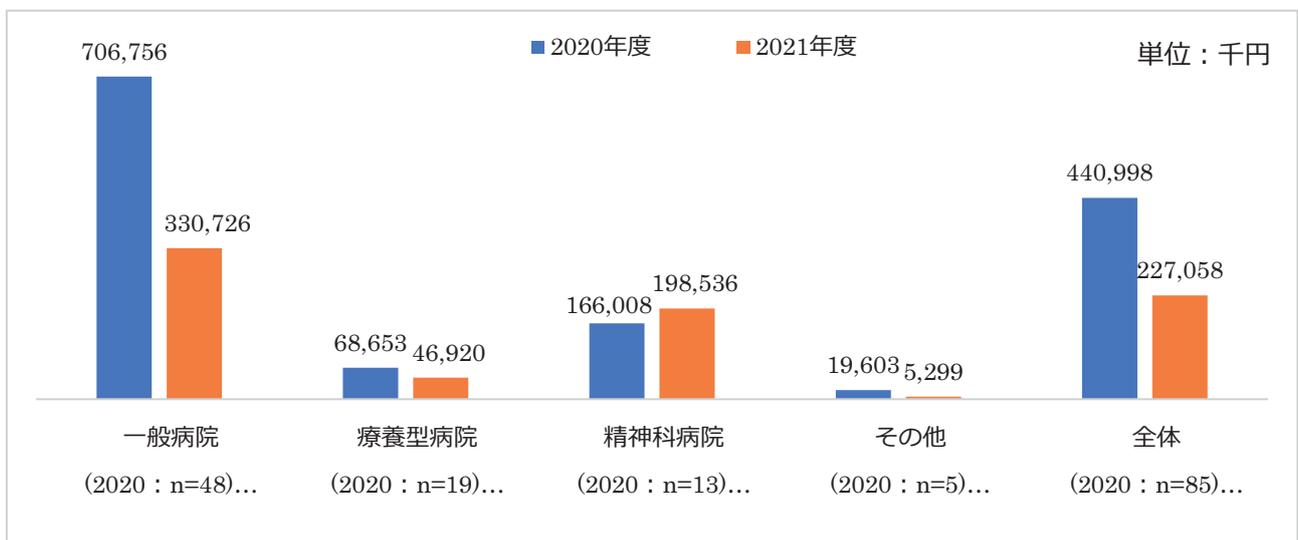


● コロナ禍において活用した補助金の金額

コロナに関連した補助金・交付金の受取額は、2020年度は平均 440,998 千円、2021年度は平均 227,058 千円でした。ただし、**2021年度は本調査時点までに受取った金額であることに留意が必要です**。病院類型別では 2020年度、2021年度ともに一般病院がもっとも多く受取っており、療養型やその他の病院は比較的少額でした。

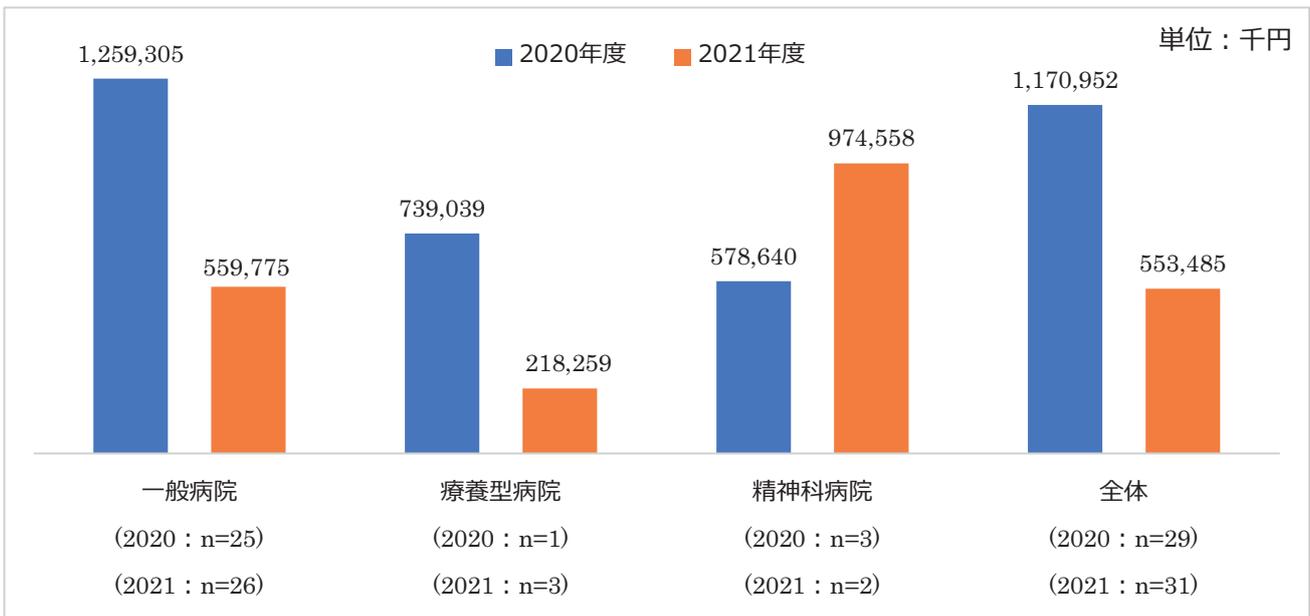
しかし、コロナ患者を受け入れた病院が多かった一般病院はもとより、数は少ないものの受け入れを実施した療養型病院では、受け入れを実施していない病院よりも多くの補助金を受取っていました。そのため、補助金・交付金のうち金額が大きいものは、病床確保やコロナ患者受け入れた際の補助金・交付金であることがわかります。

○病院類型別 コロナ禍において活用した補助金の受取額(平均)



※補助金額をご回答いただいた病院のみの集計(以降記載がない限り同じ)

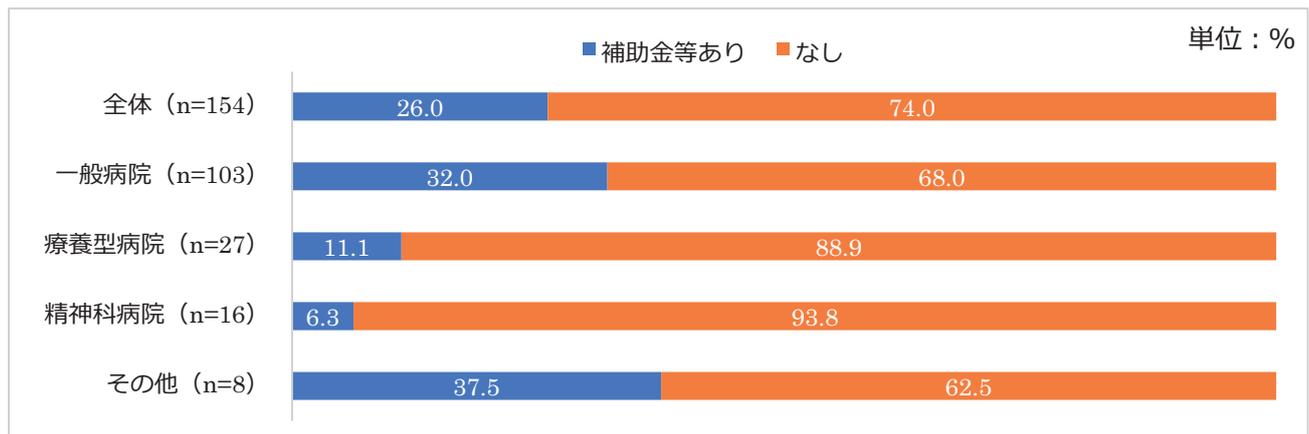
○病院類型別 コロナ患者を受入れた病院がコロナ禍において活用した補助金の受取額(平均)



● 区市町村独自の補助金等の状況

国や都の補助金・交付金以外にも、区市町村の状況に応じて様々な経営支援策が打ち出されました。補助金の目的を「患者受入・病床確保関連」「感染症対策関連」「その他」に分けて、事業名や補助金額を確認すると、区市町村の「患者受入・病床確保関連」の補助金を活用した病院は、全体の 26.0%で、受取り額は平均で 46,785 千円でした。また、活用した補助事業の名称が「患者受入等支援」だったのは 14 病院で、次いで「病床確保支援」が 8 病院でした。

○区市町村独自の「患者受入・病床確保関連」の補助金等を活用した割合



○区市町村独自の「患者受入・病床確保関連」の補助金等の受取額(平均)



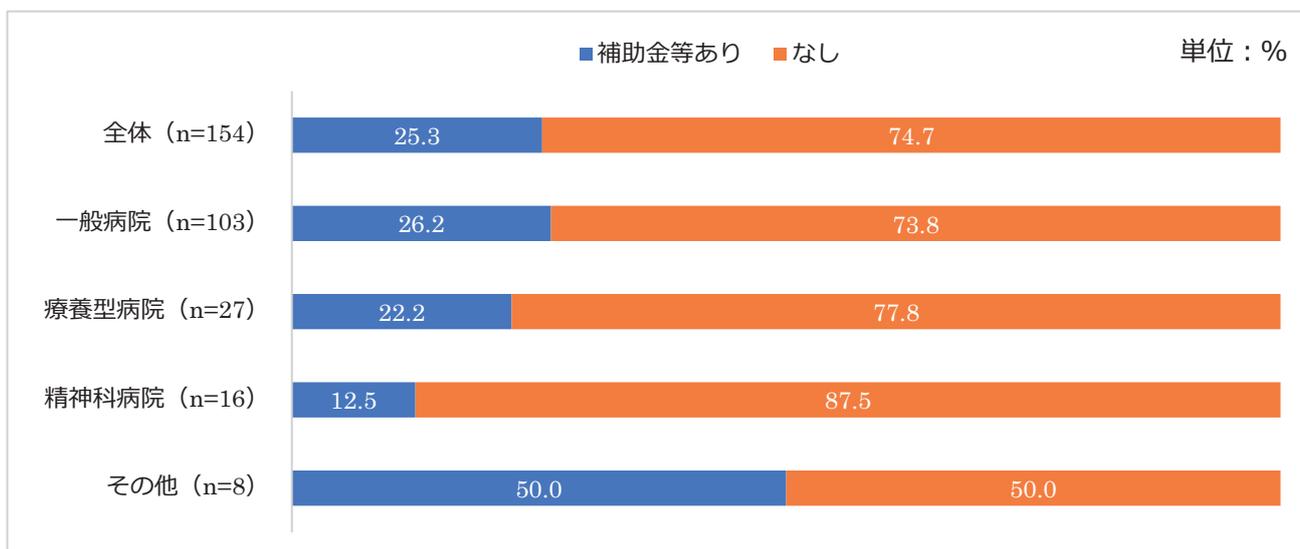
○区市町村独自の「患者受入・病床確保関連」の補助事業名 (名称の一部を抜粋)

活用した補助金等の名称	病院数	活用した補助金等の名称	病院数
患者受入等支援	14	病床確保支援補助金	1
病床確保支援	8	自宅療養者診療補助金	1
転院支援等受入支援	4	患者搬送支援	1
発熱外来設置支援	3	後方支援病院支援	1
重症回復患者等受入支援	3	患者一時受入支援	1
医療体制強化支援	2	転院患者受入支援	1

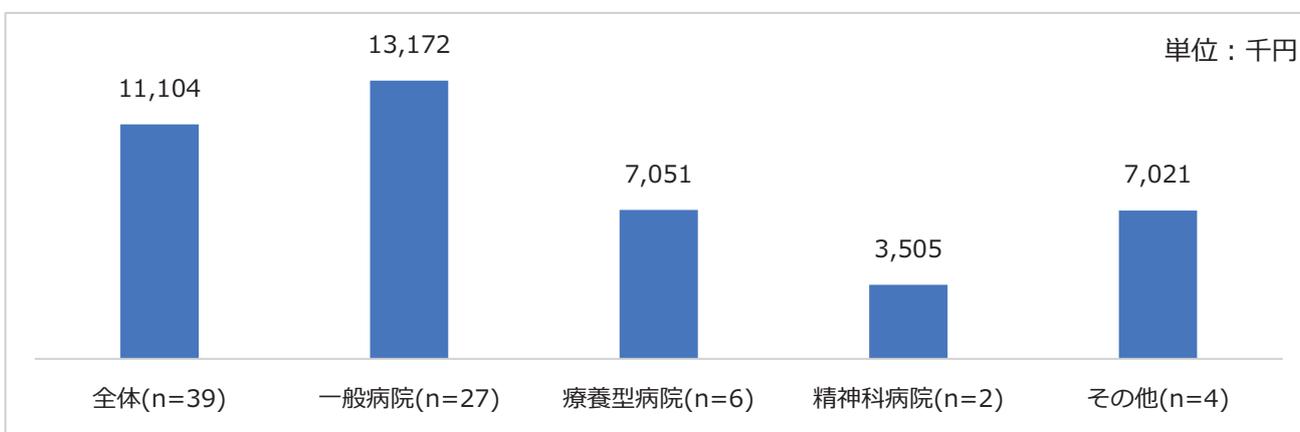
※ご回答いただいた補助金名の多くに「〇〇区患者受入等支援補助金」のように区市町村名が付記されておりましたが、本報告書のうち調査概要では補助金等を活用した病院の特定を避けるため補助事業名に付記されていた区市町村名を削除して集計しました (以降記載がない限り同じ。)

次に、区市町村の「感染症対策関連」の補助金を活用した病院は、全体の 25.3%で、受取り額は平均で 11,104 千円でした。また、活用した補助事業の名称が「感染対策防止対策」だったのは 12 病院で、次いで「医療体制確保支援」が 7 病院、「発熱外来設置支援」が 5 病院と続きました。

○区市町村独自の「感染症対策関連」の補助金等を活用した割合



○区市町村独自の「感染症対策関連」の補助金等の受取額(平均)



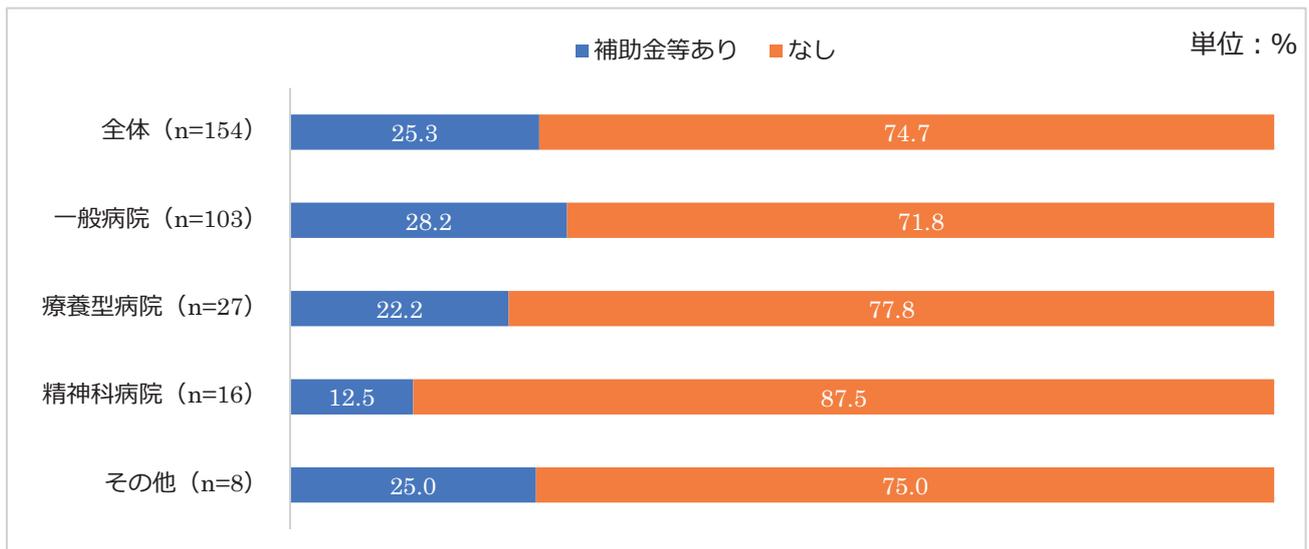
○区市町村独自の「感染症対策関連」の補助事業名(名称の一部を抜粋)

活用した補助金等の名称	病院数	活用した補助金等の名称	病院数
感染対策防止対策	12	感染症協力病院援助	1
医療体制確保支援	7	検体採取実施運営支援	1
発熱外来設置支援	5	保育施設等感染対策事業	1
機器等整備事業	3	障害者施設等感染対策事業	1
PCR 検査等実施医療機関支援	3	感染症指定支援	1
病床確保支援補助金	1	ワクチン接種事業	1
患者移送業務	1	医療従事者宿泊策確保支援	1

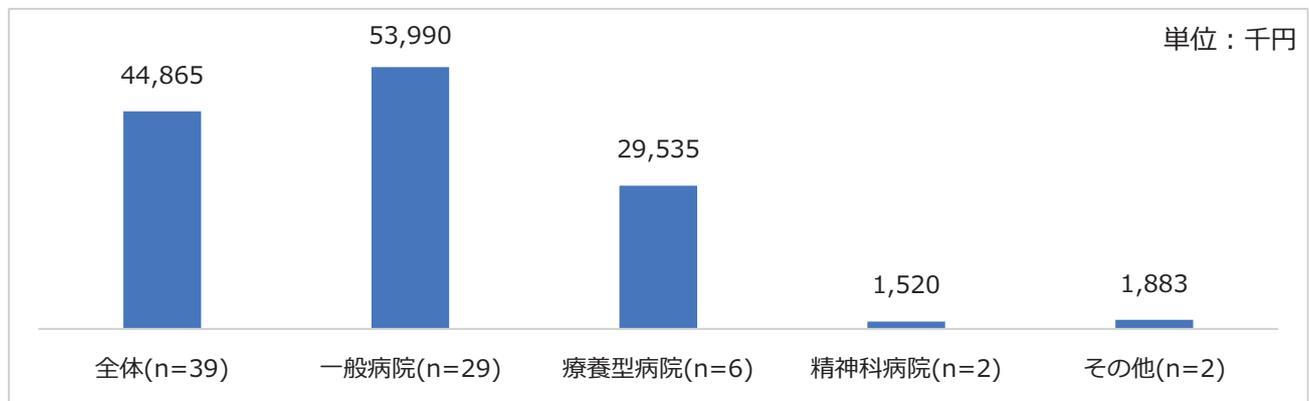
○区市町村独自の「その他」の補助事業名（名称の一部を抜粋）

区市町村の「その他」の補助金を活用した病院は、全体の 25.3%で、受取り額は平均で 44,865 千円でした。また、活用した補助事業の名称が「医療体制確保支援」だったのは 8 病院で、次いで多かったのは「ワクチン接種推進事業」の 4 病院でした。

○区市町村独自の「その他」の補助金等を活用した割合



○区市町村独自の「その他」の補助金等の受取額（平均）



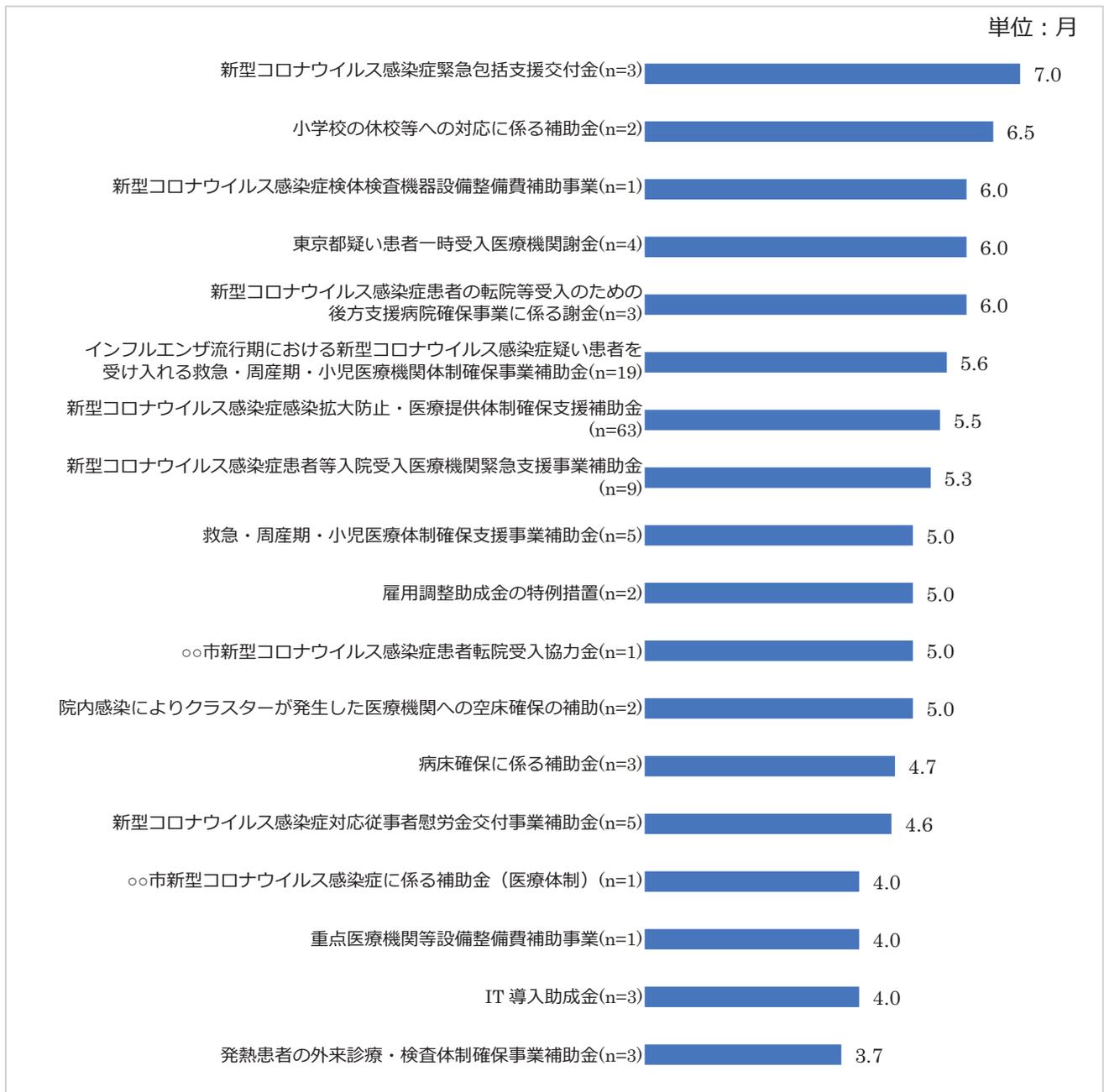
○区市町村独自の「その他」の補助事業名（名称の一部を抜粋）

活用した補助金等の名称	病院数	活用した補助金等の名称	病院数
医療体制確保支援	8	年末年始後方支援医療体制確保	1
ワクチン接種推進事業	4	救急診療再開支援	1
特殊勤務手当補助	3	保育施設等感染対策事業	1
PCR 検査等実施医療機関支援	3	病床確保支援補助金	1
休業支援経営支援	3	災害拠点支援	1
年末年始診療検査体制確保	2	連携体制整備	1
回復期病床確保支援補助金	2	介護サービス事業継続支援	1
感染対策防止対策	2	機器等整備事業	1
発熱外来設置支援	2		

● 補助金等の申請から入金までの期間

補助金等の申請から受取りまでは、事務処理の関係上一定の期間を要することがあります。コロナに関連した補助金の申請から交付までにもっとも期間を要した補助金を調査したところ、おおむね4か月から7か月の期間を要したものが挙げられました。もっとも回答数が多かったのは「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金」であり、63病院の平均で5.5か月、最長で12か月という回答もみられたほか、調査時点で入金が未だないという回答もありました。

○申請から入金まで最も期間を要した補助金等の名称と交付までに要したおよその期間

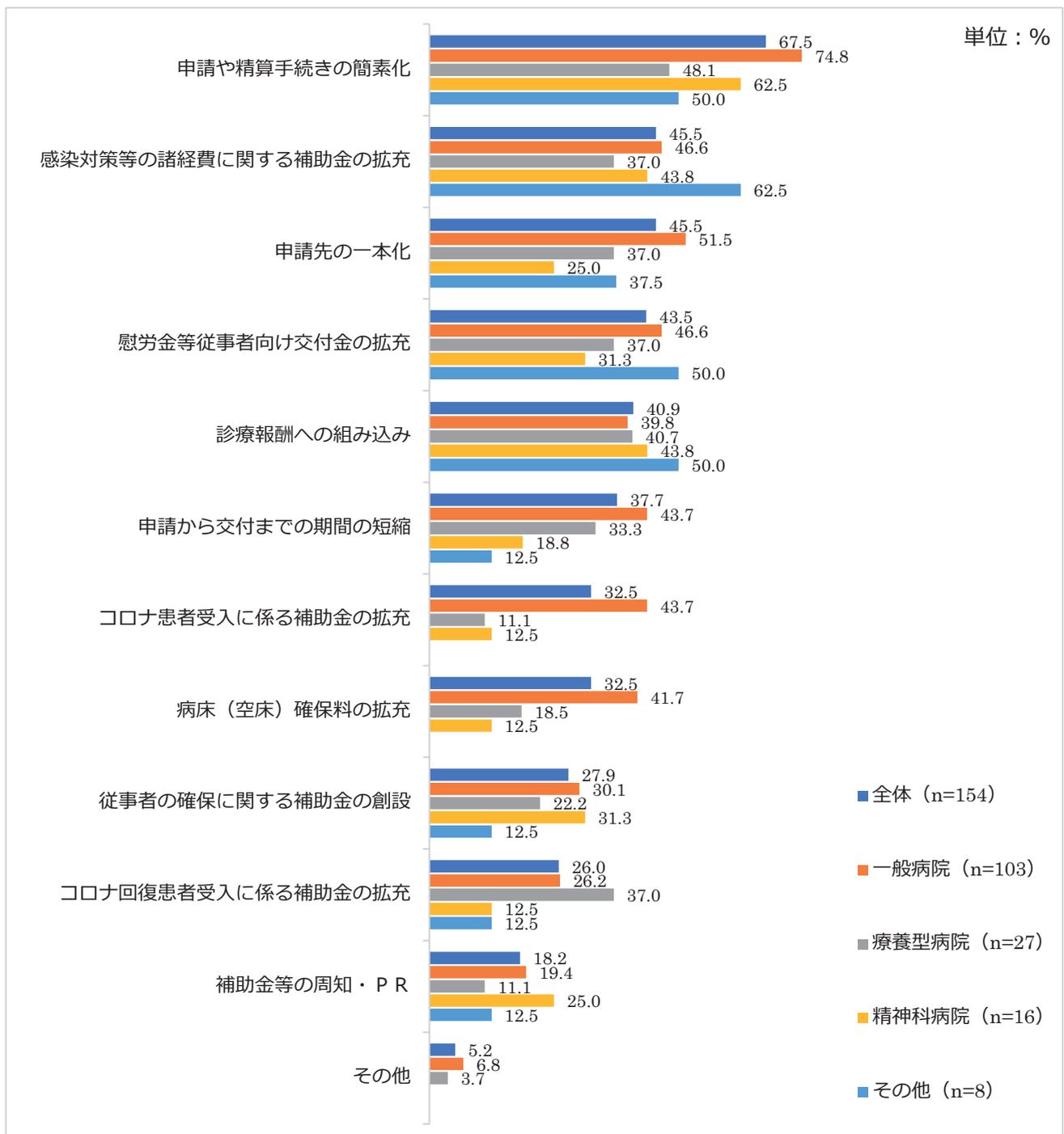


※ご回答いただいた補助金名称をもとに可能な限り同一の補助金と思われるものについてまとめて集計しておりますが、同一の交付要綱に基づく補助金が別名称として回答されている場合もございますのでご注意ください

● コロナ関連の補助金等の制度のより望ましい形をどのように考えるか

コロナ関連の補助金については、前述のとおり入金まで一定の期間を要するものがあるなど、改善の余地がみられるところです。そこで、コロナ関連の補助金について、より望ましい形にはどういったものがあるのか調査しました。病院類型によって回答割合は異なりますが、全体では「申請や精算手続きの簡素化」が 67. 5%と最も多く、次いで、「感染対策等の諸経費に関する補助金の拡充」「申請先の一本化」の 45. 5%と続きました。

○コロナ関連の補助金等の制度のより望ましい形(複数回答)



## ○コロナ関連の補助金等の制度のより望ましい形(その他の内容)

当院は、妊婦さんの不安を抑えるため外来受入の指定は受けていないが、実態では毎月 50 名程度の疑い患者の診察をしている。このような対応にも補助金が出せないか考慮して欲しい
直接コロナ患者の診療にあたらずとも、発熱外来に係る労力、経費に対しても補助をしていただきたい
設備・整備補助金の対象疾患の範囲(血栓への対応等)が狭すぎる
使途に柔軟性がほしい
補助金は使用上の制約が多く、手続きも煩雑なため国立大学法人としては、運営費交付金という形の交付が望ましい
補助事業の種類の精査、名称を分かりやすくする等。令和 2 年度中の補助事業数や名称が似たものが多く、メールも多かったため混乱した。シンプル化すれば申請しやすい
提出資料の簡略化、提出期日の緩和
補助金対象の明確化(担当者の見解統一化)

## ● ポストコロナを踏まえた経営の在り方について考えていること(自由記述)

当面、病院においてコロナの対応が求められると考えられますが、ポストコロナを踏まえた経営の在り方(例えば収益増加や費用削減への取組、人材確保・育成など)について考えていることを調査したところ、診療報酬自体の在り方や、他院との連携、人材確保の難しさなど数多くのご回答をいただいたので抜粋してご紹介します。

## ○ポストコロナを踏まえた経営の在り方について考えていること(一部抜粋)

補助金頼りにならない診療報酬対応による収益増と人件費を中心とした費用削減
在宅医療の推進
COVID-19 による制限がある中で、入院患者を他院との連携により増加させられる方針で、経営の良化を図っていく
耳鼻咽喉科は、外来患者数の減少のまま回復が見込めない状況にあります。ただし、聴覚系疾患は回復の兆しがあり、検査設備の拡充含めて増収対策を進める予定です
診療報酬改定の度重なる実質的なマイナス改定により病院経営はコロナ前から厳しい状況になっており、また、人材教育等も施設基準になっていることを考えると、人材教育に係る経費やコロナのような不測の事態を見据え、病院にもう少し経営的にゆとりをもてる診療報酬体系を考慮すべきと考える
小規模医療機関では感染対策や看護師確保が厳しい
コロナ患者の受入れを予定した病院への補助金は相当高額計画されているが、コロナ患者を受け入れない当院には感染対策を行った費用の補填はあるが、コロナにより患者が激減した経営支援的な補助金はない。コロナ禍による経営へのダメージをいかに回復させるか考えていく
今後平時に戻った時、休床していた病床を早々に埋められる事が急務(新入院患者の確保)
経営の在り方ではありませんが、今回の補助金等では国や東京都よりも杉並区の補助金が充実しており経営が厳しい中、助けて頂きました
人材確保ができていないので、病院経営は今後より厳しい状況が想定される
地域連携を強化し、収益増加につなげる
医療従事者の確保にかなりの費用がかかるようになってきている。募集費用などに補助金を付与するのもいいが、紹介業者ばかりが得をするような仕組みに思えてならない。何らかの規制をかけていただきたい。そうでもしないとさらに募集費用がかさみ、経営を圧迫する

<p>当院は、40年以上経過した老朽化した病院ということもあり人材確保、定着化の面で苦労しています。看護師、医師も高齢化しておりその中でギリギリの経営をしています。地域医療の中でアフターコロナの患者受入など当院でできることはやってゆきたいと思えます</p>
<p>COVID-19患者を受け入れるために行ってきた手術枠の制限などを徐々に解除し、大学病院として提供しなければならない高度な診療を行うことで、手術件数の増加と病床稼働率の上昇を図る必要がある</p>
<p>コロナ感染に伴い、コロナとあまり関係のない診療科(眼科や皮膚科など)を専門にされている医療機関が倒産するなど医療の存続にかかわる事態になっていると思います。コロナ患者を受け入れる病院は確かに手厚い補助金が必要ですが、それ以外の医療機関は外来患者が減少するなど経営難になっています。そのような医療機関でも存続できる仕組みがあればと思います。全体的に診療報酬を上げるなどの施策が必要なのではないでしょうか</p>
<p>本業を示す医業利益ベースではまだまだ回復しておらず、新型コロナウイルス感染症は現状下火になったとはいえ、今後の再燃等を踏まえ引き続き体制を維持して行く必要はあり、使用できない病床も当然に一定数あり、空床確保はもちろんのこと、平常時に戻すまでの補助金等は必要と考える</p>
<p>クラスターが発生した病院では退職者が出たため、後の人材確保が難しく補充ができず、ニーズがあっても受入れができないといった事態になっているため、そのようなことになった時にプロジェクトが機能して応援や人材確保に向けたシステム構築があるとよいと思った</p>
<p>通常診療とコロナ対応の両立として、迅速な病床転換体制を整えること。紹介率、逆紹介率の向上や救急応需を積極的にとることにより患者確保</p>
<p>当法人の2病院の一括薬品入札による薬品購入削減。医師・看護師の増員</p>
<p>クラスター時も病院の機能が止まらないように、管理職の中から、2名以上のゼネラリストの人材育成を検討している</p>

(おわりに)

報告書作成時点では2022年1月上旬より続いていた第6波は収束の兆しを見せているところですが、しかし、日本国内での累計感染者数は約600万人となるなど人々の生活に大きな影響が出ており、病院をはじめとした医療機関においては引き続きコロナ対応が必要とされているところです。また、都内においても、大規模な感染拡大が継続していて、病床がひっ迫する事態となっております。

コロナ禍において多くの病院で病床利用率の低下などによる収益の減少、感染予防対策のための費用の増加などに苦しみ、経営の悪化がみられたものと思われまます。そうしたなかで、国や自治体による数々の補助金等は一定程度経営の安定化に寄与したものと考えられます。しかし、コロナの影響は今後も続くものと予想されますので、病院をはじめとした医療機関に対して、引き続き経営支援を実施することが必要とされています。

また、社会情勢の変化によるガソリン価格などをはじめとした物価の上昇が起きており、病院においても光熱水費の高騰による経営の悪化が考えられるところです。これらの費用高騰は、コロナ対応と異なり他の業界でも問題となっていることから、医療機関のみが補助金などで救済されるということは見込みづらく、また、診療報酬でも柔軟な対応は困難であるものと思料されます。そのため、2021年度決算は補助金等によって黒字となった病院においても、補助金等がないなかでの物価の高騰に対応した経営を目指していかなければいけません。引き続き、コスト削減など経営改善に取り組んでいただければ幸いです。

本調査にあたっては、コロナ対応に尽力される大変多忙な状況のなか、調査にお答えいただいた病院の皆様のおかげでとりまとめることができました。この場を借りて感謝申し上げます。



【資料編】

新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と補助金等経営  
支援策の状況に関する調査【詳細、クロス集計】

新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と補助金等経営支援策の状況に関する調査【詳細、クロス集計】

アンケート調査期間 令和3年12月3日から令和4年1月24日

回答形式 Web上のフォームに入力

回答病院数 154病院

調査主体 一般社団法人東京都病院協会

調査協力 独立行政法人福祉医療機構

● 本調査における用語説明

一般病院(一般)	全病床に占める一般病床の割合が 50%超の病院
療養型病院(療養)	全病床に占める療養病床の割合が 50%超の病院
精神科病院(精神)	全病床に占める精神病床の割合が 80%以上の病院
その他型病院(その他)	いずれの病床も上記の割合に満たない病院

( )はグラフ内での略称

● 留意事項

- ・数値は四捨五入しているため。内訳の合計が合わない場合があります
- ・その他型病院は回答数が少ないことから内訳を図示していない場合があります
- ・収支のみ回答がない病院、患者延べ数のみ回答がない病院があることから、グラフごとにサンプル数が異なります
- ・自由記載の回答については、誤字脱字を除き原則として原文のまま掲載しております

なお、本調査の病院類型ごとの回答数及び有効回答率は以下のとおりです。

	一般病院	療養型病院	精神科病院	その他	全体	有効回答率
全回答数 (医業収益費用および患者延数無効を含む)	103	27	16	8	154	24.2%
医業収益費用が有効な回答数 (患者延数無効を含む)	86	18	12	7	123	19.3%
医業収益費用・ 患者延数ともに有効な回答数	75	18	10	5	108	17.0%

## (調査票)

### 新型コロナウイルス感染症下における東京都内の病院の運営状況と 補助金等経営支援策の状況に関する調査 調査票

- ・ 本調査は一般社団法人東京都病院協会からの委託を受けて独立行政法人福祉医療機構が事務局を担い実施します。
- ・ ご回答内容については、その秘密を保護します。また、本調査の目的(東京都内の病院の運営状況や行政による補助金等の経営支援の状況等を把握し、個別の病院名を伏せたうえで令和3年度東京都医師会調査研究委託事業の報告書に取りまとめること)のみに使用し、他の目的には使用いたしません
- ・ 業務上知り得た情報は定められた場所に保管します

#### 病院の基本情報

1. 2021年11月現在の許可病床数とその内訳を入力してください	計●●●●床	内訳:一般病床(●●●●床)、 療養病床(●●●●床)、 精神病床(●●●●床)、 その他(●●●●床) * 休床は「その他」にカウントしてください
2. 回復期リハビリテーション病棟を有する場合は2021年11月現在の病床数を入力してください(再掲)	計●●●●床	
3. 地域包括ケア病棟(地域包括ケア入院医療管理料を含む)を有する場合は2021年11月現在の病床数を入力してください(再掲)	計●●●●床	
4. 2021年11月現在の常勤換算の職員数を小数第1位まで入力してください	計●●●●人	
5-1. 感染症指定医療機関の指定有無	有・無	
5-2. 感染症診療協力医療機関の指定有無	有・無	
5-3. 新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有無	有・無	
5-4. 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有無	有・無	
5-5. 新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有無	有・無	
6. 発熱外来の設置有無(過去に設置していた場合を含む)	有・無	

**COVID-19 への対応および補助金等の活用の状況**

※お答えいただく時期については以下のとおりです。

2019 年度上半期: (2019 年 4 月から 9 月まで)

2019 年度下半期: (2019 年 10 月から 2020 年 3 月まで)

2020 年度上半期: (2020 年 4 月から 9 月まで)

2020 年度下半期: (2020 年 10 月から 2021 年 3 月まで)

2021 年度上半期: (2021 年 4 月から 9 月まで)

2021 年度下半期: (2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで)

○2020 年度下半期の状況について

7. 2020 年度下半期の COVID-19 患者の受入れ状況をお答えください	受入れたことがある・受入れは可能だが受入れたことはない・受入れ態勢を整備中だった・受入れ予定はなかった
8. 2020 年度下半期の COVID-19 患者受入れのための確保病床数について、期間内に確保(受入態勢整備中を含む)した最大の病床数をお答えください	最大●●●●床
9. 2020 年度下半期の COVID-19 の回復患者の受入れ状況をお答えください	受入れたことがある・受入れは可能だが受入れたことはない・受入れ態勢を整備中だった・受入れ予定はなかった
10. 2020 年度下半期の COVID-19 の回復患者の患者受入れのための確保病床数について、期間内に確保(受入態勢整備中を含む)した最大の病床数をお答えください	最大●●●●床

○2021 年度上半期の状況について

11. 2021 年度上半期の COVID-19 患者の受入れ状況をお答えください	受入れたことがある・受入れは可能だが受入れたことはない・受入れ態勢を整備中だった・受入れ予定はなかった
12. 2021 年度上半期の COVID-19 患者受入れのための確保病床数について、期間内に確保(受入態勢整備中を含む)した最大の病床数をお答えください	最大●●●●床
13. 2021 年度上半期の COVID-19 の回復患者の受入れ状況をお答えください	受入れたことがある・受入れは可能だが受入れたことはない・受入れ態勢を整備中だった・受入れ予定はなかった
14. 2021 年度上半期の COVID-19 の回復患者の患者受入れのための確保病床数について、期間内に確保(受入態勢整備中を含む)した最大の病床数をお答えください	最大●●●●床

○補助金等経営支援策の活用の状況

<p>15. 補助金・交付金等行政などによる COVID-19 に関連した病院経営支援策を活用したことはありますか</p>	<p>有・無</p>
<p>16. COVID-19 に関連した補助金・交付金の 2020 年度、2021 年度のそれぞれの受取総額について、ご回答ください(任意) ※診療報酬上の特例などは除きます</p>	<p>2020 年度 計●●●(千円) 2021 年度 計●●●(千円)</p>
<p>17. コロナ禍において活用した(申請中を含む)経営支援策についてお答えください(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>東京都医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金  <input type="checkbox"/>病床確保に係る補助金  <input type="checkbox"/>設備整備に係る補助金  <input type="checkbox"/>救急・周産期・小児医療体制確保支援事業補助金  <input type="checkbox"/>回復患者等搬送体制確保事業補助金  <input type="checkbox"/>回復期支援病院としての患者受入れによる謝金  <input type="checkbox"/>持続化給付金  <input type="checkbox"/>IT導入助成金  <input type="checkbox"/>新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業補助金  <input type="checkbox"/>雇用調整助成金の特例措置  <input type="checkbox"/>小学校の休校等への対応に係る補助金(小学校休業等対応助成金、両立支援等助成金等)  <input type="checkbox"/>区市町村、民間金融機関、福祉医療機構等による融資  <input type="checkbox"/>経営母体からの繰入金  <input type="checkbox"/>信用保証協会の保証(セーフティネット4号・5号)  <input type="checkbox"/>その他(●●●●)</p>
<p>17-2. 「病床確保に関する補助金」のうち活用した(申請中を含む)事業についてお答えください。(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>新型コロナウイルス感染症等入院受入医療機関緊急支援事業(国が実施)  <input type="checkbox"/>東京都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業における病床確保支援事業(東京都が実施)  <input type="checkbox"/>その他(●●●●)</p>
<p>17-3. 「設備整備に係る補助金」のうち活用した(申請中を含む)事業についてお答えください。(複数回答可)</p>	<p><input type="checkbox"/>帰国者・接触者外来等設備整備事業  <input type="checkbox"/>新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業  <input type="checkbox"/>重点医療機関等設備整備費補助事業  <input type="checkbox"/>その他(●●●●)</p>

<p>18. COVID-19 患者受入れや病床確保等 COVID-19 に関連した区市町村における 病院に対する独自の補助金・交付金制度 (問 18 の選択肢にある補助金を除く)の有 無と、その事業名や対象経費について概 要をご回答ください。</p>	<p>① 患者受入・病床確保関連(有・無) 事業名・概要(●●●●●) 補助額(●●)千円</p> <p>② 感染症対策関連(有・無) 事業名・概要(●●●●●) 補助額(●●)千円</p> <p>③ その他の補助金・交付金等(有・無) 事業名・概要(●●●●●) 補助額(●●)千円</p> <p>④ 市区町村独自の補助金・交付金制度はなかった</p>
<p>19. 活用した COVID-19 に関連の補助金等の うち、申請から入金まで最も期間を要した 補助金等の名称と交付までに要したおよ その期間をご記入ください</p>	<p>補助金名称●●●●●●●● 要した期間●●か月</p>
<p>20. 活用した COVID-19 に関連の補助金等の うち、最も申請が容易であった補助金等が あれば名称をご回答ください(任意)</p>	<p>補助金名称(●●●●●●●●) 容易であった理由(●●●●●●●●)</p>
<p>21. COVID-19 関連の補助金等の制度につい て、より望ましい形をどのように考えますか (複数回答)</p>	<p><input type="checkbox"/>診療報酬への組み込み <input type="checkbox"/>COVID-19 患者受入に係る補助金の拡充 <input type="checkbox"/>COVID-19 回復患者受入に係る補助金の拡充 <input type="checkbox"/>病床(空床)確保料の拡充 <input type="checkbox"/>感染対策等の諸経費に関する補助金の拡充 <input type="checkbox"/>慰労金等従事者向け交付金の拡充 <input type="checkbox"/>従事者の確保に関する補助金の創設 <input type="checkbox"/>補助金等の周知・PR <input type="checkbox"/>申請先の一本化 <input type="checkbox"/>申請や清算手続きの簡素化 <input type="checkbox"/>申請から交付までの期間の短縮 <input type="checkbox"/>その他(●●●●●)</p>
<p>22. 当面、医療機関において COVID-19 への 対応が求められると考えられますが、ポス トコロナを踏まえた経営の在り方(例えば 収益増加や費用削減への取組、人材確 保・育成など)について考えていることがあ ればご回答ください(任意)</p>	<p>●●●●●●●●</p>

**病院の業況について**

※お答えいただく時期については以下のとおりです。

2019 年度上半期：(2019 年 4 月から 9 月まで)

2019 年度下半期：(2019 年 10 月から 2020 年 3 月まで)

2020 年度上半期：(2020 年 4 月から 9 月まで)

2020 年度下半期：(2020 年 10 月から 2021 年 3 月まで)

2021 年度上半期：(2021 年 4 月から 9 月まで)

2021 年度下半期：(2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで)

○2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益・費用について

23. 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の診療分の医業収益と医業費用について千円単位でお答えください。

※入院診療収益には室料差額収益も含めてご回答ください

※2019 年度上半期および 2020 年度上半期は、昨年度の調査でお答えいただいております。

	医業収益 (千円)	入院診療収益 (千円)	外来診療収益 (千円)	医業費用 (千円)
2019 年度下半期				
2020 年度下半期				
2021 年度上半期				

○補助金・交付金等を加味した経営状況について

24. 2019 年度上半期から 2021 年度上半期までの補助金・交付金等医業外収益を含めた経常損益ベースの黒字・赤字の状況についてお答えください。※経常利益がマイナスの状態のことを赤字とします

2019 年度上半期	黒字・赤字
2019 年度下半期	黒字・赤字
2020 年度上半期	黒字・赤字
2020 年度下半期	黒字・赤字
2021 年度上半期	黒字・赤字

○2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の延べ入院患者数と外来患者数について

25. 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の延べ入院患者数と外来患者数についてお答えください。

※2019 年度上半期および 2020 年度上半期は、昨年度の調査でお答えいただいております。

	入院患者延べ数	外来患者延べ数
2019 年度下半期		
2020 年度下半期		
2021 年度上半期		

○2021 年度下半期以降の経営の見通しについて

26. 2020 年度下半期と比較し 2021 年度下半期の経営の見通しはいかがですか	増収増益、増収減益、減収増益、減収減益、コロナ禍により見通しが立たない、その他(●●●)
27. 2020 年度と比較し 2021 年度の経営の見通しはいかがですか	増収増益、増収減益、減収増益、減収減益、コロナ禍により見通しが立たない、その他(●●●)

ご協力ありがとうございました。

以上

## 図表 一覧

- (図表 1)開設主体別割合
- (図表 2)病床規模別割合
- (図表 3)病院類型別割合
- (図表 4)病院類型別の病床規模
- (図表 5)総病床数に占める回復期リハビリテーション病床の病床数の構成別割合
- (図表 6)総病床数に占める地域包括ケア病床の病床数の構成別割合
- (図表 7-1)感染症指定医療機関の指定有無
- (図表 7-2)感染症指定医療機関の病院類型割合
- (図表 7-3)感染症指定医療機関の病床規模別割合
- (図表 8-1)感染症診療協力医療機関の指定有無
- (図表 8-2)感染症診療協力医療機関の病院類型割合
- (図表 8-3)感染症診療協力医療機関の病床規模別割合
- (図表 9-1)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有無
- (図表 9-2)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の病院類型割合
- (図表 9-3)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の病床規模別割合
- (図表 10-1)新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有無
- (図表 10-2)新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の病院類型割合
- (図表 10-3)新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の病床規模別割合
- (図表 11-1)新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有無
- (図表 11-2)新型コロナウイルス感染症回復支援病院の病院類型割合
- (図表 11-3)新型コロナウイルス感染症回復支援病院の病床規模別割合
- (図表 12-1)発熱外来の設置有無(過去に設置していた場合を含む)
- (図表 12-2)発熱外来の設置医療機関の病院類型割合
- (図表 12-3)発熱外来の設置医療機関の病床規模別割合
- (図表 13)病院類型別職員規模別割合
- (図表 14)病院類型別病床種別の割合
- (図表 15)病院類型別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況
- (図表 16)コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況①
- (図表 17)コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況②
- (図表 18)コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況①(一般病院のみ)
- (図表 19)コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況②(一般病院のみ)

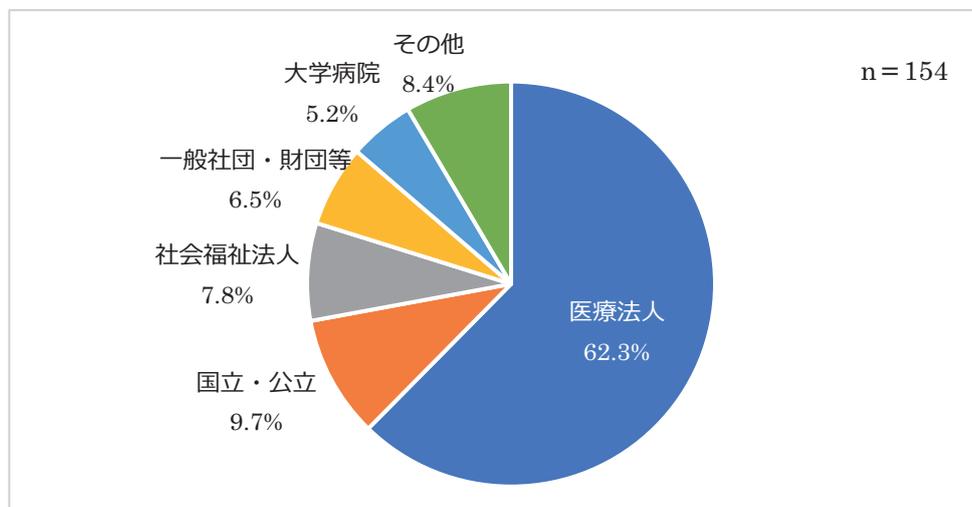
- (図表 20) 病院類型別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の病床利用率
- (図表 21) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の病床利用率①
- (図表 22) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の病床利用率②
- (図表 23) 病院類型別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数
- (図表 24-1) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数①
- (図表 24-2) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数②
- (図表 25) 病院類型別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合
- (図表 26) 病床規模別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合
- (図表 27) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合①
- (図表 28) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合②
- (図表 29) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合①(一般病院)
- (図表 30) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合②(一般病院)
- (図表 31) 病院類型別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し
- (図表 32) コロナ対応別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し①
- (図表 33) コロナ対応別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し②
- (図表 34) 病院類型別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し
- (図表 35) コロナ対応別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し①
- (図表 36) コロナ対応別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し②
- (図表 37) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(全体)
- (図表 38) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れをした病院の病床規模
- (図表 39) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(一般病院)
- (図表 40) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(療養型病院)
- (図表 41) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(精神科病院)
- (図表 42) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(その他)
- (図表 43) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①
- (図表 44) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②
- (図表 45) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(全体)
- (図表 46) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れをした病院の病床規模
- (図表 47) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(一般病院)
- (図表 48) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(療養型病院)
- (図表 49) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(精神科病院)
- (図表 50) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(その他)
- (図表 51) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①
- (図表 52) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②
- (図表 53) 2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(全体)

- (図表 54)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れをした病院の病床規模
- (図表 55)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(一般病院)
- (図表 56)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(療養型病院)
- (図表 57)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(精神科病院)
- (図表 58)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(その他)
- (図表 59)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①
- (図表 60)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②
- (図表 61)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(全体)
- (図表 62)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れをした病院の病床規模
- (図表 63)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(一般病院)
- (図表 64)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(療養型病院)
- (図表 65)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(精神科病院)
- (図表 66)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(その他)
- (図表 67)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①
- (図表 68)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②
- (図表 69)病院類型別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無
- (図表 70)コロナ対応別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無①
- (図表 71)コロナ対応別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無②
- (図表 72)病院類型別 補助金・交付金の受取額(平均)
- (図表 73)コロナ対応別 補助金・交付金の受取額①(平均)
- (図表 74)コロナ対応別 補助金・交付金の受取額②(平均)
- (図表 75)病院類型別 補助金等経営支援策の活用状況(複数回答)
- (図表 76)コロナ対応別 補助金等経営支援策の活用状況①
- (図表 77)コロナ対応別 補助金等経営支援策の活用状況②
- (図表 78)病院類型 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名
- (図表 79)コロナ対応別 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名①
- (図表 80)コロナ対応別 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名②
- (図表 81)病院類型 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名
- (図表 82)コロナ対応別 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名①
- (図表 83)コロナ対応別 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名②
- (図表 84)病院類型別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無
- (図表 85)病院類型別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額(平均)
- (図表 86)コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無①
- (図表 87)コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)
- (図表 88)コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無②
- (図表 89)コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)
- (図表 90)患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)
- (図表 91)病院類型別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無

- (図表 92) 病院類型別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額(平均)
- (図表 93) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無①
- (図表 94) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)
- (図表 95) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無②
- (図表 96) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)
- (図表 97) 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)
- (図表 98) 病院類型別 その他の区市町村独自の補助金等の有無
- (図表 99) 病院類型別 その他の区市町村独自の補助金等の金額(平均)
- (図表 100) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の有無①
- (図表 101) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)
- (図表 102) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の有無②
- (図表 103) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)
- (図表 104) その他の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)
- (図表 105) 区市町村独自補助金の有無のマッピング
- (図表 106) 申請から入金まで最も期間を要した補助金等の名称と交付までに要したおよその期間
- (図表 107) 活用したコロナ関連の補助金等のうち、最も申請が容易であった補助金等の名称とその理由(一部抜粋)
- (図表 108) 病院類型別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)
- (図表 109) コロナ対応別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)①
- (図表 110) コロナ対応別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)②
- (図表 111) ポストコロナを踏まえた経営の在り方について考えていること(一部抜粋)

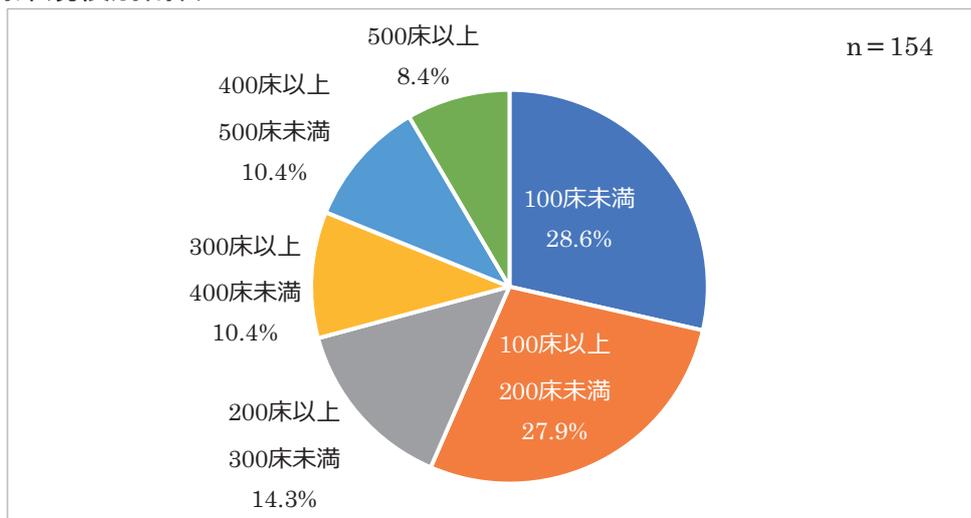
## 回答病院属性

(図表 1) 開設主体別割合

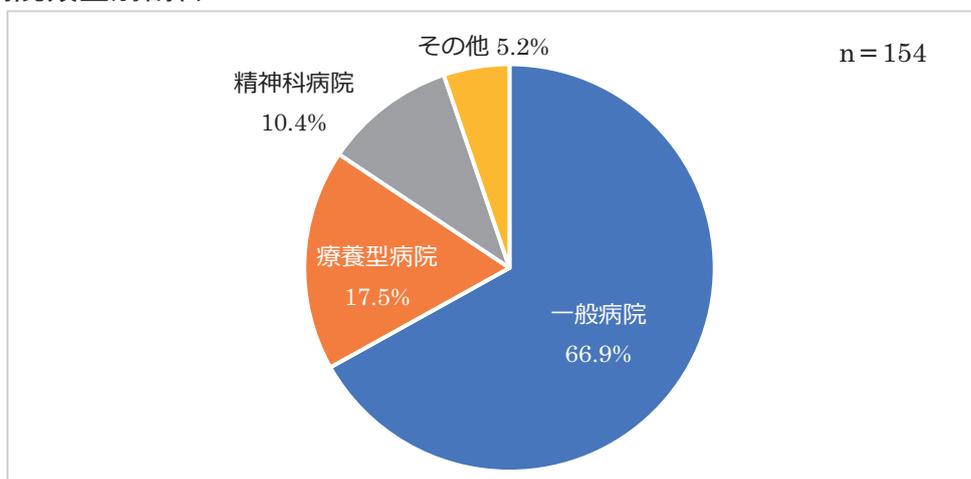


その他: 生活協同組合、宗教法人、個人など

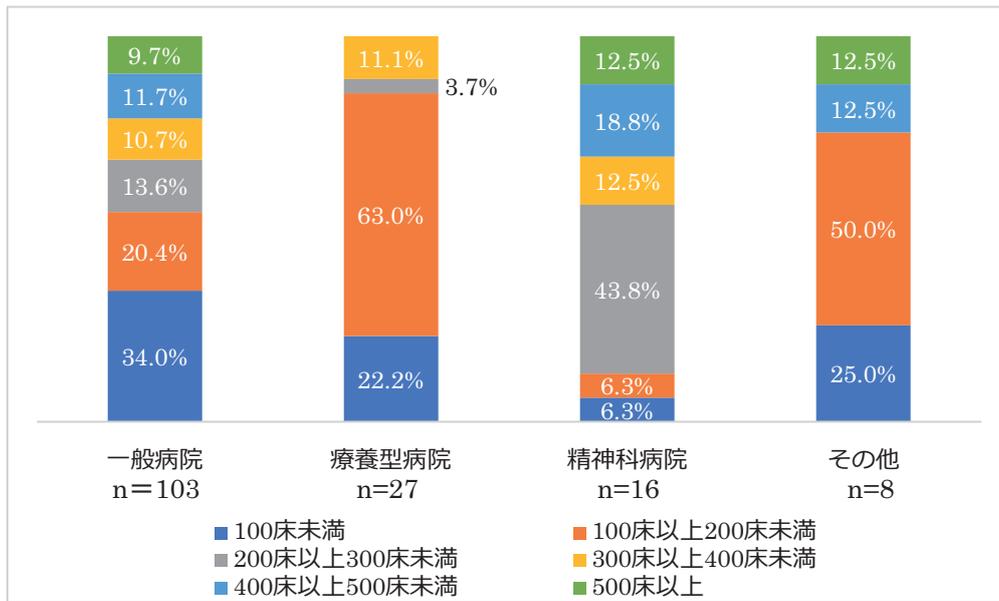
(図表 2) 病床規模別割合



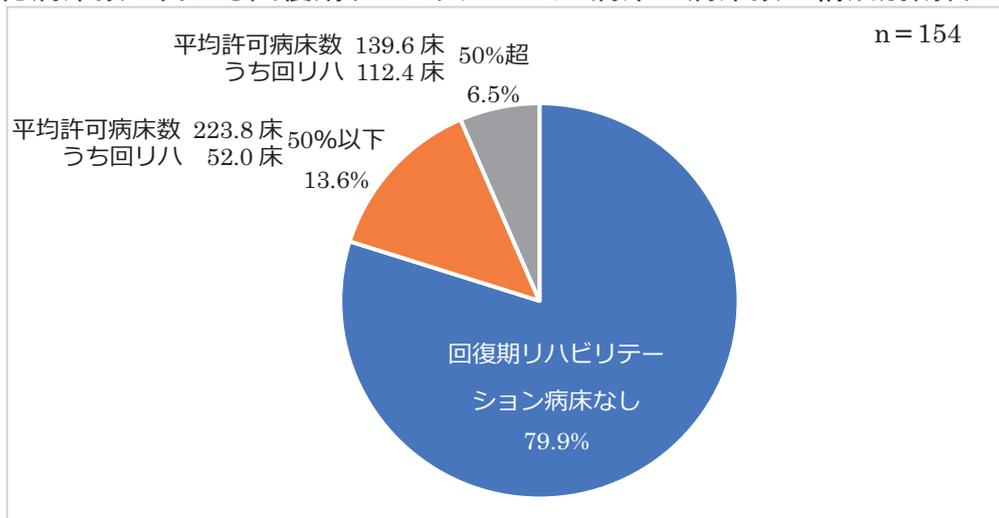
(図表 3) 病院類型別割合



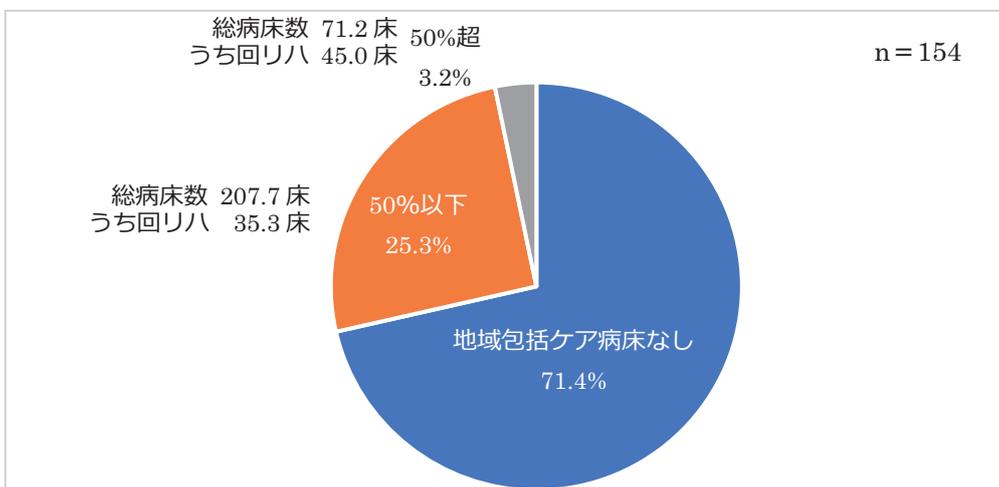
(図表 4) 病院類型別の病床規模



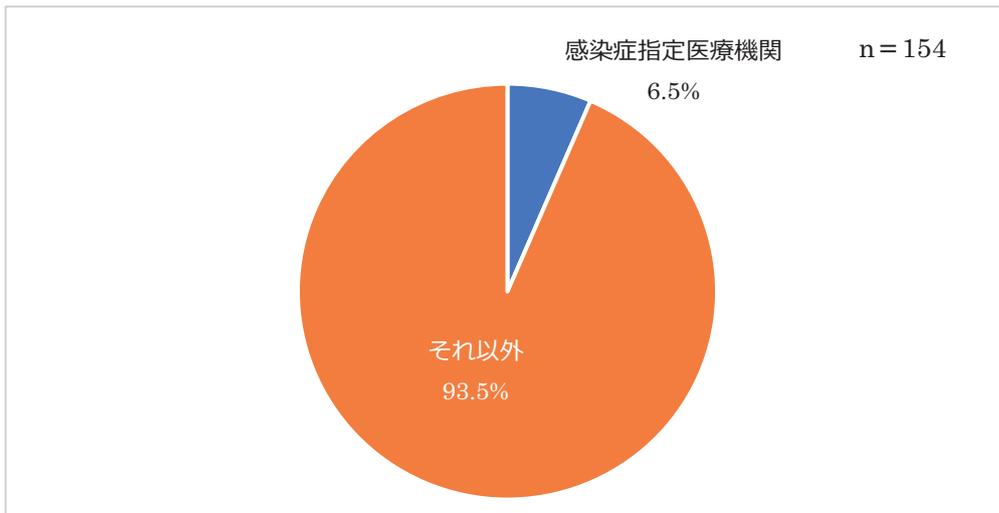
(図表 5) 総病床数に占める回復期リハビリテーション病床の病床数の構成別割合



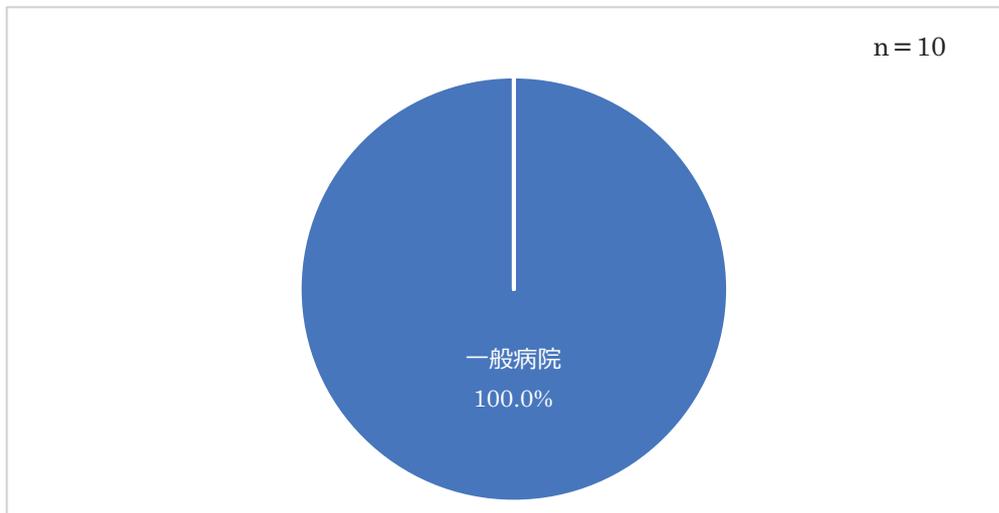
(図表 6) 総病床数に占める地域包括ケア病床の病床数の構成別割合



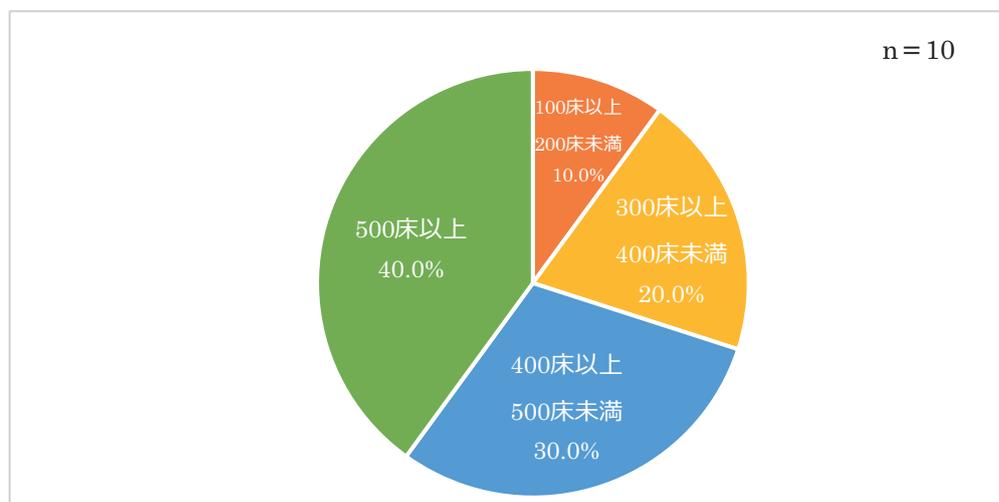
(図表 7-1) 感染症指定医療機関の指定有無



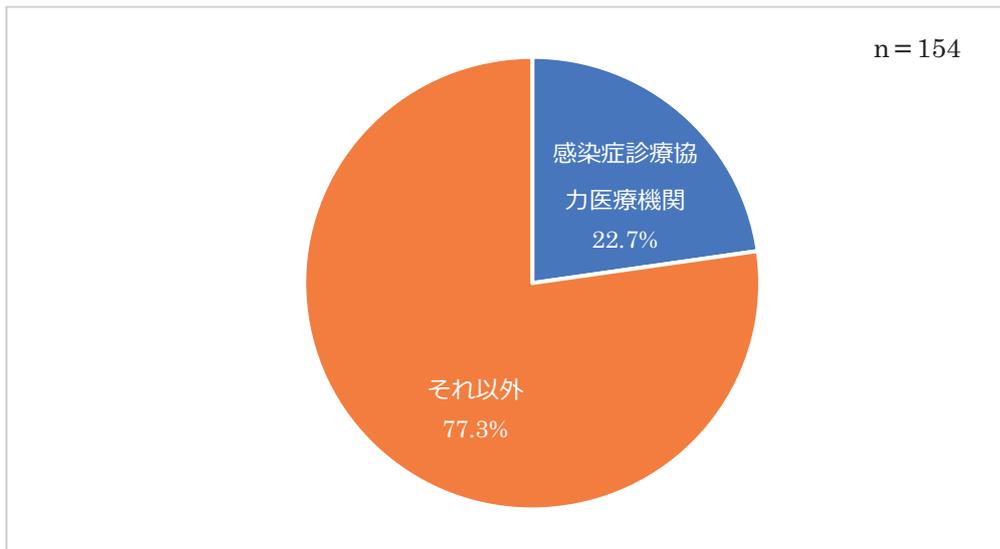
(図表 7-2) 感染症指定医療機関の病院類型割合



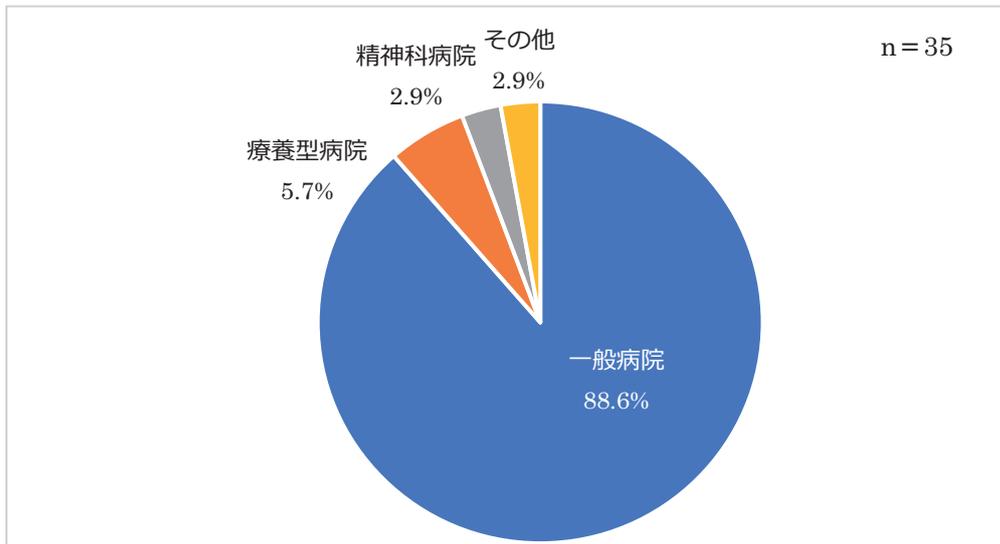
(図表 7-3) 感染症指定医療機関の病床規模別割合



(図表 8-1) 感染症診療協力医療機関の指定有無



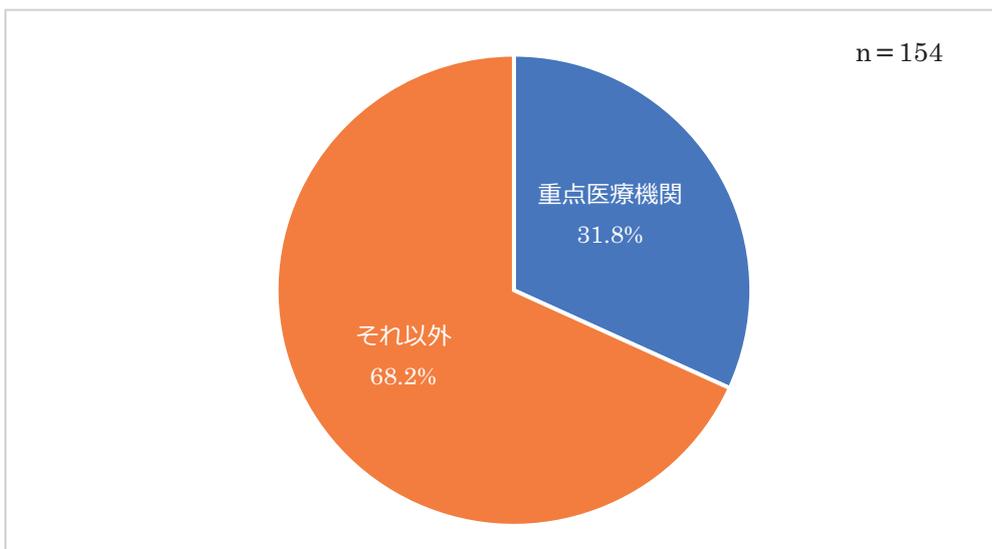
(図表 8-2) 感染症診療協力医療機関の病院類型割合



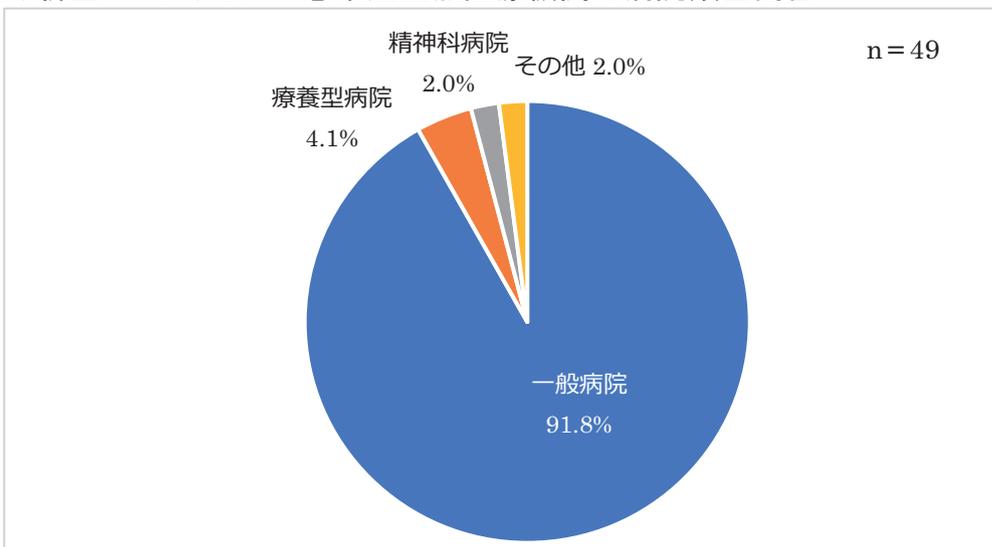
(図表 8-3) 感染症診療協力医療機関の病床規模別割合



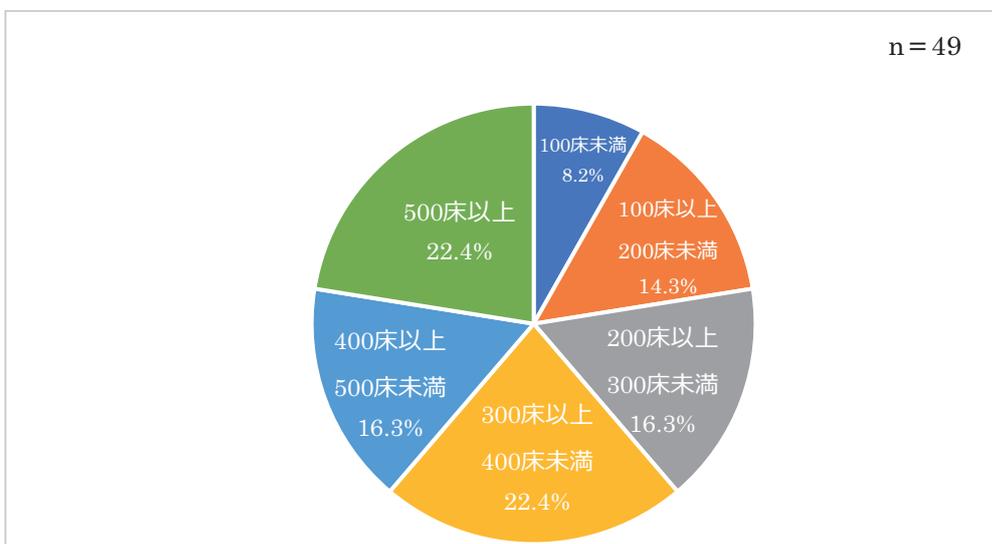
(図表 9-1)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有無



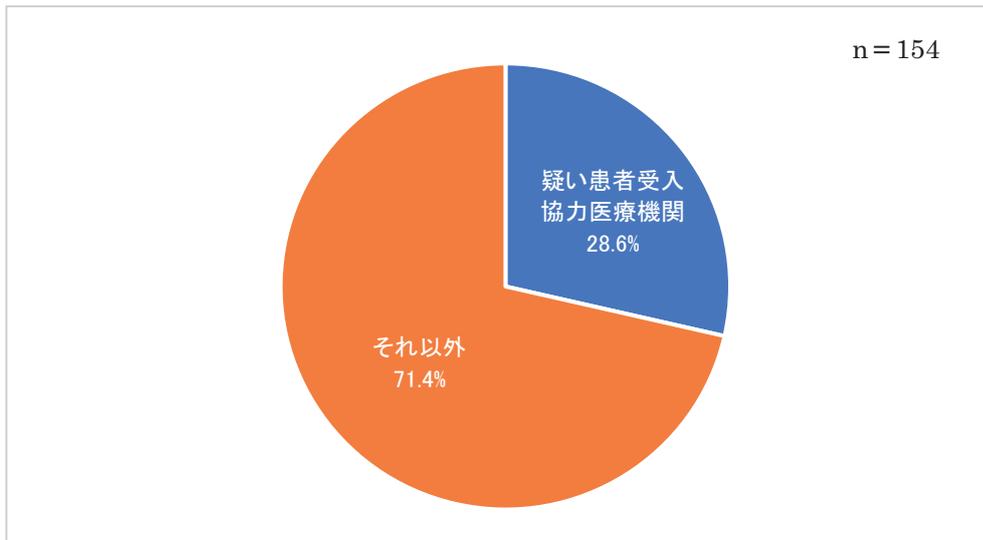
(図表 9-2)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の病院類型割合



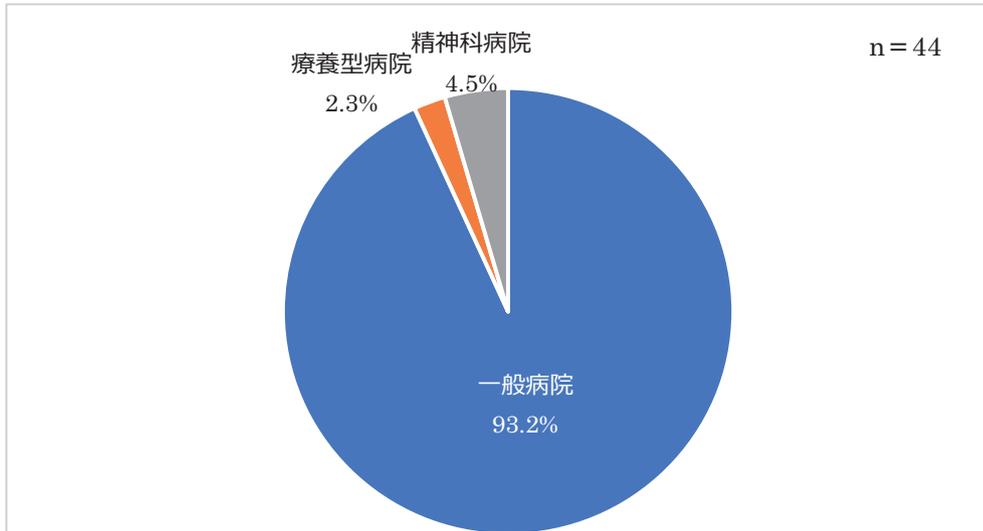
(図表 9-3)新型コロナウイルス感染症重点医療機関の病床規模別割合



(図表 10-1) 感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有無



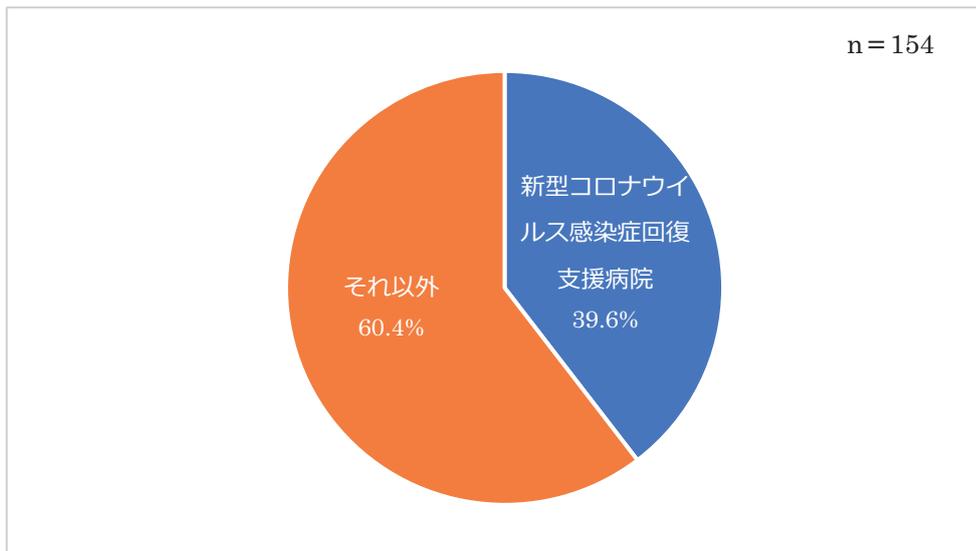
(図表 10-2) 感染症疑い患者受入協力医療機関の病院類型割合



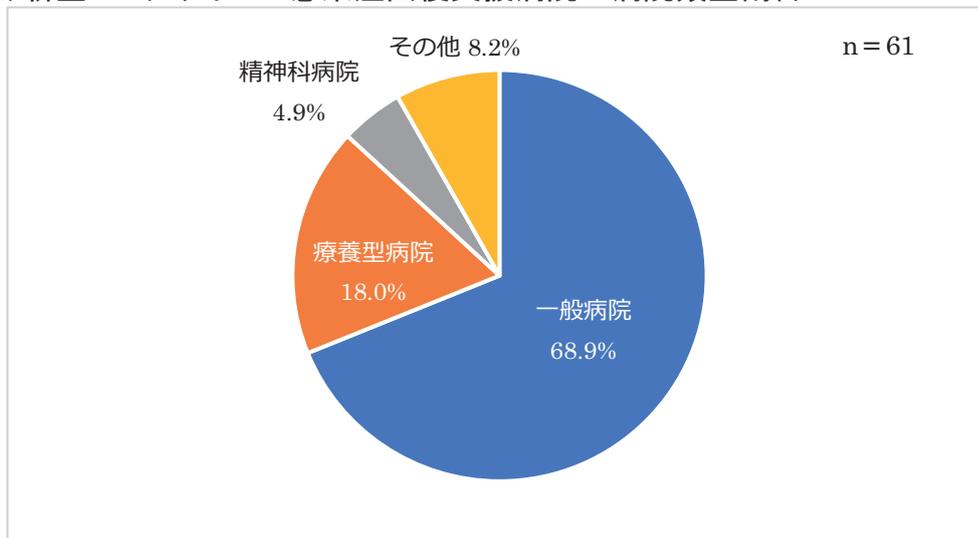
(図表 10-3) 感染症疑い患者受入協力医療機関の病床規模別割合



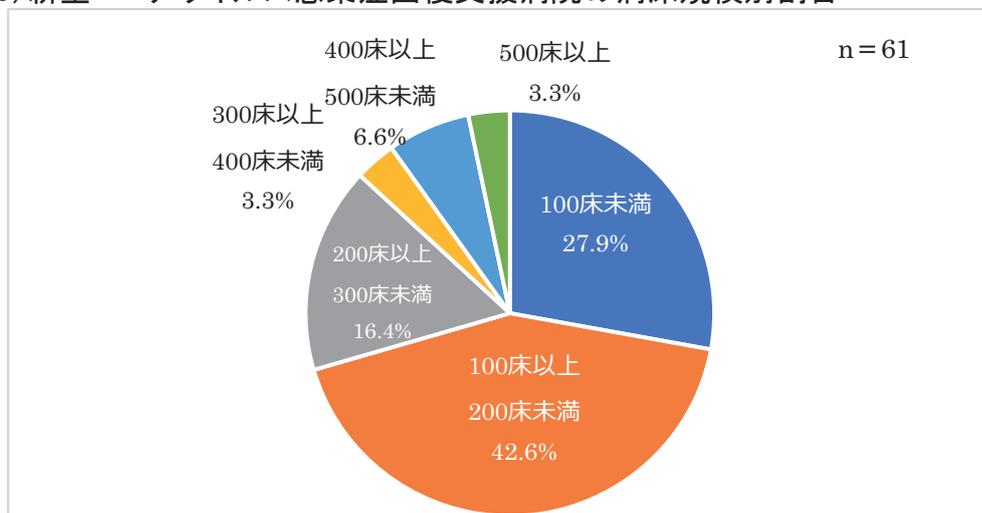
(図表 11-1) 新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有無



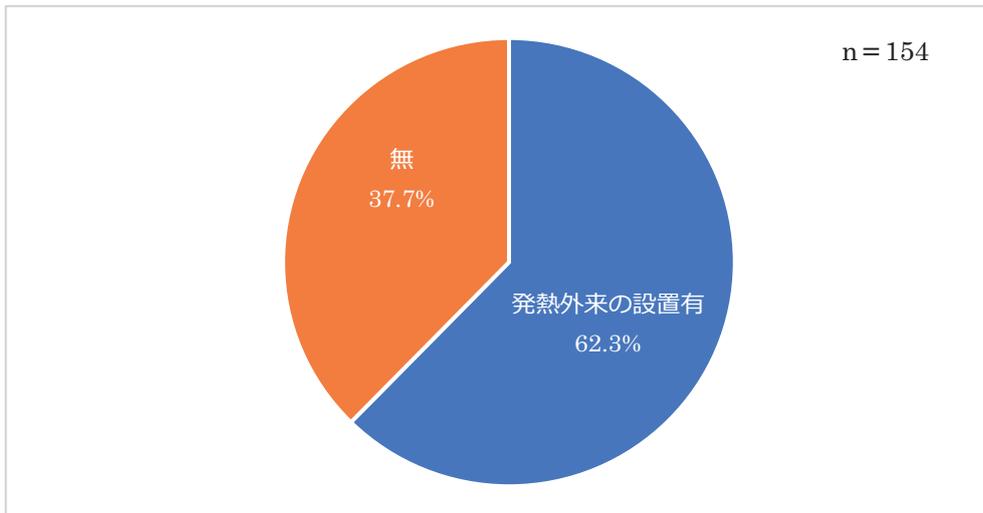
(図表 11-2) 新型コロナウイルス感染症回復支援病院の病院類型割合



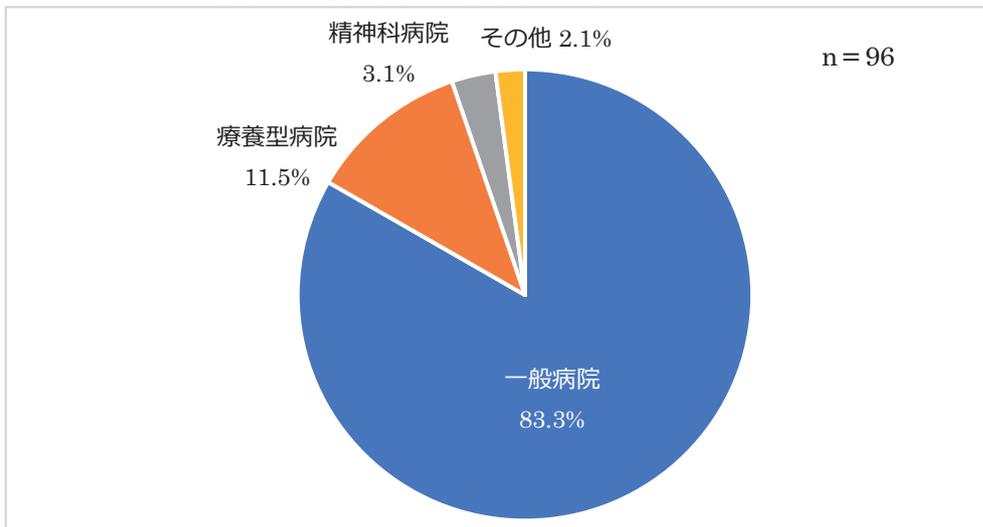
(図表 11-3) 新型コロナウイルス感染症回復支援病院の病床規模別割合



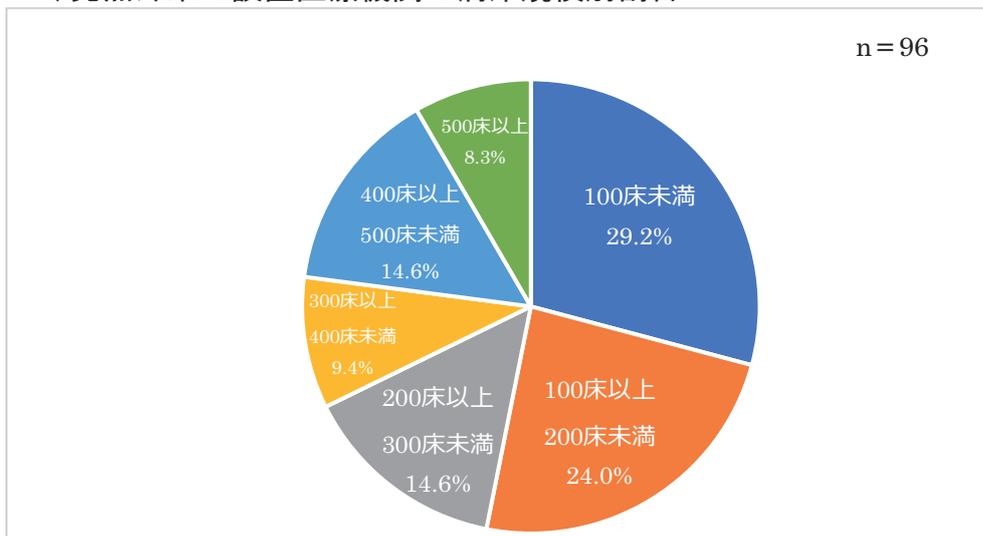
(図表 12-1) 発熱外来の設置有無(過去に設置していた場合を含む)



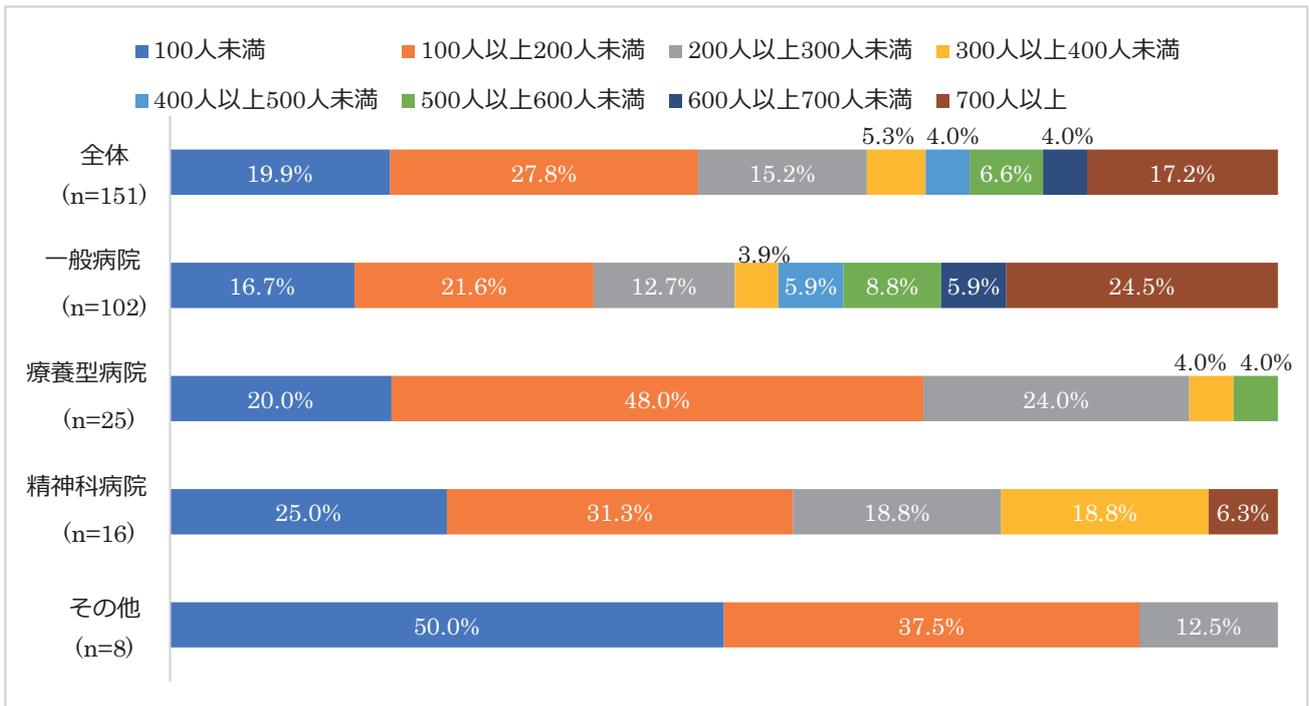
(図表 12-2) 発熱外来の設置医療機関の病院類型割合



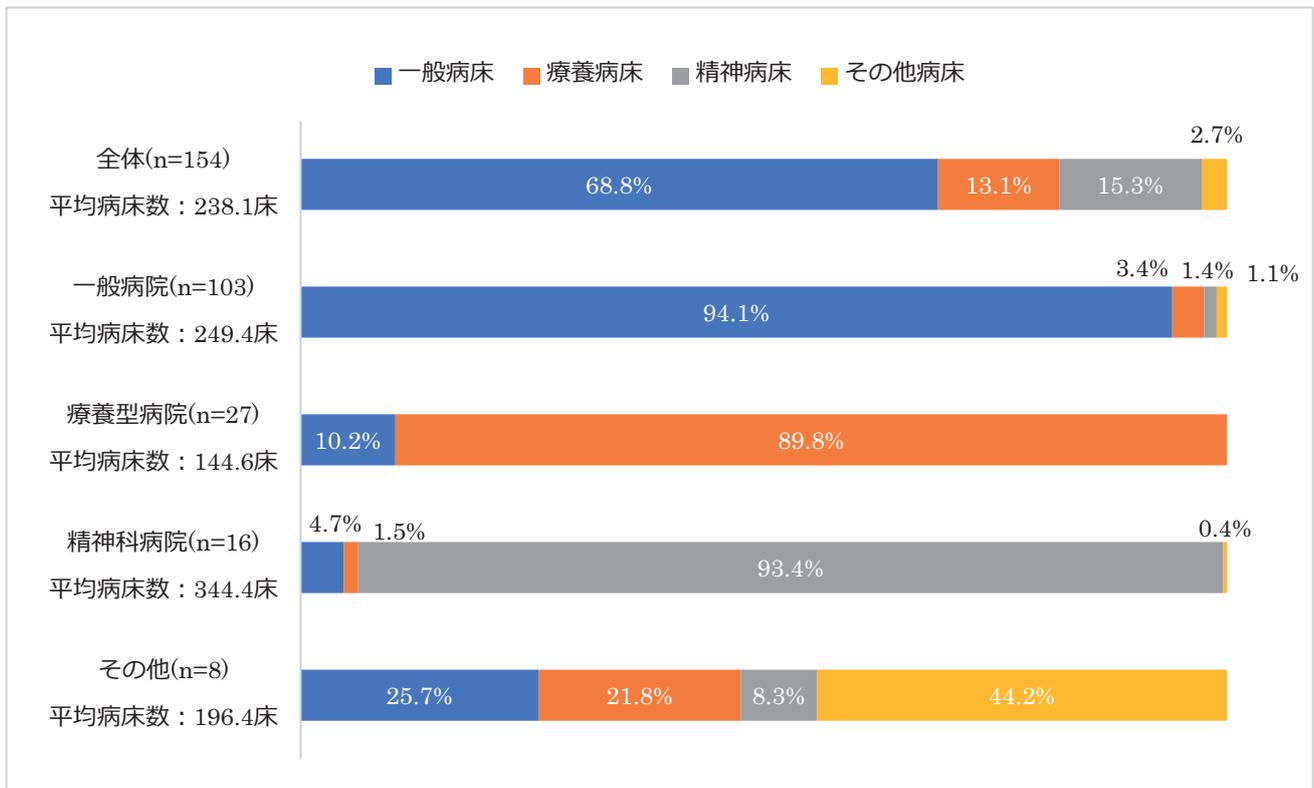
(図表 12-3) 発熱外来の設置医療機関の病床規模別割合



(図表 13) 病院類型別職員規模別割合



(図表 14) 病院類型別病床種別の割合



## 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の経営状況

(図表 15) 病院類型別 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の収益、費用および利益の状況

単位：千円

		一般病院 (n = 86) (平均病床 264.9 床)	療養型病院 (n = 18) (平均病床 137.7 床)	精神科病院 (n = 12) (平均病床 285.1 床)	その他 (n = 7) (平均病床 207.7 床)	全体 (n = 123) (平均病床 245.0 床)	
医業収益	2019下半期	3,914,542	835,479	874,114	1,088,179	3,006,471	
	2020下半期	3,764,340	840,172	882,010	1,076,331	2,902,234	
	2021上半期	3,793,321	864,404	900,236	1,079,894	2,928,024	
	2020下半期-2019下半期	▲ 150,202	4,694	7,896	▲ 11,848	▲ 104,236	
	2021上半期-2019下半期	▲ 121,221	28,926	26,122	▲ 8,285	▲ 78,446	
	うち 入院収益	2019下半期	2,589,334	679,342	777,255	961,457	2,040,391
		2020下半期	2,413,690	670,972	782,473	928,479	1,914,991
		2021上半期	2,443,322	703,347	802,931	931,377	1,942,607
		2020下半期-2019下半期	▲ 175,644	▲ 8,370	5,218	▲ 32,978	▲ 125,401
		2021上半期-2019下半期	▲ 146,012	24,005	25,675	▲ 30,080	▲ 97,784
	うち 外来収益	2019下半期	1,204,863	115,549	72,005	72,539	870,487
		2020下半期	1,193,177	120,209	67,817	92,940	863,751
		2021上半期	1,200,816	120,346	70,876	84,449	868,927
		2020下半期-2019下半期	▲ 11,686	4,660	▲ 4,189	20,402	▲ 6,736
		2021上半期-2019下半期	▲ 4,048	4,797	▲ 1,129	11,911	▲ 1,560
医業費用	2019下半期	4,127,498	795,505	873,821	958,462	3,142,106	
	2020下半期	4,190,795	806,424	888,650	997,478	3,191,627	
	2021上半期	3,990,471	863,435	842,980	991,106	3,055,088	
	2020下半期-2019下半期	63,297	10,919	14,829	39,016	49,521	
	2021上半期-2019下半期	▲ 137,027	67,930	▲ 30,841	32,644	▲ 87,018	
医業利益	2019下半期	▲ 212,956	39,974	293	129,717	▲ 135,635	
	2020下半期	▲ 426,455	33,749	▲ 6,640	78,853	▲ 289,393	
	2021上半期	▲ 197,150	969	57,256	88,788	▲ 127,064	
	2020下半期-2019下半期	▲ 213,499	▲ 6,225	▲ 6,932	▲ 50,864	▲ 153,758	
	2021上半期-2019下半期	15,806	▲ 39,004	56,964	▲ 40,929	8,571	

(図表 16) コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況①

		感染症指定医療機関の指定有 (n = 9) (平均病床 541.9 床)	感染症診療協力医療機関の指定有 (n = 29) (平均病床 384.4 床)	新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有 (n = 41) (平均病床 397.5 床)	新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有 (n = 40) (平均病床 342.5 床)	新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有 (n = 52) (平均病床 179.2 床)	発熱外来の設置有 (n = 81) (平均病床 274.8 床)
<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <b>医業収益</b> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <b>うち 入院収益</b> </div> <div> <b>うち 外来収益</b> </div> </div>	2019下半期	8,598,816	5,345,200	6,332,219	5,119,724	1,517,716	3,652,581
	2020下半期	7,883,186	5,029,520	5,992,905	4,896,177	1,548,445	3,498,785
	2021上半期	8,099,805	5,149,536	6,090,159	4,938,139	1,544,653	3,520,772
	2020下半期・2019下半期	▲ 715,629	▲ 315,680	▲ 339,313	▲ 223,547	30,729	▲ 153,796
	2021上半期・2019下半期	▲ 499,011	▲ 195,664	▲ 242,060	▲ 181,585	26,937	▲ 131,810
	2019下半期	5,665,480	3,639,726	4,208,091	3,408,743	1,071,719	2,460,059
	2020下半期	4,983,358	3,340,077	3,856,036	3,153,189	1,053,728	2,278,338
	2021上半期	5,225,514	3,418,055	3,933,639	3,194,185	1,073,009	2,310,906
	2020下半期・2019下半期	▲ 682,123	▲ 299,649	▲ 352,055	▲ 255,555	▲ 17,991	▲ 181,722
	2021上半期・2019下半期	▲ 439,966	▲ 221,671	▲ 274,452	▲ 214,559	1,291	▲ 149,153
	2019下半期	2,781,979	1,588,067	1,954,368	1,564,886	353,568	1,072,848
	2020下半期	2,648,036	1,549,322	1,921,893	1,555,548	363,394	1,059,926
	2021上半期	2,681,700	1,558,317	1,945,467	1,557,420	354,518	1,059,827
	2020下半期・2019下半期	▲ 133,942	▲ 38,745	▲ 32,475	▲ 9,338	9,826	▲ 12,922
	2021上半期・2019下半期	▲ 100,279	▲ 29,750	▲ 8,901	▲ 7,466	950	▲ 13,021
<b>医業費用</b>	2019下半期	9,410,819	5,634,722	6,749,611	5,356,488	1,539,648	3,842,764
	2020下半期	9,688,001	5,655,499	6,887,385	5,469,673	1,576,866	3,901,169
	2021上半期	8,910,512	5,386,096	6,511,737	5,199,774	1,570,201	3,717,767
	2020下半期・2019下半期	277,182	20,777	137,773	113,185	37,217	58,406
	2021上半期・2019下半期	▲ 500,307	▲ 248,625	▲ 237,875	▲ 156,713	30,553	▲ 124,996
<b>医業利益</b>	2019下半期	▲ 812,003	▲ 289,521	▲ 417,393	▲ 236,764	▲ 21,933	▲ 190,182
	2020下半期	▲ 1,804,814	▲ 625,979	▲ 894,479	▲ 573,496	▲ 28,421	▲ 402,384
	2021上半期	▲ 810,707	▲ 236,560	▲ 421,578	▲ 261,635	▲ 25,548	▲ 196,996
	2020下半期・2019下半期	▲ 992,811	▲ 336,457	▲ 477,087	▲ 336,732	▲ 6,488	▲ 212,202
	2021上半期・2019下半期	1,296	52,961	▲ 4,185	▲ 24,871	▲ 3,615	▲ 6,813

(図表 17) コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況②

単位：千円

		新型コロナウイルス感染症対応有 (いずれか)  (n = 101) (平均病床 266.7 床)	新型コロナウイルス感染症対応有 (外来未実施)  (n = 20) (平均病床 234.1 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援未実施)  (n = 39) (平均病床 416.2 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援のみ実施)  (n = 33) (平均病床 164.1 床)	発熱外来のみ設置 (入院対応未実施)  (n = 10) (平均病床 139.1 床)	未対応  (n = 22) (平均病床 145.5 床)	
医業収益	2019下半期	3,510,140	2,933,251	6,621,495	1,121,405	1,736,457	694,171	
	2020下半期	3,387,789	2,938,253	6,259,924	1,133,865	1,751,046	673,098	
	2021上半期	3,416,198	2,992,677	6,337,637	1,113,605	1,754,622	686,860	
	2020下半期-2019下半期	▲ 122,351	5,002	▲ 361,571	12,461	14,590	▲ 21,074	
	2021上半期-2019下半期	▲ 93,941	59,426	▲ 283,858	▲ 7,800	18,165	▲ 7,311	
	うち 入院収益	2019下半期	2,367,317	1,991,710	4,425,273	858,703	1,078,399	539,507
		2020下半期	2,218,384	1,975,572	4,065,316	842,656	1,071,563	522,139
		2021上半期	2,249,842	2,002,534	4,122,563	843,354	1,065,763	532,120
		2020下半期-2019下半期	▲ 148,933	▲ 16,138	▲ 359,957	▲ 16,048	▲ 6,836	▲ 17,368
		2021上半期-2019下半期	▲ 117,474	10,824	▲ 302,709	▲ 15,350	▲ 12,636	▲ 7,387
	うち 外来収益	2019下半期	1,028,050	846,616	2,057,200	204,751	521,666	147,133
		2020下半期	1,021,733	867,052	2,025,219	201,189	531,499	138,472
		2021上半期	1,027,101	894,560	2,046,933	190,788	547,185	142,765
		2020下半期-2019下半期	▲ 6,317	20,436	▲ 31,982	▲ 3,562	9,833	▲ 8,661
		2021上半期-2019下半期	▲ 949	47,944	▲ 10,267	▲ 13,963	25,519	▲ 4,368
医業費用	2019下半期	3,669,688	2,968,734	6,994,239	1,106,899	1,780,149	720,022	
	2020下半期	3,732,287	3,048,313	7,117,082	1,112,046	1,739,778	709,507	
	2021上半期	3,568,974	2,966,362	6,705,617	1,088,692	1,729,686	695,884	
	2020下半期-2019下半期	62,598	79,579	122,843	5,147	▲ 40,371	▲ 10,514	
	2021上半期-2019下半期	▲ 100,714	▲ 2,372	▲ 288,622	▲ 18,207	▲ 50,463	▲ 24,138	
医業利益	2019下半期	▲ 159,549	▲ 35,483	▲ 372,744	14,506	▲ 43,693	▲ 25,850	
	2020下半期	▲ 344,498	▲ 110,060	▲ 857,158	21,819	11,268	▲ 36,410	
	2021上半期	▲ 152,776	26,315	▲ 367,980	24,913	24,936	▲ 9,024	
	2020下半期-2019下半期	▲ 184,950	▲ 74,576	▲ 484,413	7,313	54,961	▲ 10,559	
	2021上半期-2019下半期	6,773	61,799	4,764	10,408	68,629	16,827	

※新型コロナウイルス感染症対応とは、以下のことを指す(以下、記載がない限り同じ。)

- ・感染症指定医療機関の指定有無
- ・感染症診療協力医療機関の指定有無
- ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有無
- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有無
- ・新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有無
- ・発熱外来の設置有無(過去に設置していた場合を含む)

(図表 18) コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況①(一般病院のみ)

単位：千円

		感染症指定医療機関の指定有 (n = 9) (平均病床 541.9 床)	感染症診療協力医療機関の指定有 (n = 26) (平均病床 389.7 床)	新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定有 (n = 39) (平均病床 407.3 床)	新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定有 (n = 38) (平均病床 346.8 床)	新型コロナウイルス感染症回復支援病院の登録有 (n = 36) (平均病床 164.9 床)	発熱外来の設置有 (n = 68) (平均病床 288.6 床)	
医業収益	2019下半期	8,598,816	5,662,474	6,563,159	5,317,184	1,715,922	4,156,381	
	2020下半期	7,883,186	5,320,048	6,208,913	5,077,891	1,758,440	3,971,367	
	2021上半期	8,099,805	5,453,038	6,317,651	5,125,129	1,728,279	3,990,015	
	2020下半期-2019下半期	▲ 715,629	▲ 342,425	▲ 354,246	▲ 239,293	42,517	▲ 185,014	
	2021上半期-2019下半期	▲ 499,011	▲ 209,435	▲ 245,508	▲ 192,055	12,356	▲ 166,366	
	うち 入院収益	2019下半期	5,665,480	3,826,637	4,364,569	3,526,704	1,127,529	2,781,089
		2020下半期	4,983,358	3,504,255	3,996,340	3,254,823	1,110,115	2,564,036
		2021上半期	5,225,514	3,592,707	4,084,301	3,300,780	1,109,490	2,594,471
		2020下半期-2019下半期	▲ 682,123	▲ 322,383	▲ 368,229	▲ 271,881	▲ 17,413	▲ 217,053
		2021上半期-2019下半期	▲ 439,966	▲ 233,931	▲ 280,267	▲ 225,924	▲ 18,039	▲ 186,618
うち 外来収益	2019下半期	2,781,979	1,716,828	2,024,905	1,637,415	478,226	1,243,963	
	2020下半期	2,648,036	1,670,206	1,990,019	1,626,723	487,421	1,227,183	
	2021上半期	2,681,700	1,679,066	2,014,026	1,628,851	476,448	1,226,809	
	2020下半期-2019下半期	▲ 133,942	▲ 46,622	▲ 34,886	▲ 10,692	9,195	▲ 16,780	
	2021上半期-2019下半期	▲ 100,279	▲ 37,762	▲ 10,879	▲ 8,564	▲ 1,778	▲ 17,154	
医業費用	2019下半期	9,410,819	5,994,326	7,001,292	5,570,143	1,788,550	4,381,824	
	2020下半期	9,688,001	6,008,414	7,145,139	5,689,194	1,830,612	4,450,041	
	2021上半期	8,910,512	5,704,703	6,746,018	5,404,570	1,800,498	4,220,985	
	2020下半期-2019下半期	277,182	14,088	143,847	119,051	42,063	68,217	
	2021上半期-2019下半期	▲ 500,307	▲ 289,623	▲ 255,275	▲ 165,573	11,948	▲ 160,839	
医業利益	2019下半期	▲ 812,003	▲ 331,852	▲ 438,133	▲ 252,960	▲ 72,627	▲ 225,443	
	2020下半期	▲ 1,804,814	▲ 688,366	▲ 936,227	▲ 611,304	▲ 72,173	▲ 478,674	
	2021上半期	▲ 810,707	▲ 251,664	▲ 428,367	▲ 279,442	▲ 72,219	▲ 230,970	
	2020下半期-2019下半期	▲ 992,811	▲ 356,514	▲ 498,094	▲ 358,344	455	▲ 253,231	
	2021上半期-2019下半期	1,296	80,188	9,766	▲ 26,482	408	▲ 5,527	

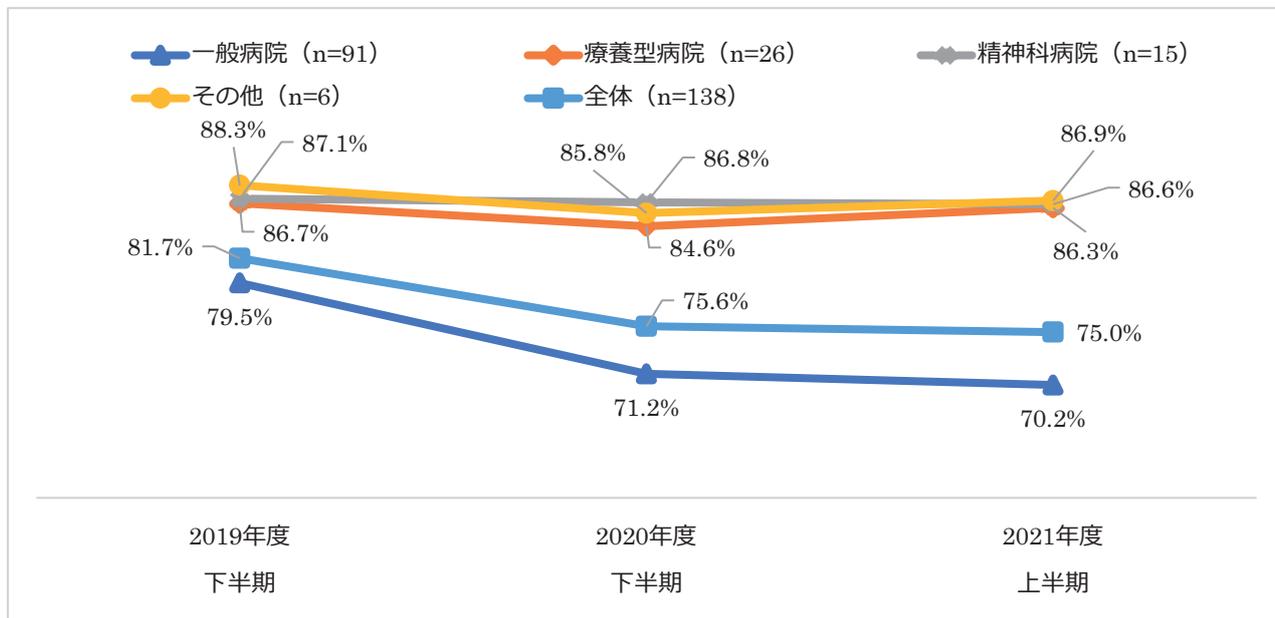
(図表 19) コロナへの対応状況別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の収益、費用および利益の状況②(一般病院のみ)

単位: 千円

		新型コロナウイルス感染症対応有 (いずれか)  (n = 78) (平均病床 284.8 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (外来未実施)  (n = 10) (平均病床 258.5 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援未実施)  (n = 36) (平均病床 428.9 床)	新型コロナウイルス感染症入院対応有 (回復支援のみ実施)  (n = 19) (平均病床 144.8 床)	発熱外来のみ設置 (入院対応未実施)  (n = 6) (平均病床 139.2 床)	未対応  (n = 8) (平均病床 071.8 床)
医業収益	2019下半期	4,234,500	4,765,714	7,035,376	1,283,949	2,540,714	794,951
	2020下半期	4,075,206	4,781,314	6,642,879	1,291,041	2,569,769	733,398
	2021上半期	4,104,808	4,885,402	6,736,943	1,219,799	2,571,175	756,318
	2020下半期・2019下半期	▲ 159,294	15,600	▲ 392,498	7,092	29,054	▲ 61,553
	2021上半期・2019下半期	▲ 129,692	119,689	▲ 298,433	▲ 64,150	30,461	▲ 38,633
うち 入院収益	2019下半期	2,805,860	2,974,302	4,697,483	910,093	1,526,106	478,208
	2020下半期	2,616,302	2,971,713	4,305,887	884,262	1,515,917	438,217
	2021上半期	2,647,489	3,008,014	4,377,327	839,213	1,496,458	452,691
	2020下半期・2019下半期	▲ 189,558	▲ 2,589	▲ 391,596	▲ 25,832	▲ 10,190	▲ 39,991
	2021上半期・2019下半期	▲ 158,371	33,712	▲ 320,156	▲ 70,880	▲ 29,649	▲ 25,518
うち 外来収益	2019下半期	1,296,281	1,652,042	2,193,223	308,263	822,955	313,543
	2020下半期	1,285,716	1,683,742	2,158,235	295,763	840,372	290,926
	2021上半期	1,293,307	1,745,497	2,181,131	281,285	867,515	299,024
	2020下半期・2019下半期	▲ 10,565	31,700	▲ 34,988	▲ 12,500	17,418	▲ 22,617
	2021上半期・2019下半期	▲ 2,974	93,455	▲ 12,092	▲ 26,978	44,560	▲ 14,519
医業費用	2019下半期	4,461,718	5,004,997	7,443,595	1,323,100	2,609,458	868,858
	2020下半期	4,535,598	5,117,391	7,574,361	1,320,972	2,532,935	828,963
	2021上半期	4,312,877	4,937,742	7,123,340	1,235,021	2,524,371	847,012
	2020下半期・2019下半期	73,881	112,394	130,766	▲ 2,128	▲ 76,523	▲ 39,895
	2021上半期・2019下半期	▲ 148,841	▲ 67,255	▲ 320,255	▲ 88,079	▲ 85,087	▲ 21,846
医業利益	2019下半期	▲ 227,217	▲ 239,283	▲ 408,219	▲ 39,151	▲ 68,744	▲ 73,907
	2020下半期	▲ 460,392	▲ 336,078	▲ 931,483	▲ 29,931	36,834	▲ 95,565
	2021上半期	▲ 208,069	▲ 52,340	▲ 386,397	▲ 15,222	46,804	▲ 90,694
	2020下半期・2019下半期	▲ 233,175	▲ 96,794	▲ 523,264	9,220	105,577	▲ 21,658
	2021上半期・2019下半期	19,149	186,944	21,822	23,929	115,548	▲ 16,787

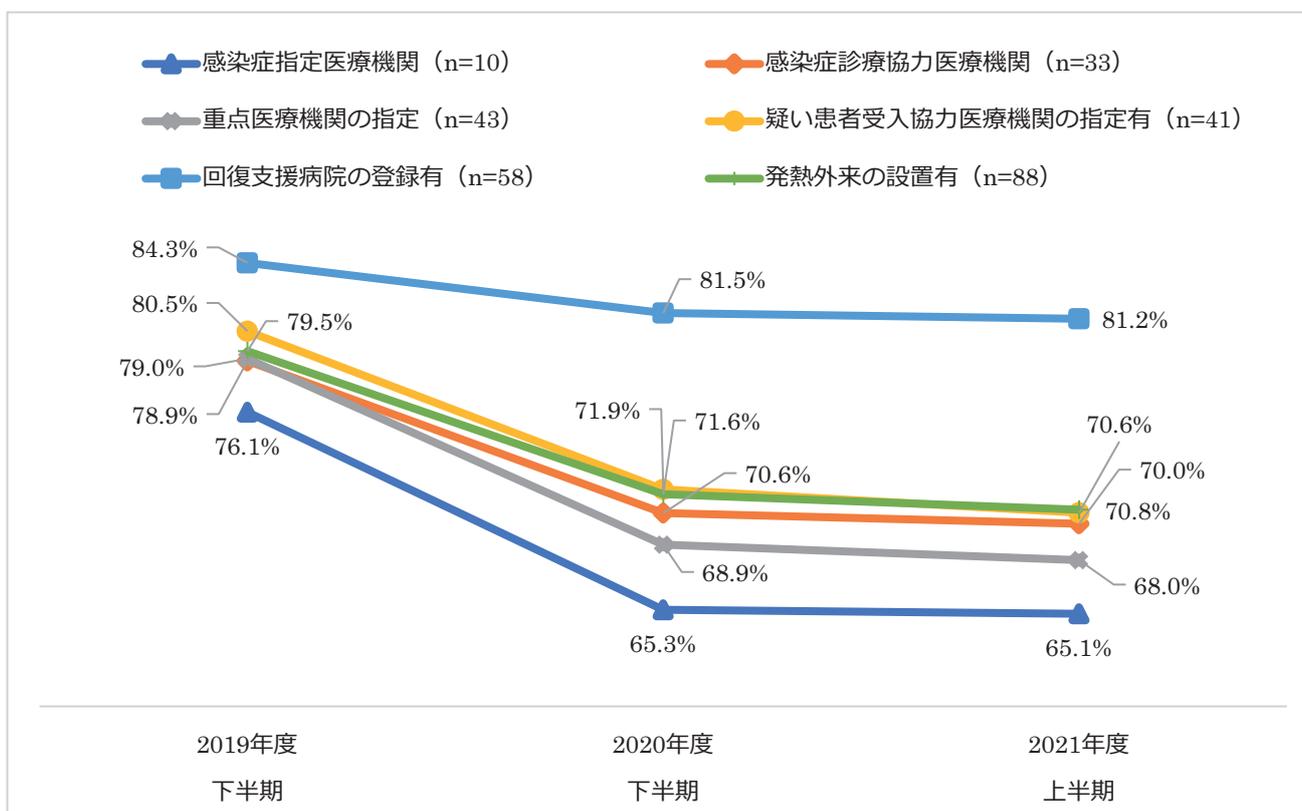
## 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の病床利用率および外来患者数の状況

(図表 20) 病院類型別 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の病床利用率

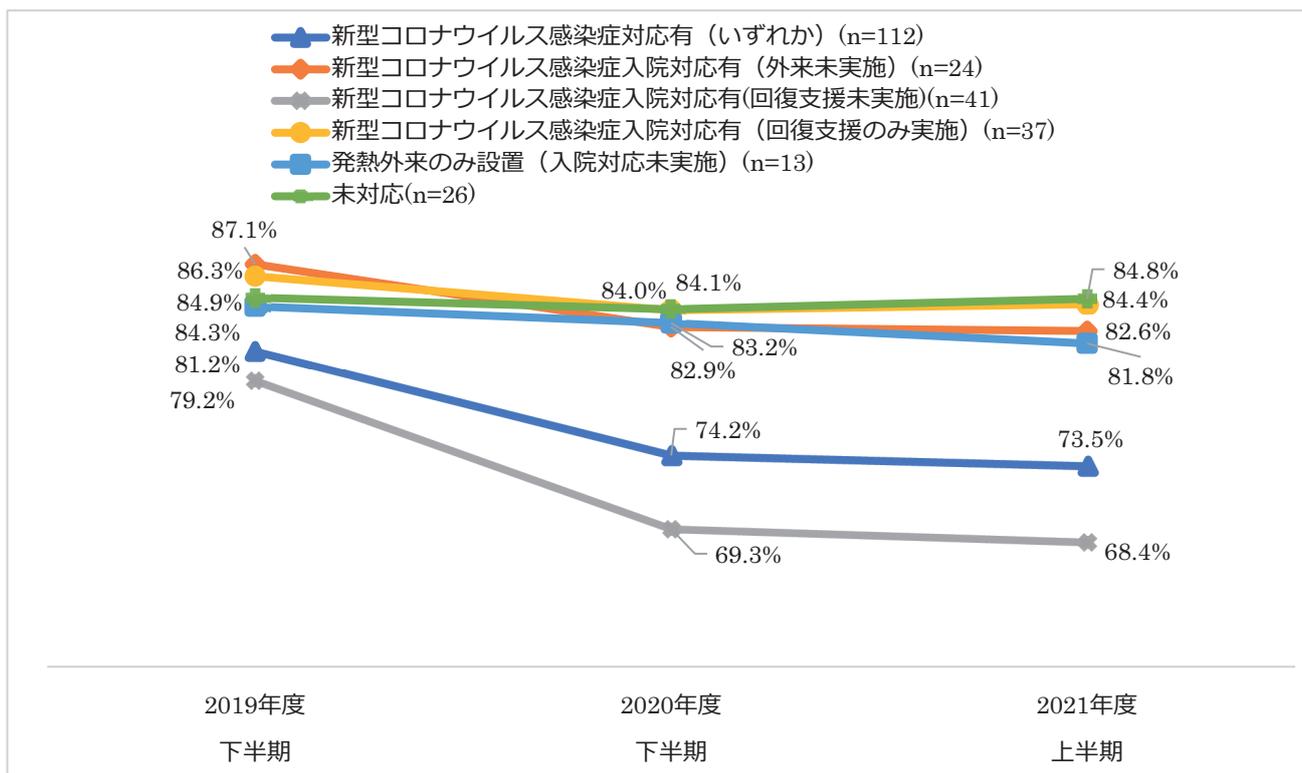


※病床利用率は、「該当期間の延べ入院患者数/総病床数×該当期間の日数」で算出(以下、同じ)

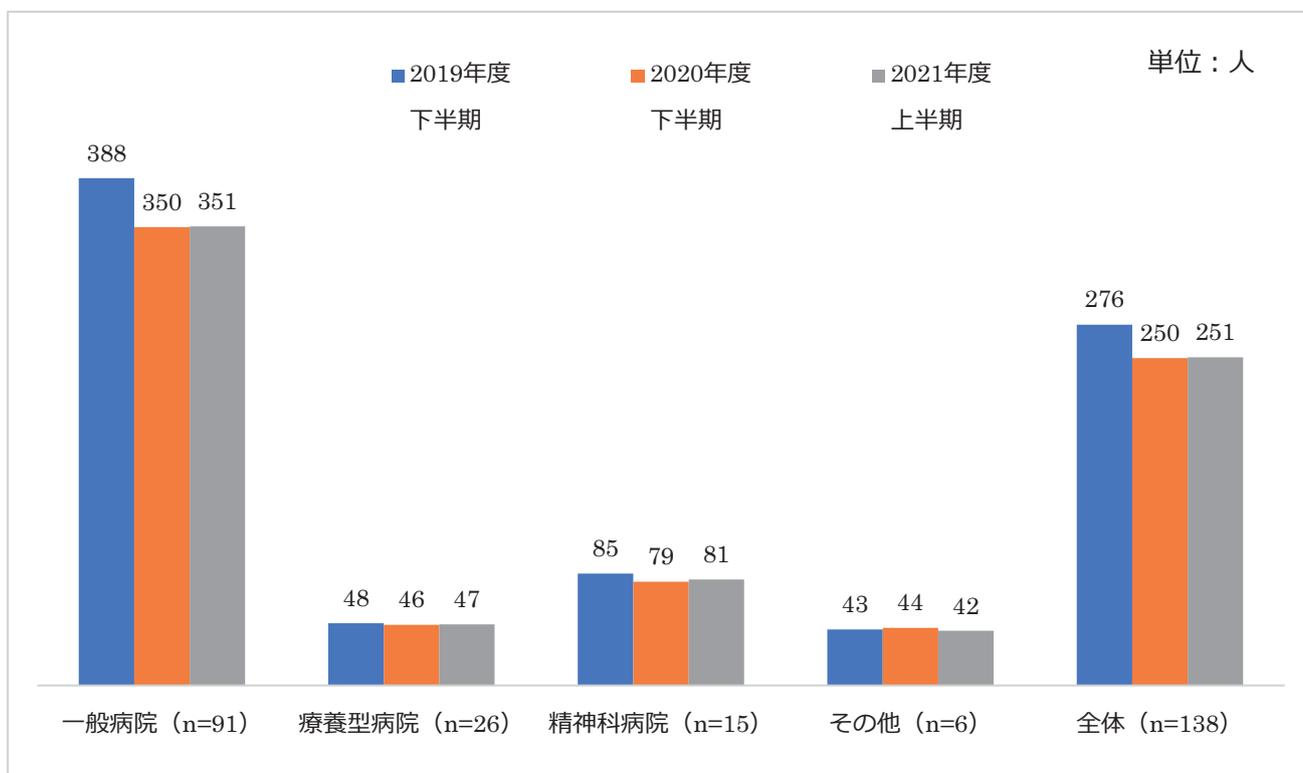
(図表 21) コロナ対応別 2019年度下半期、2020年度下半期、2021年度上半期の病床利用率①



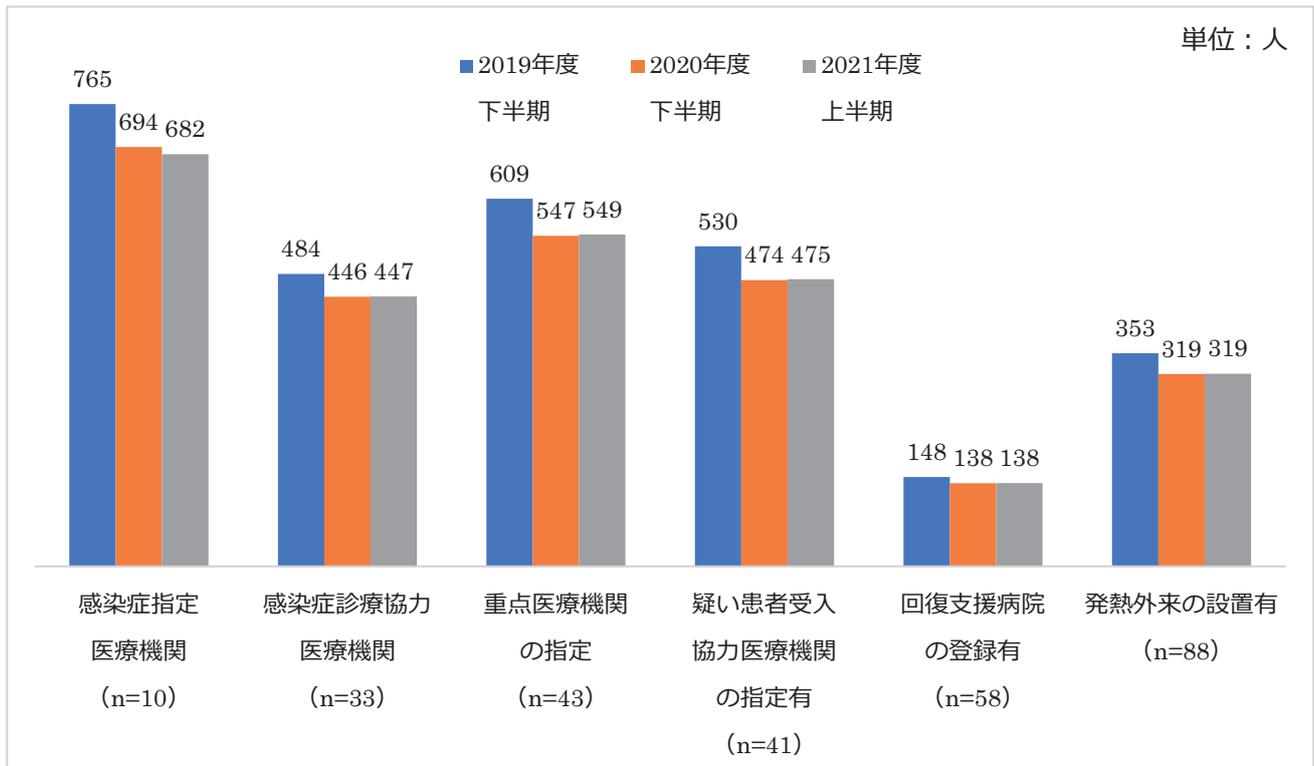
(図表 22) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の病床利用率②



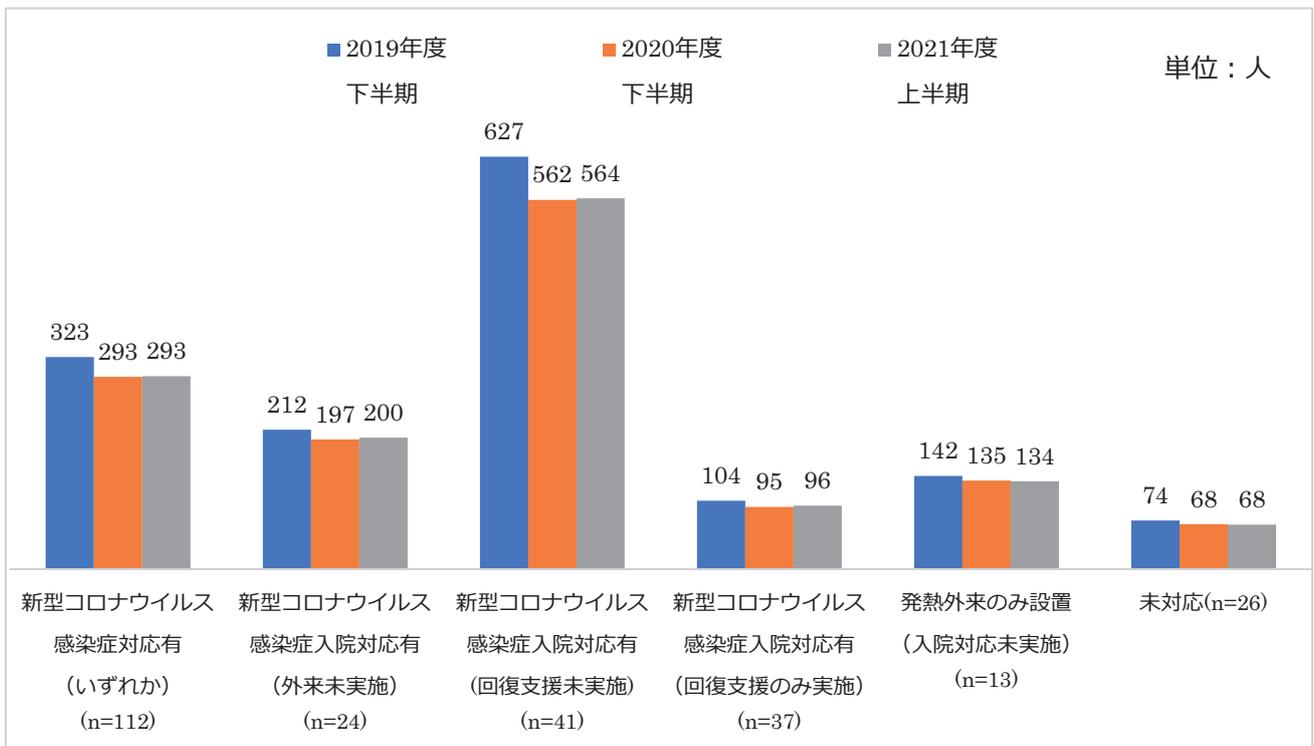
(図表 23) 病院類型別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数



(図表 24-1) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数①

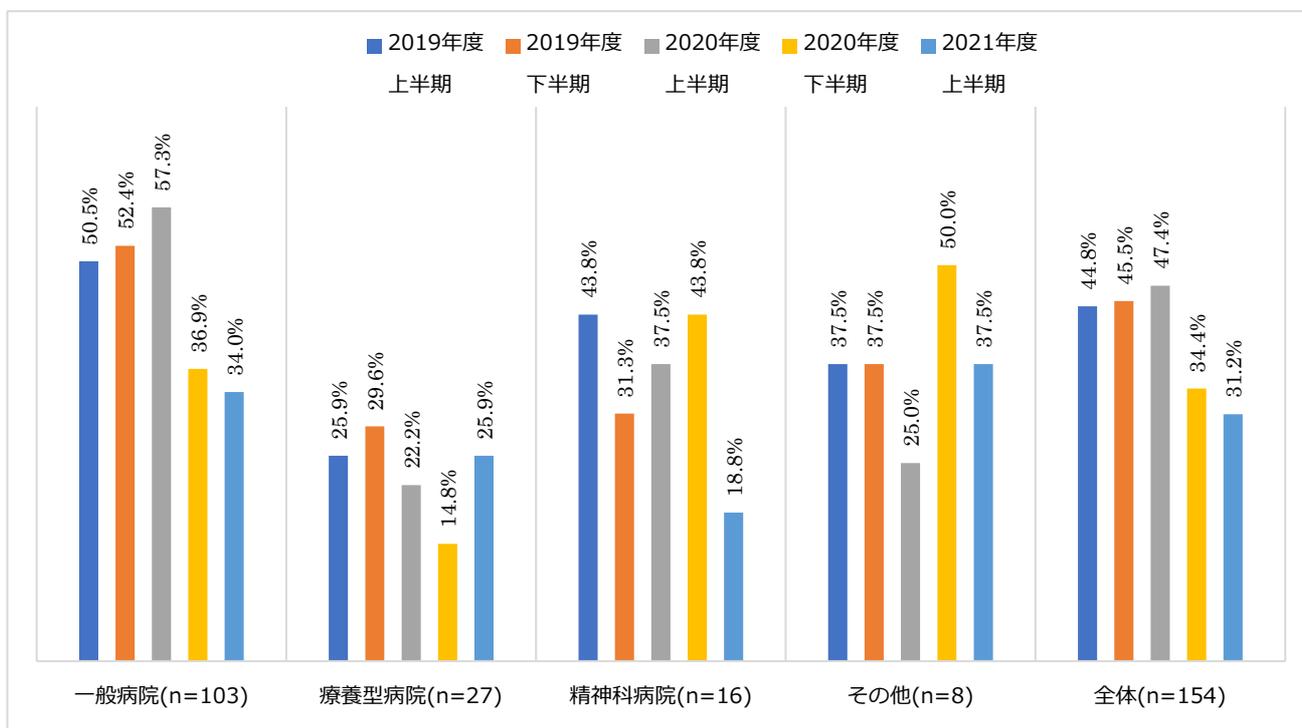


(図表 24-2) コロナ対応別 2019 年度下半期、2020 年度下半期、2021 年度上半期の 1 日当たり外来患者数②

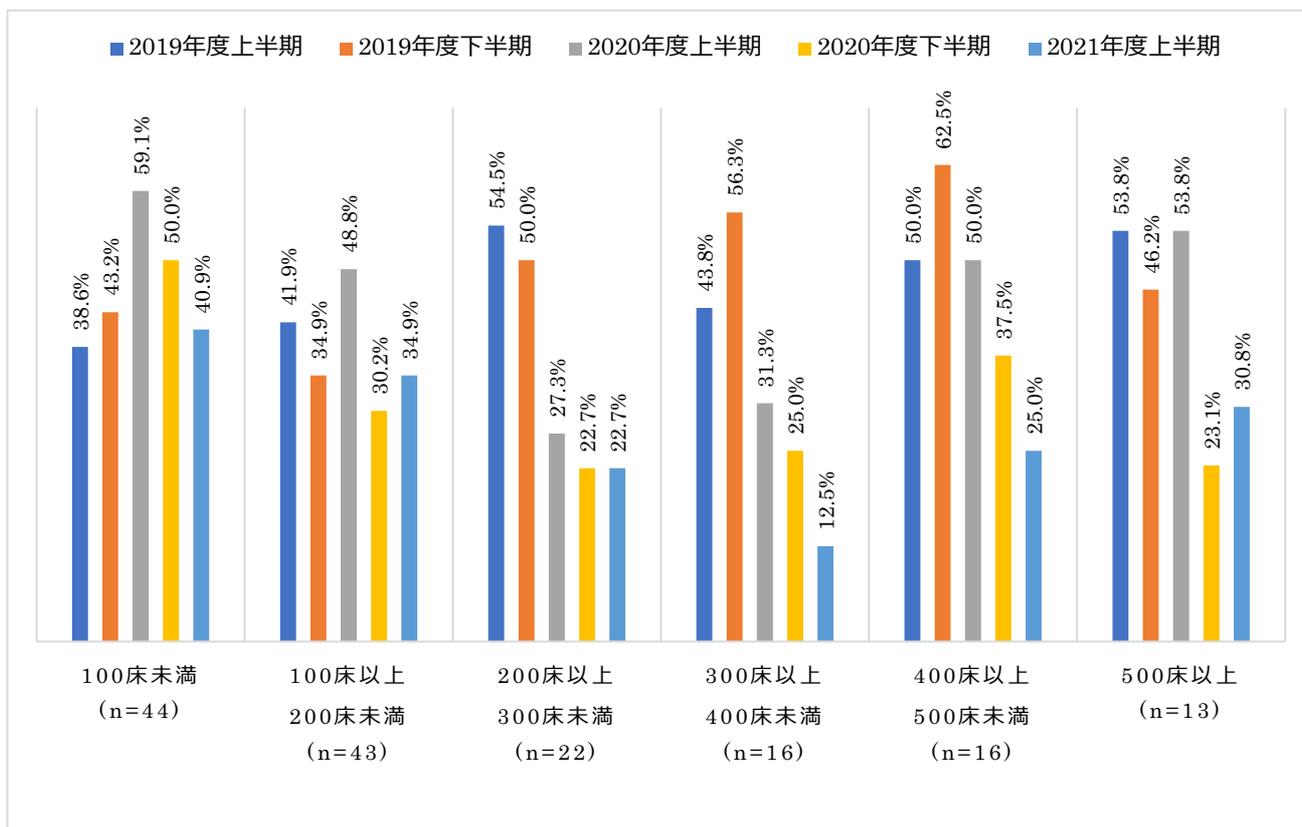


## 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合

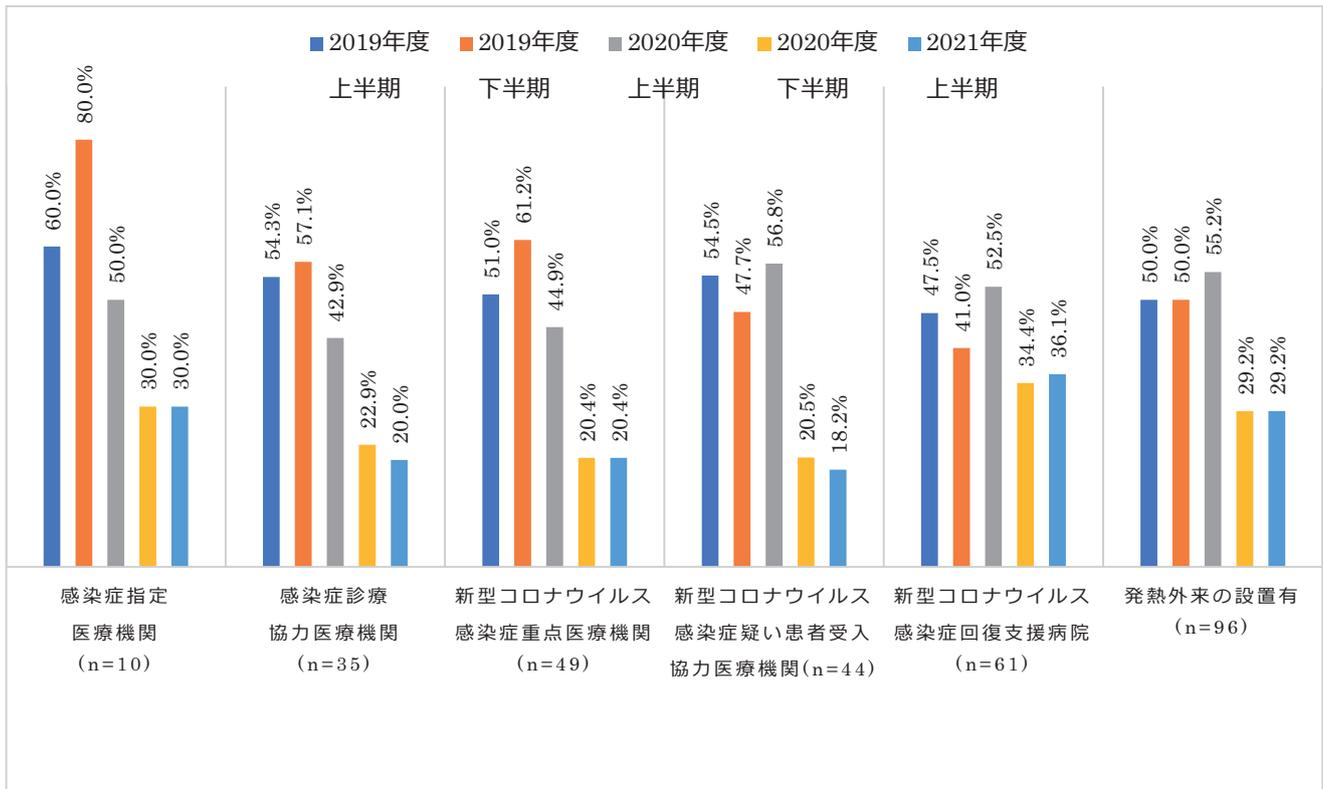
(図表 25) 病院類型別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合



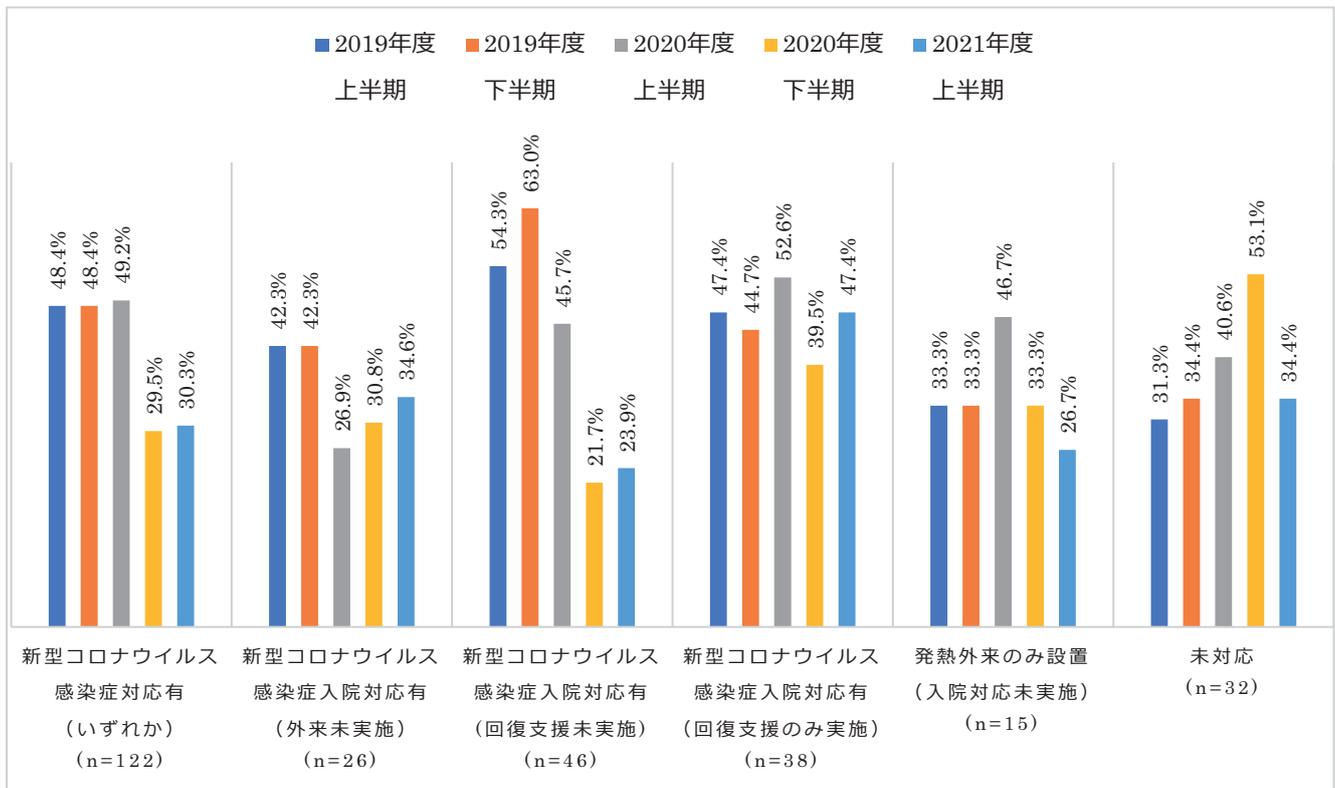
(図表 26) 病床規模別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合



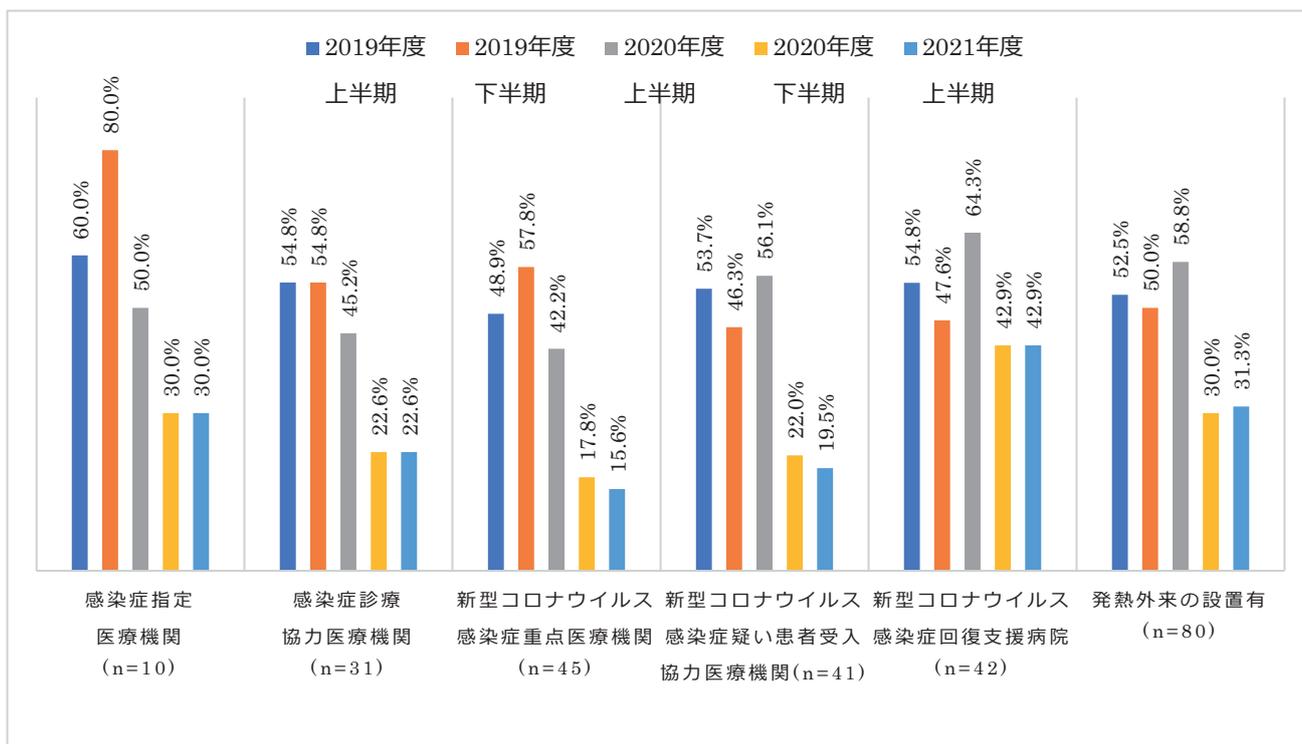
(図表 27) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合①



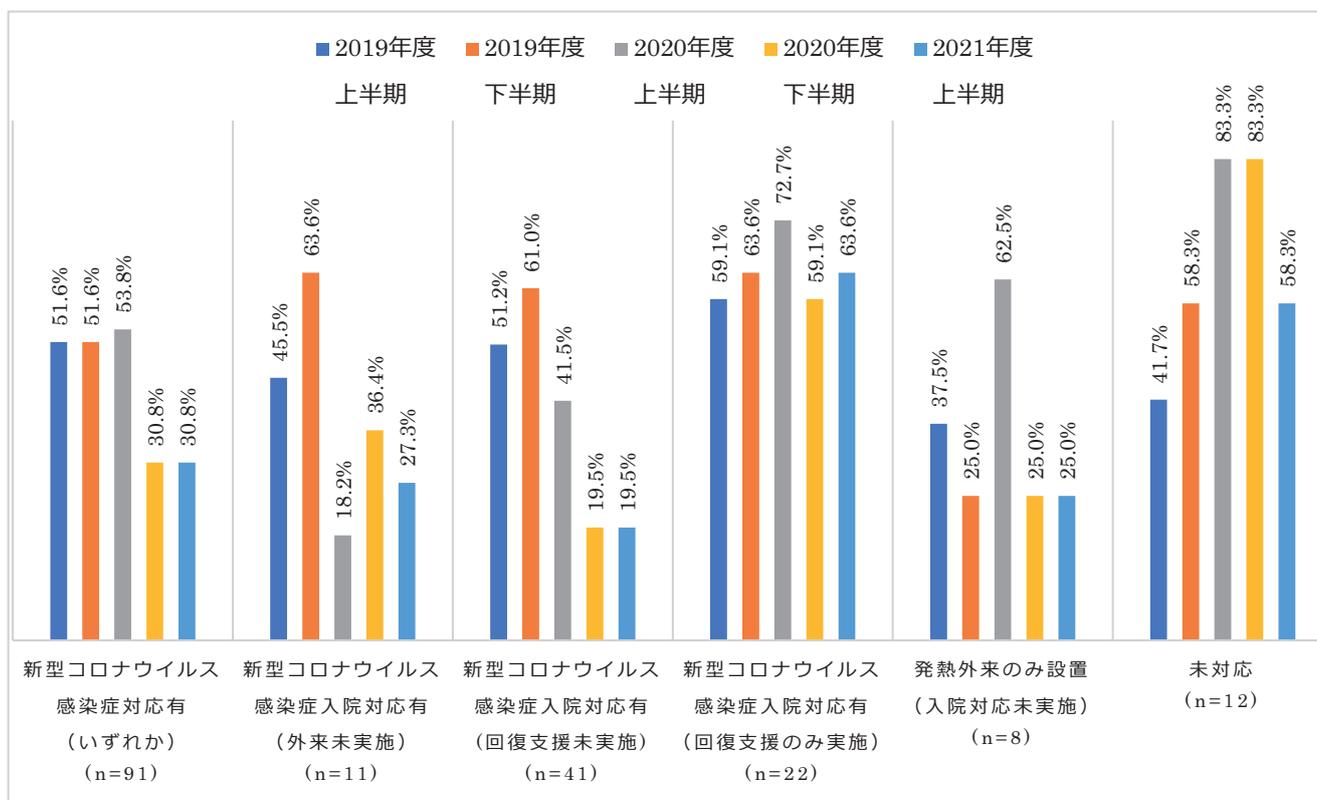
(図表 28) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合②



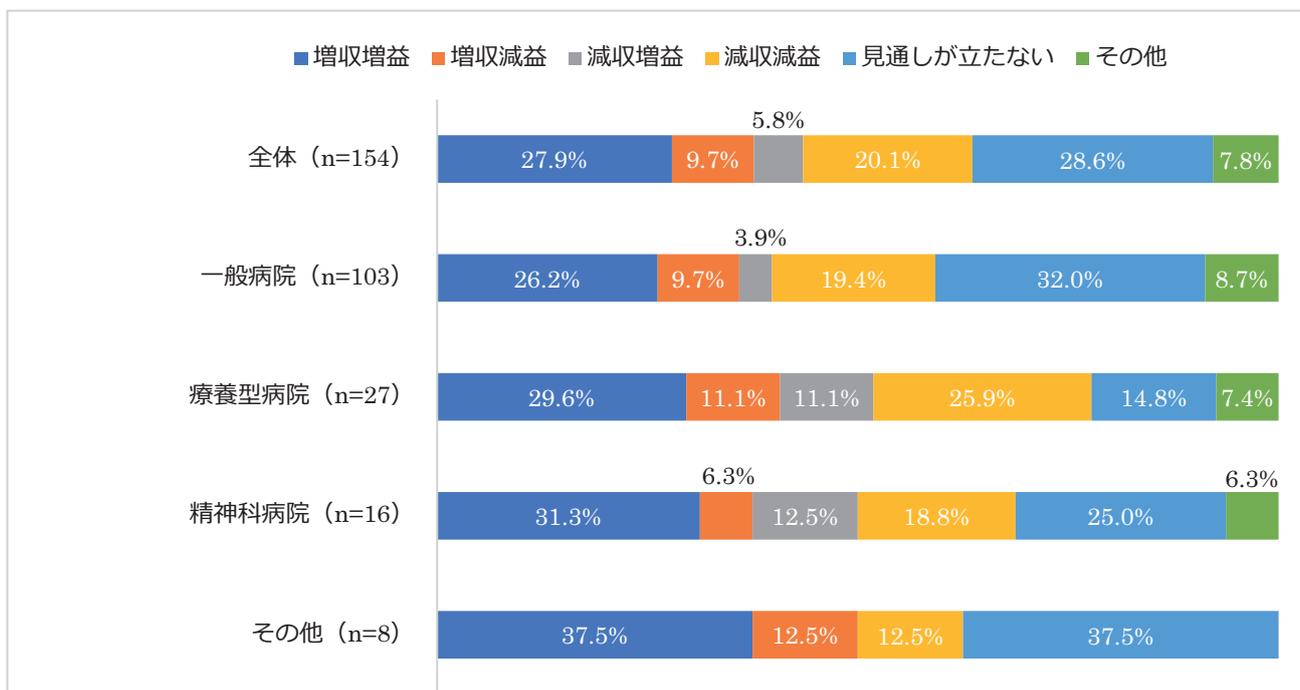
(図表 29) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合①(一般病院)



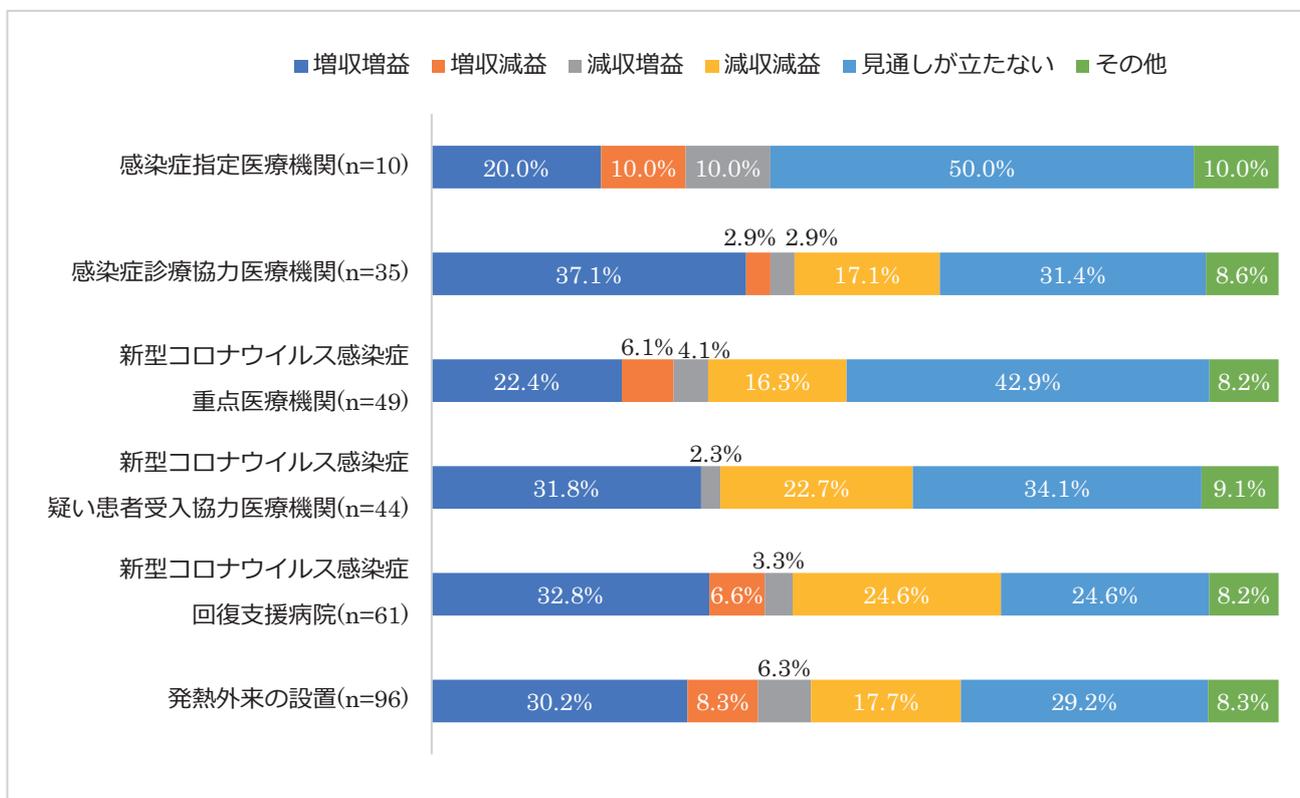
(図表 30) コロナ対応別 2019 年度上半期から 2021 年度上半期の赤字割合②(一般病院)



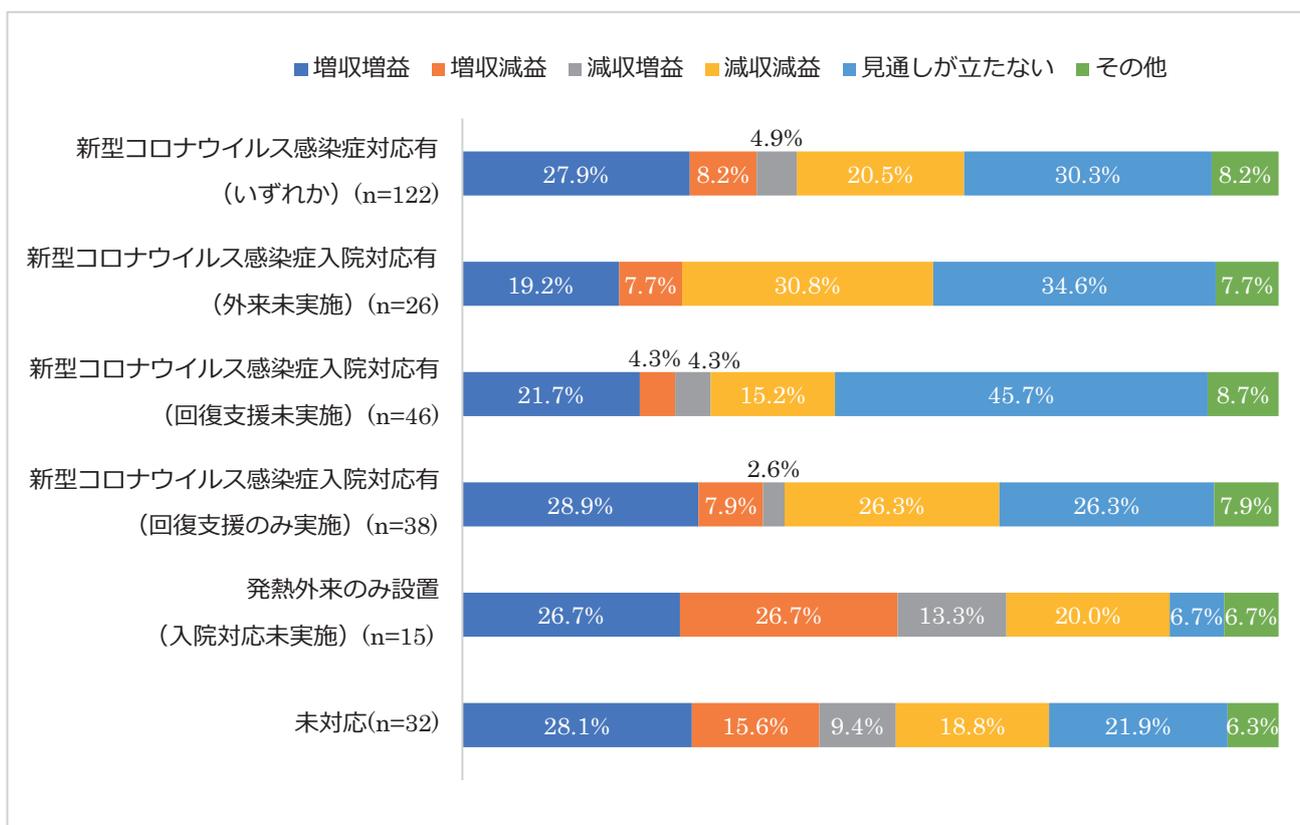
(図表 31) 病院類型別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し



(図表 32) コロナ対応別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し①



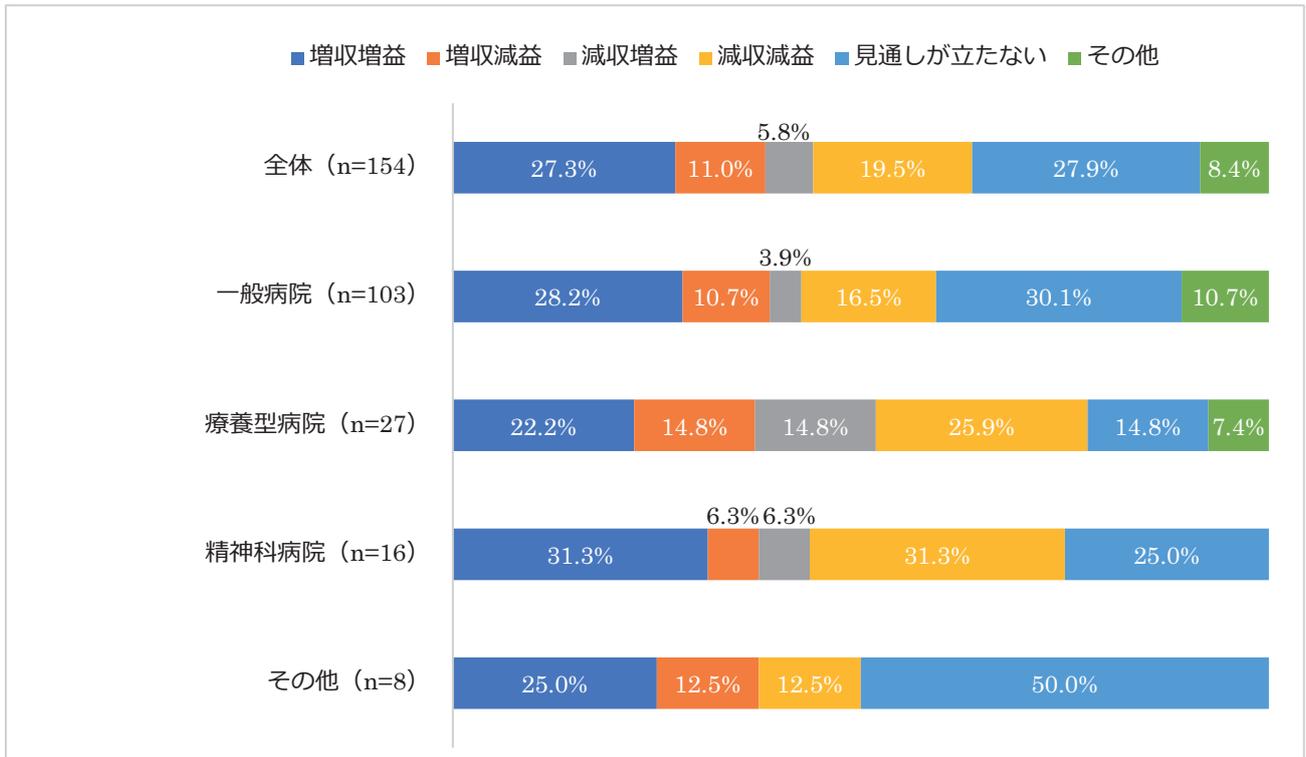
(図表 33) コロナ対応別 2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し②



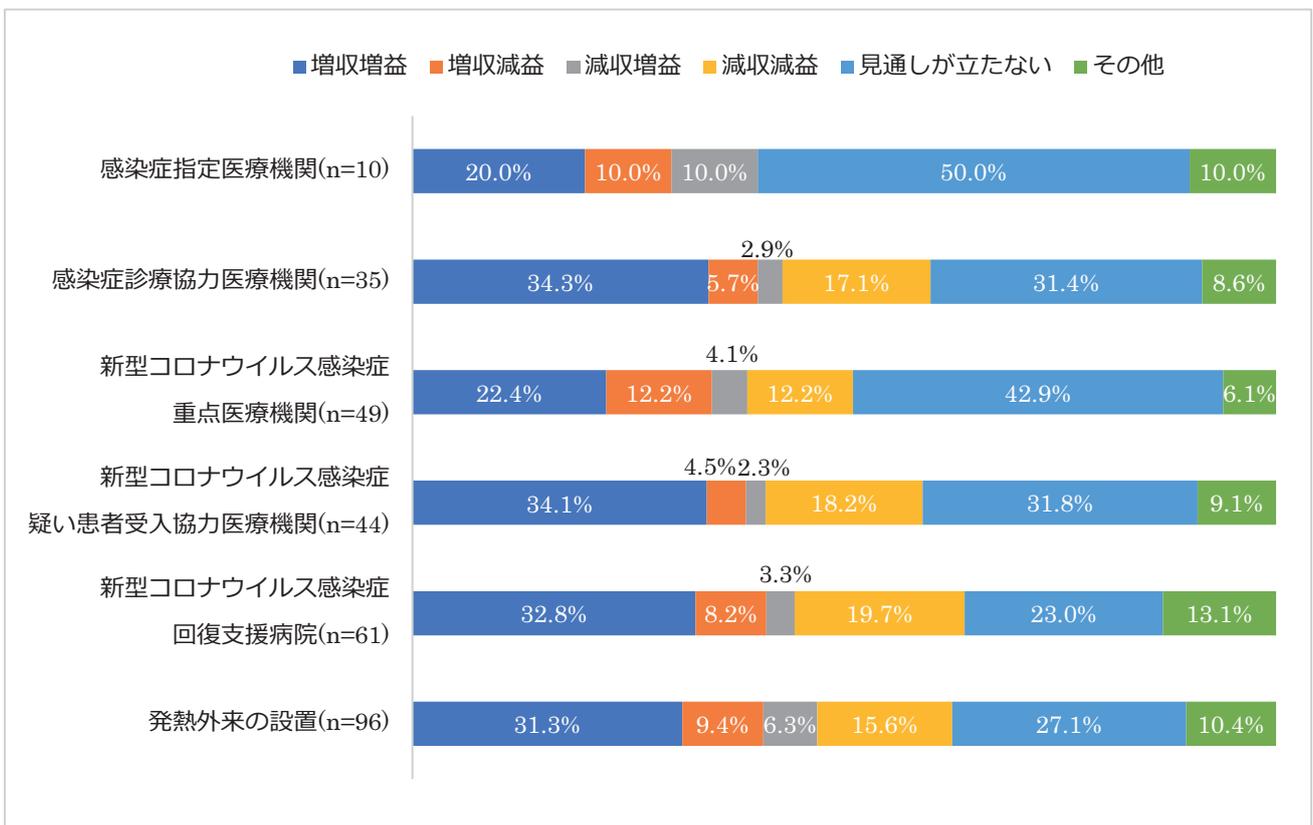
※2020 年度下半期と比較した 2021 年度下半期の経営の見通し その他の内容(抜粋)

2021 年 1 月に院内感染が発生し増益基調から一転赤字に落ちる。2021 年度下半期においては回復基調にあり損失はなくなる見込み
同程度
12 月時点ではコロナが落ち着いてきていることから患者さんが戻ってきたが、今後第 6 波如何により不明
2021 年度上半期は 2021 年度下半期と比較すると減収減益となる。2020 年度は下半期に補助金等の交付があったため収入と利益が減るため
コロナ病棟確保がなくなったためか、入院依頼が例年に比べて少ないので見通しが立たない状況
現状維持
当施設は重症心身障害児者の入所を中心とする施設であり、収支に大きな変動はないものと考えている。
見通しが立たない: 東京都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業など補助金交付額が未定
耐震補強工事施行に伴い病床の利用制限があり、比較は困難。減収減益には違いありません

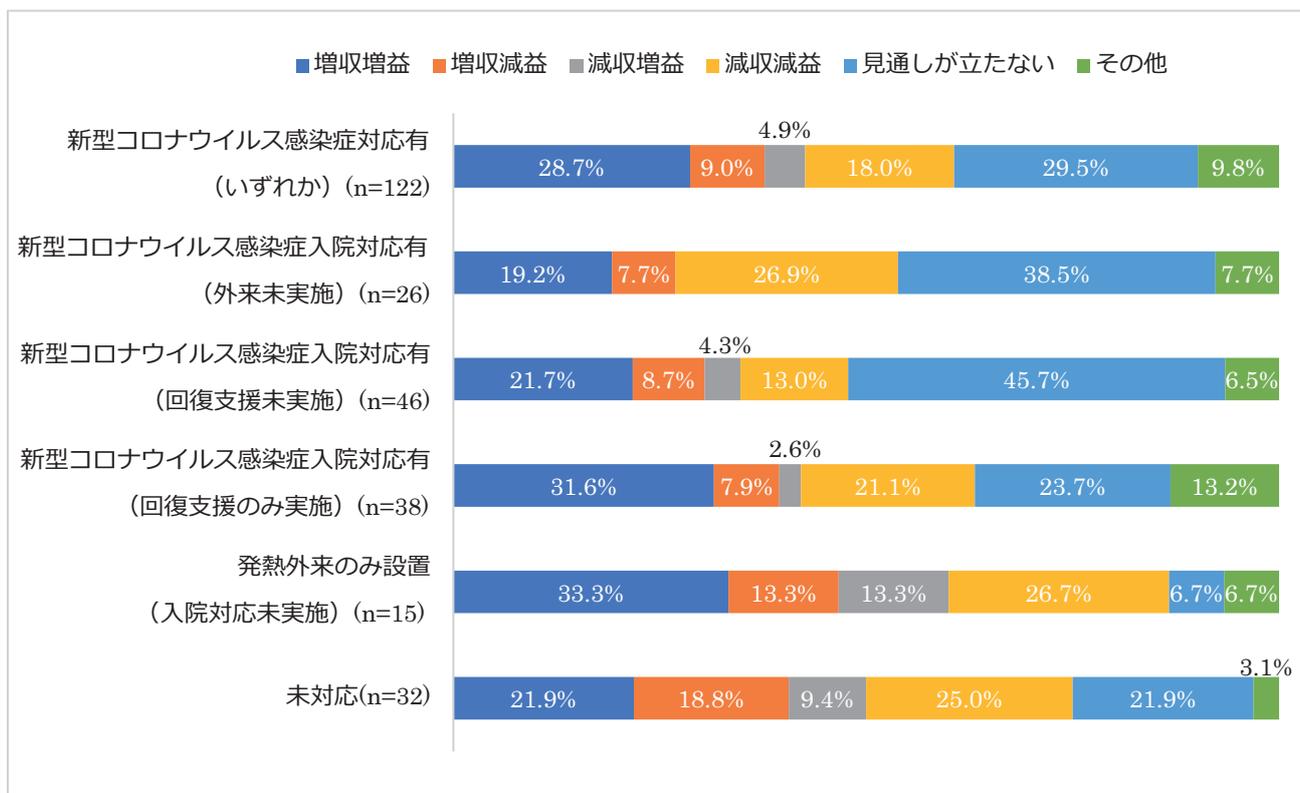
(図表 34) 病院類型別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し



(図表 35) コロナ対応別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し①



(図表 36) コロナ対応別 2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し②

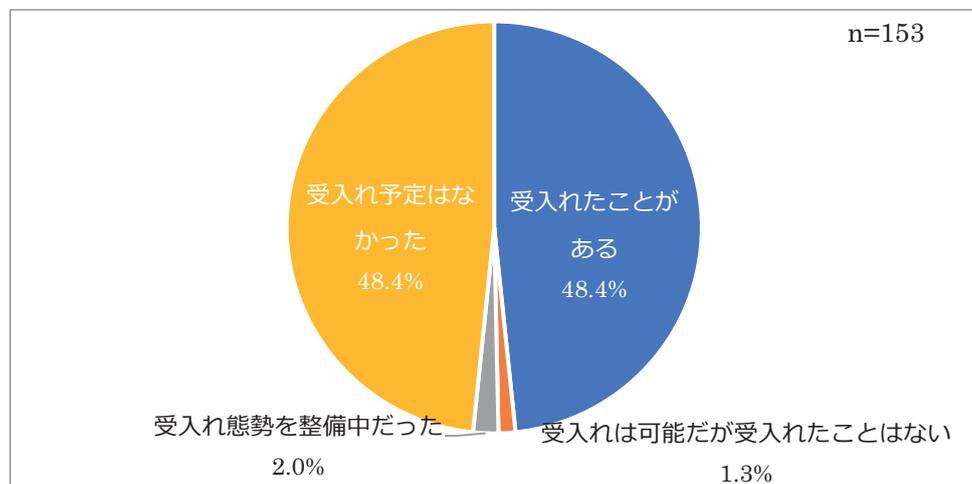


※2020 年度と比較した 2021 年度の経営の見通し その他の内容(抜粋)

2021 年 1 月に院内感染が発生し増益基調から一転赤字に落ちいる。2021 年度下半期においては回復基調にあり損失はなくなる見込み
ほぼ同額程度
2020 年 4 月に病棟クラスターが発生したため比較困難。2020 年 4 月～2020 年 7 月まで入院受入れ及び外救急を一時停止
12 月時点ではコロナが落ち着いてきていることから患者さんが戻ってきたが、今後第 6 波如何により不明
増収増益だが、スタッフ不足から患者数を入れられず、下半期厳しくなりそう。先行き不明
補助金で何とかできるか
恐らく増収増益になると考えている
増収増益にはなっているが、累計としては赤字
当施設は、重症心身障害児者の入所を中心とする施設であり、収支に大きな変動はないものと考えている
同程度
見通しが立たない: 東京都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業など補助金交付額が未定
工事施行に伴い病床の利用制限があり、比較は困難。減収減益には違いありません

## 2020 年度下半期と 2021 年度上半期のコロナ患者・回復患者の受入れ

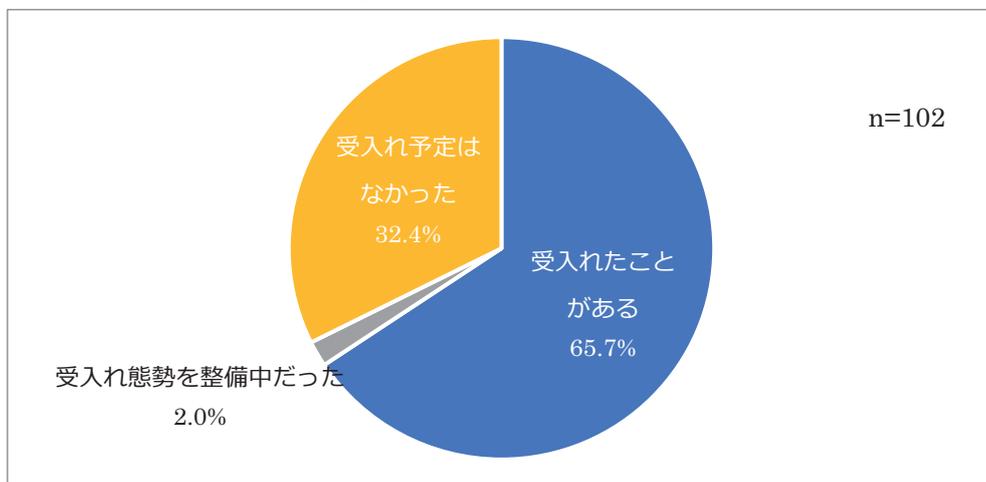
(図表 37)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(全体)



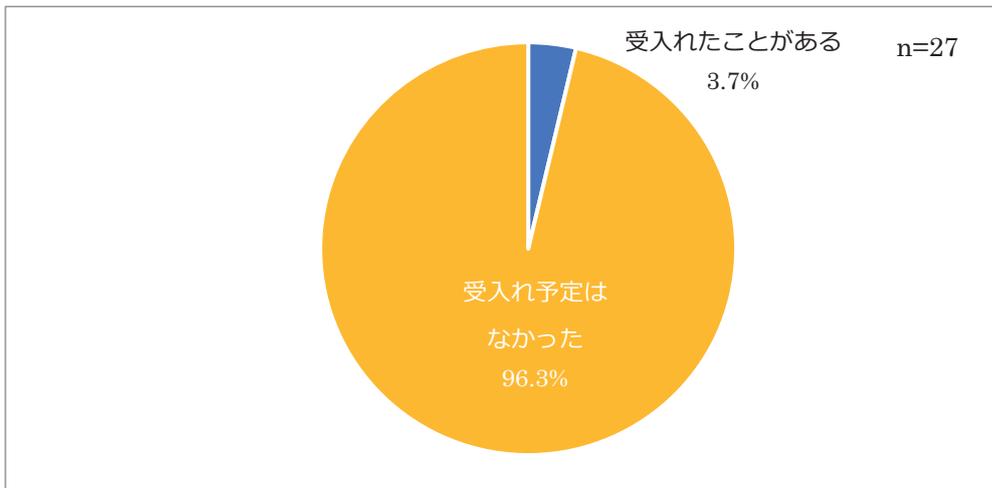
(図表 38)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れをした病院の病床規模



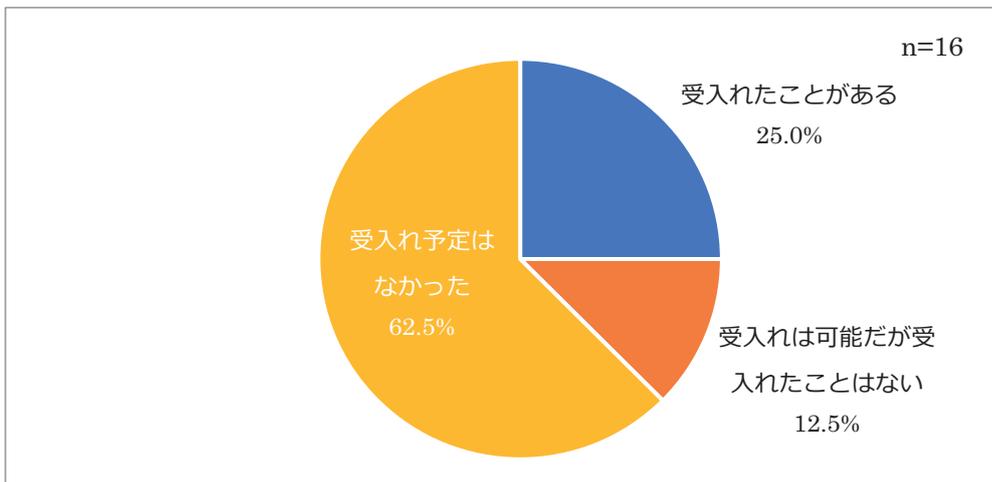
(図表 39)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(一般病院)



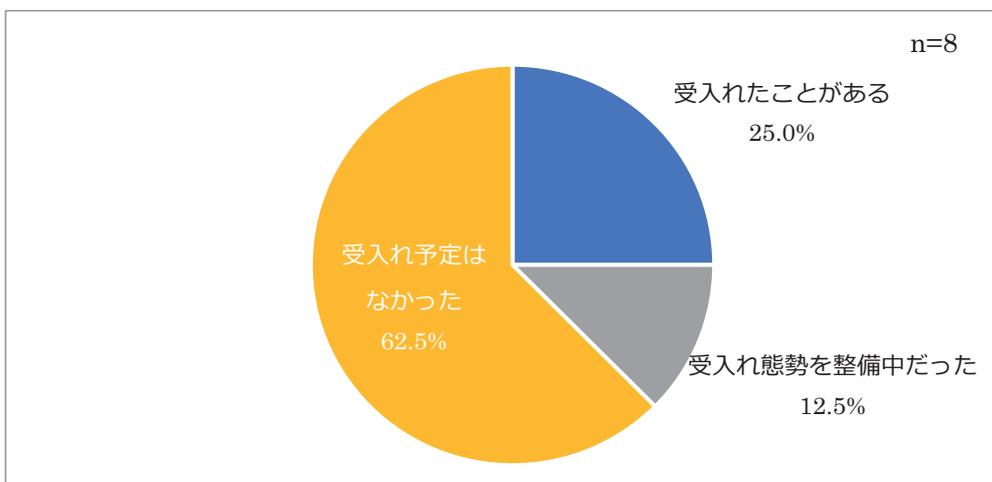
(図表 40)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(療養型病院)



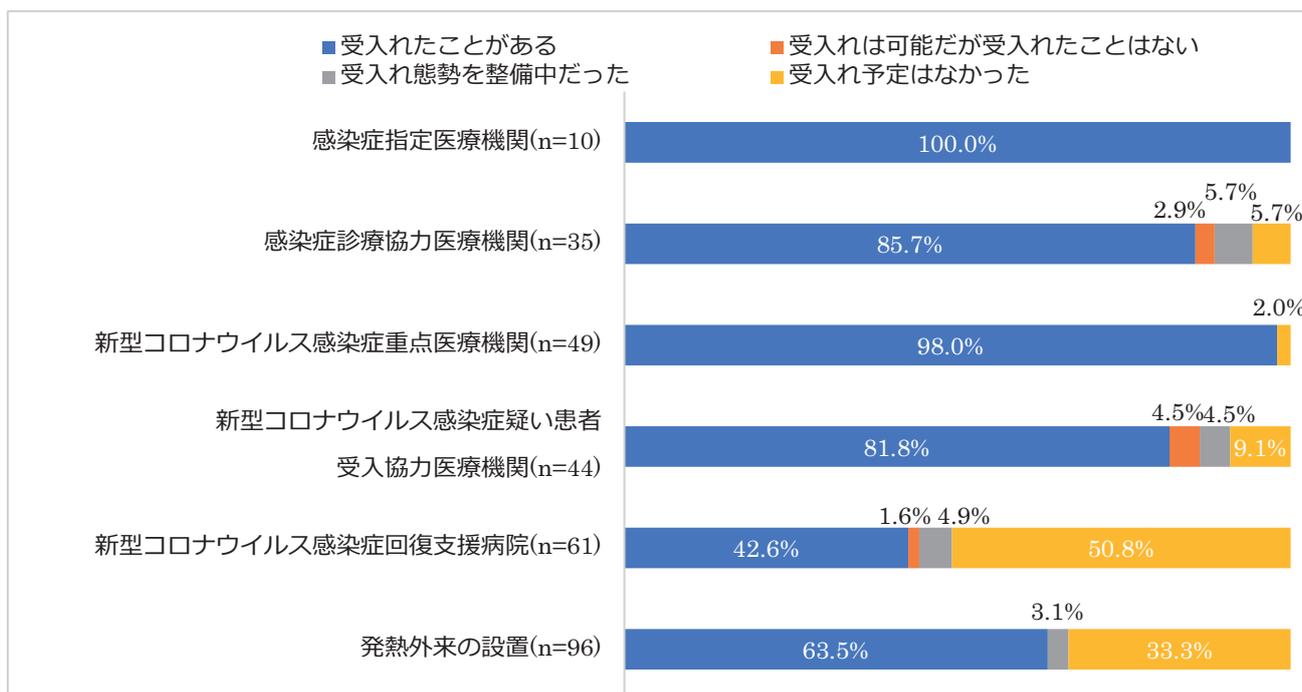
(図表 41)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(精神科病院)



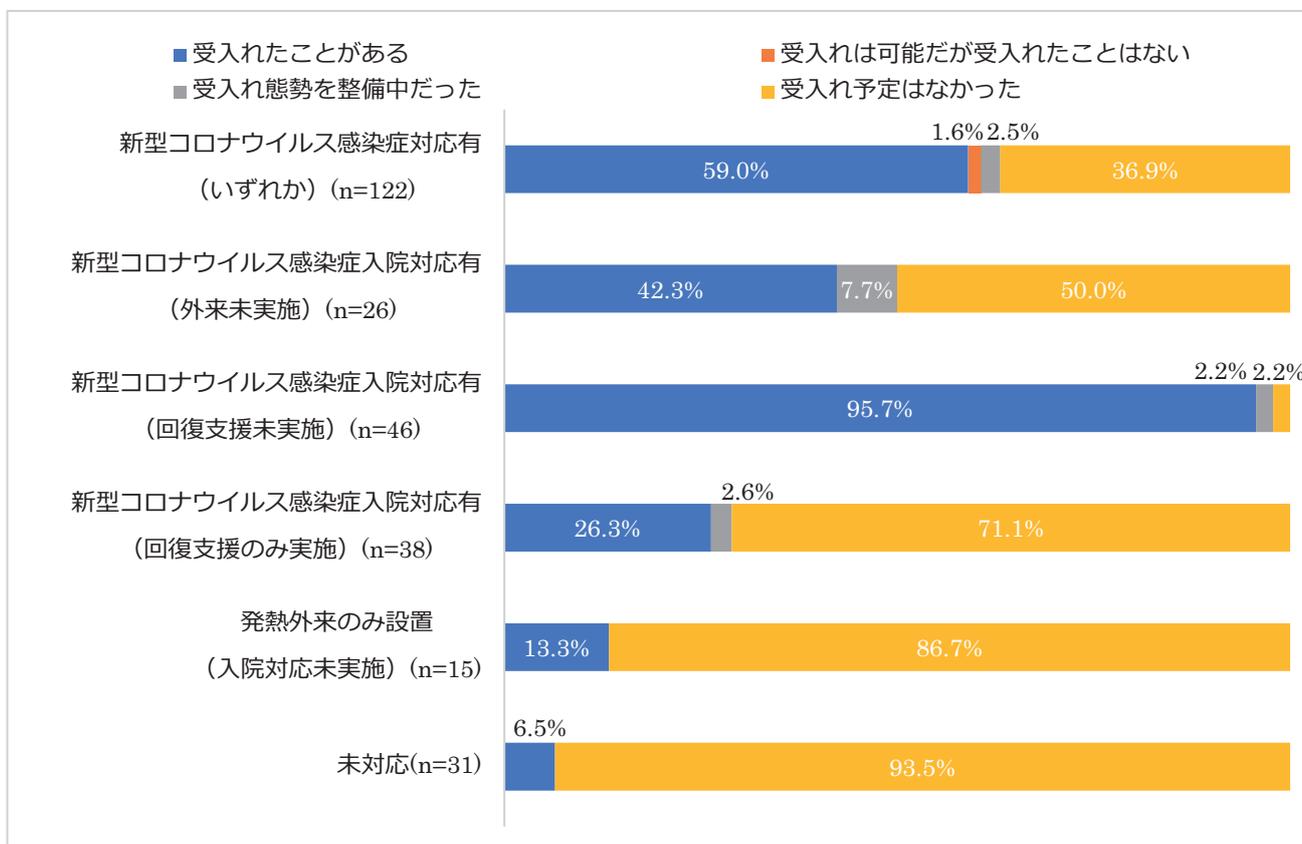
(図表 42)2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(その他)



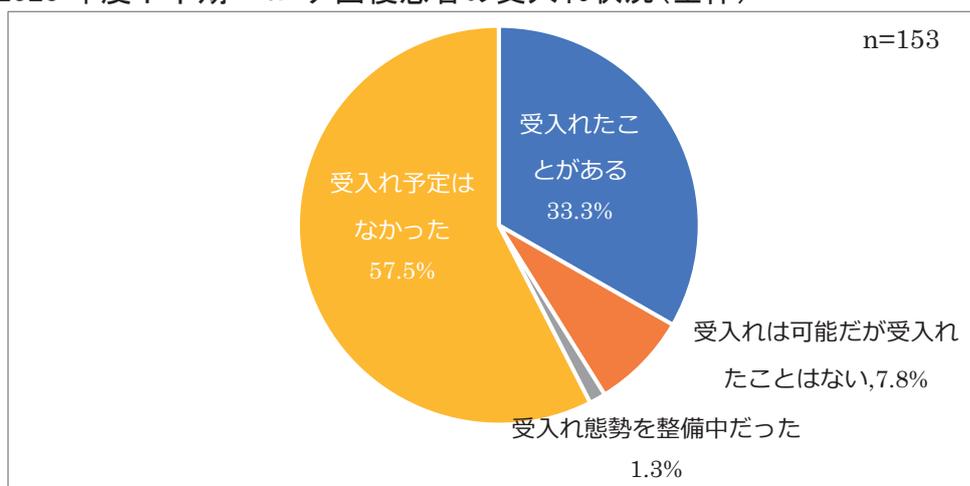
(図表 43) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①



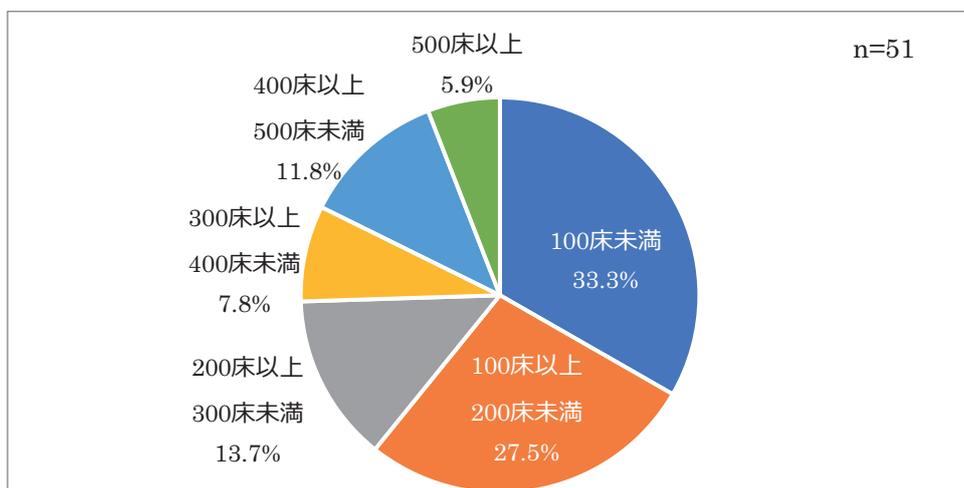
(図表 44) 2020 年度下半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②



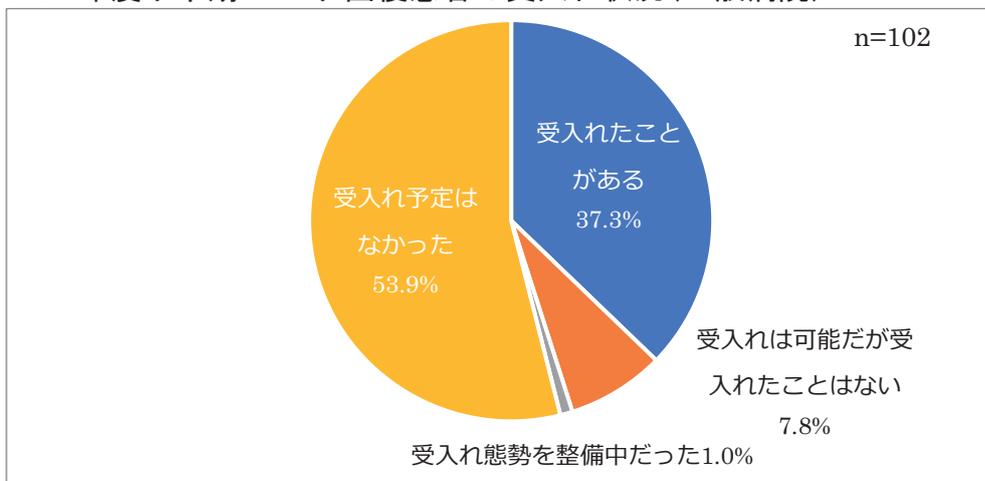
(図表 45)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(全体)



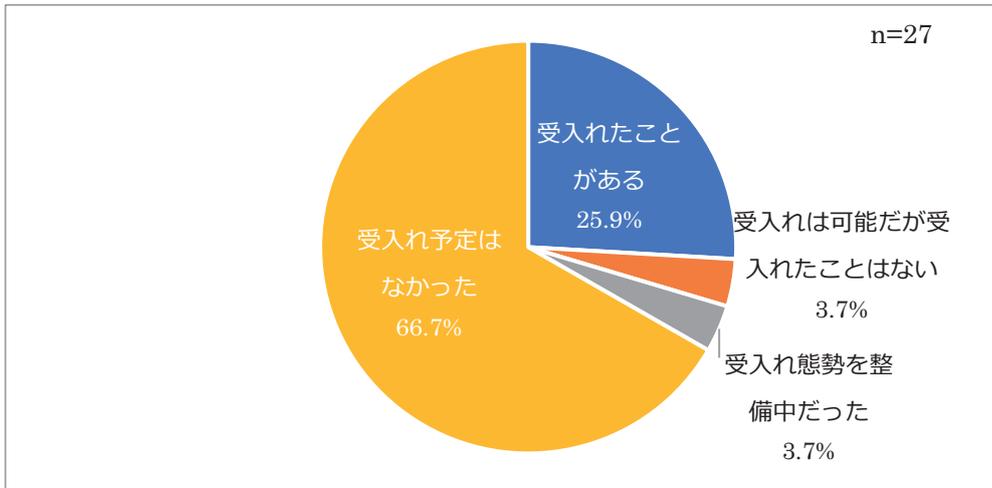
(図表 46)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れをした病院の病床規模



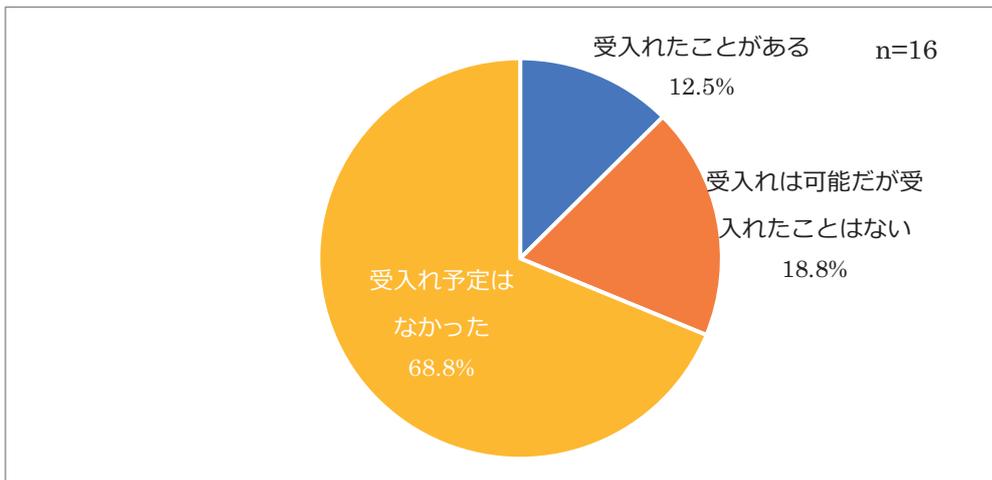
(図表 47)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(一般病院)



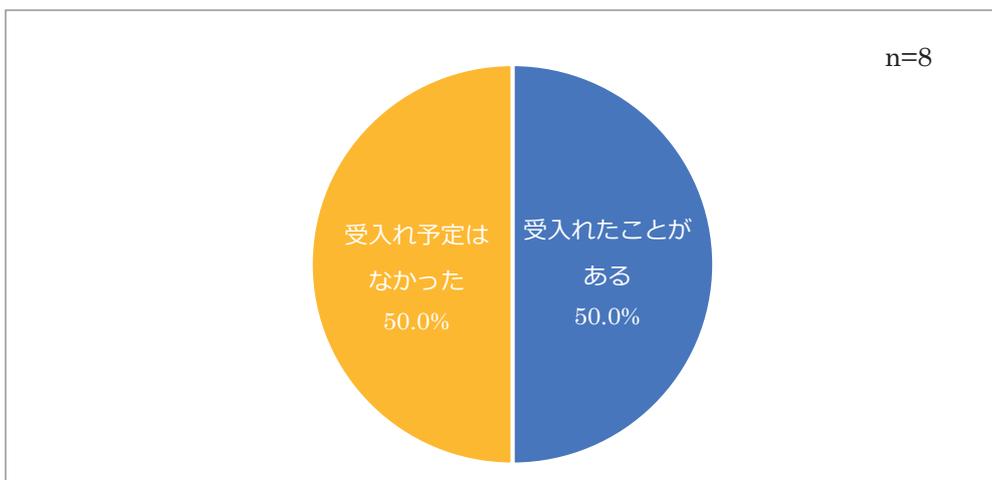
(図表 48)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(療養型病院)



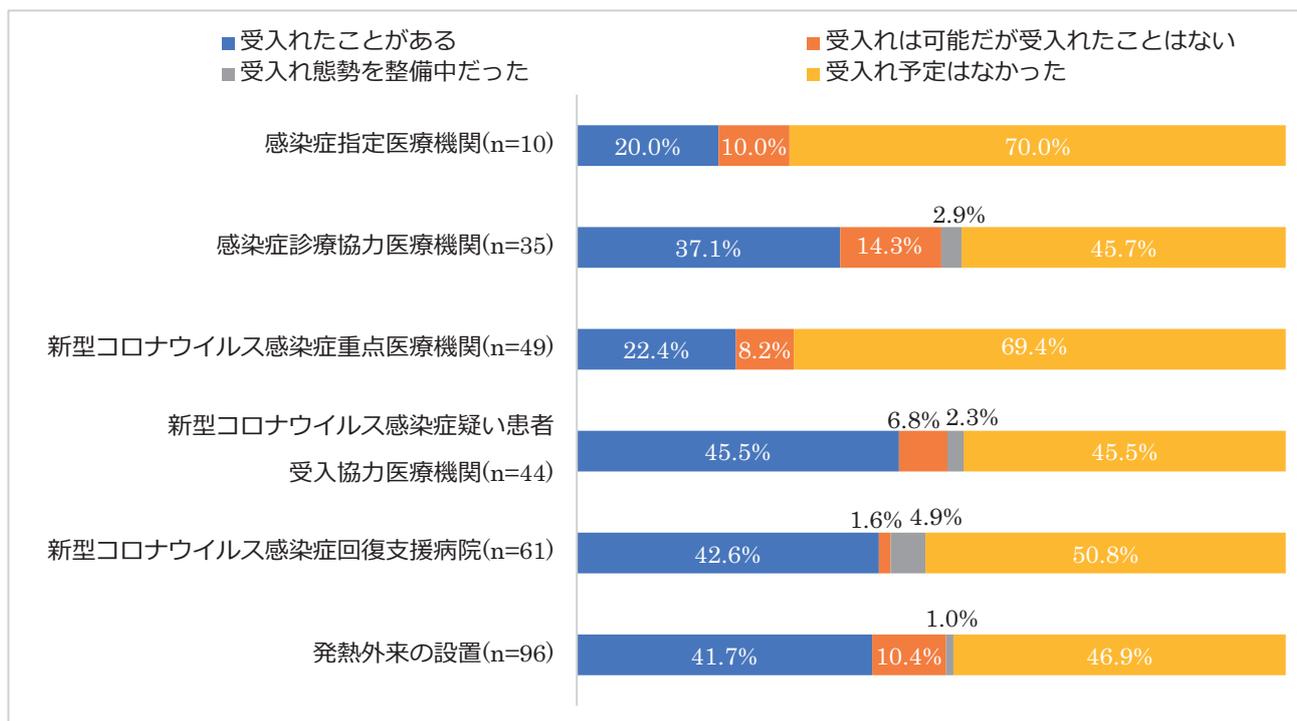
(図表 49)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(精神科病院)



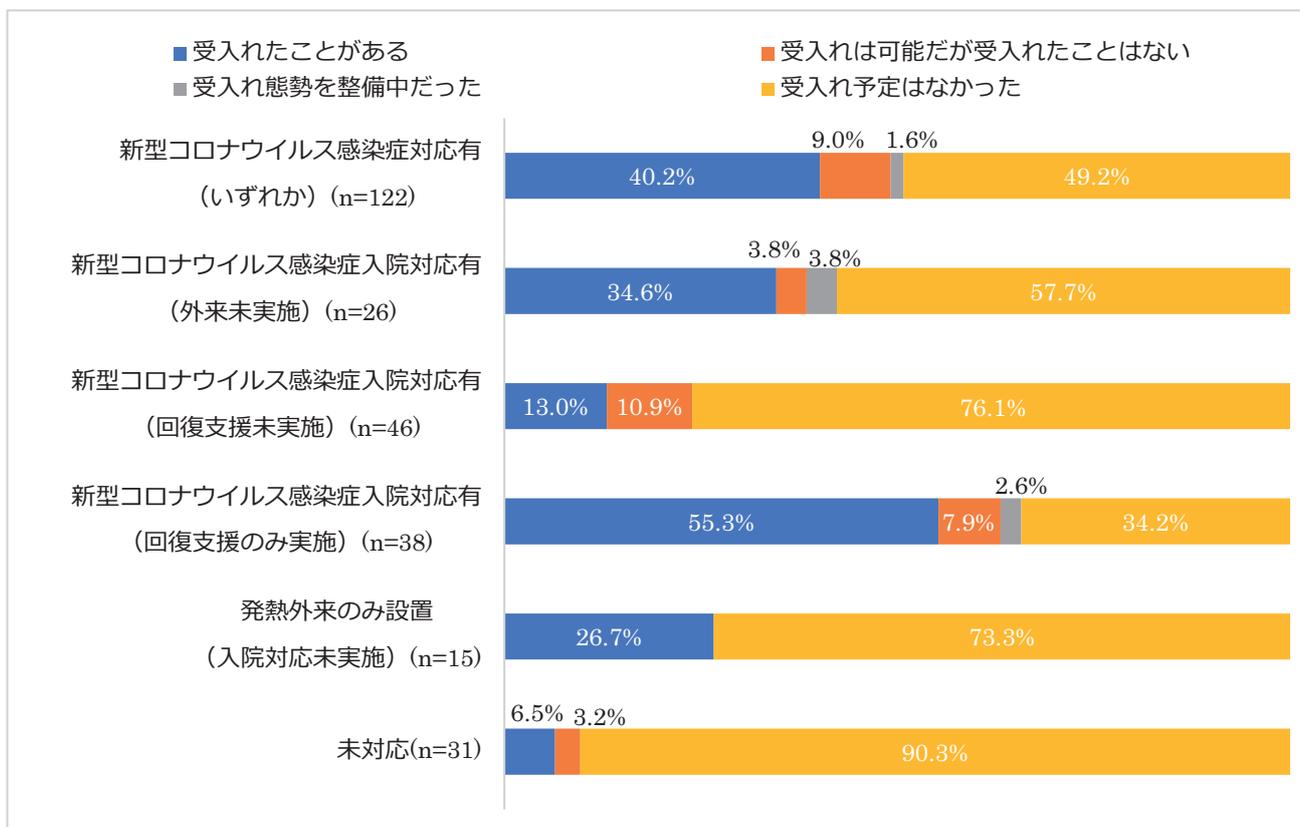
(図表 50)2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(その他)



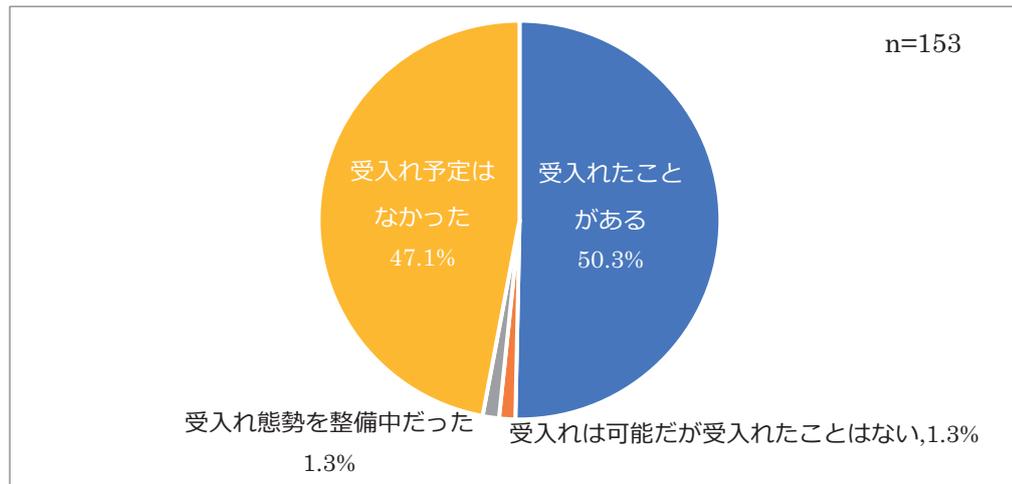
(図表 51) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①



(図表 52) 2020 年度下半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②



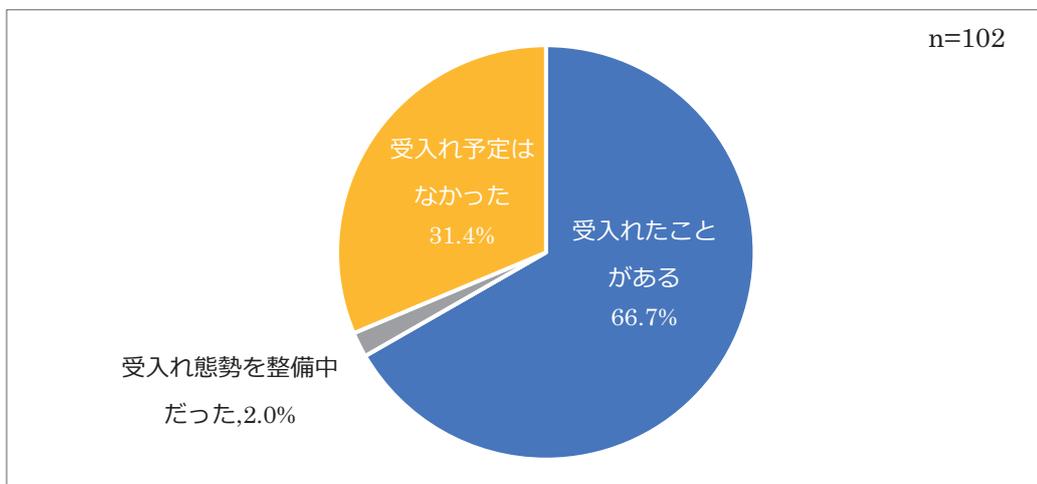
(図表 53)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(全体)



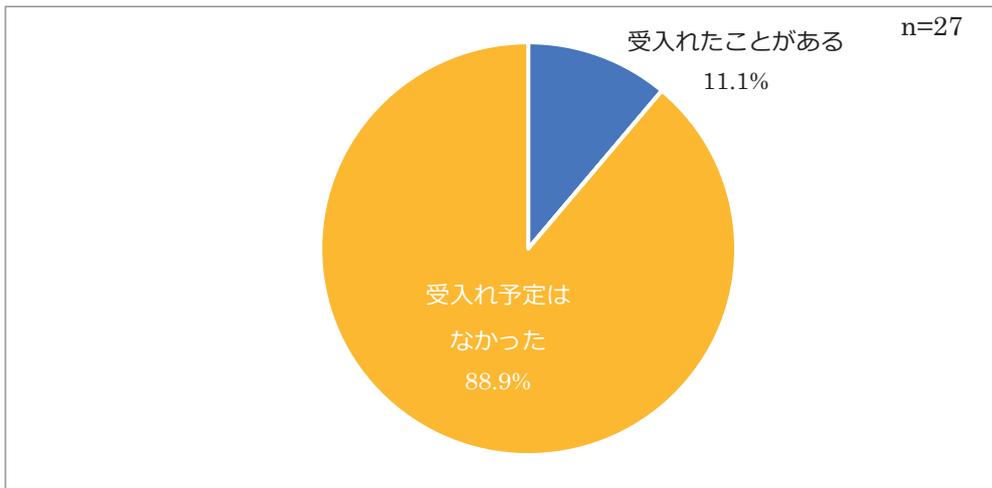
(図表 54)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れをした病院の病床規模



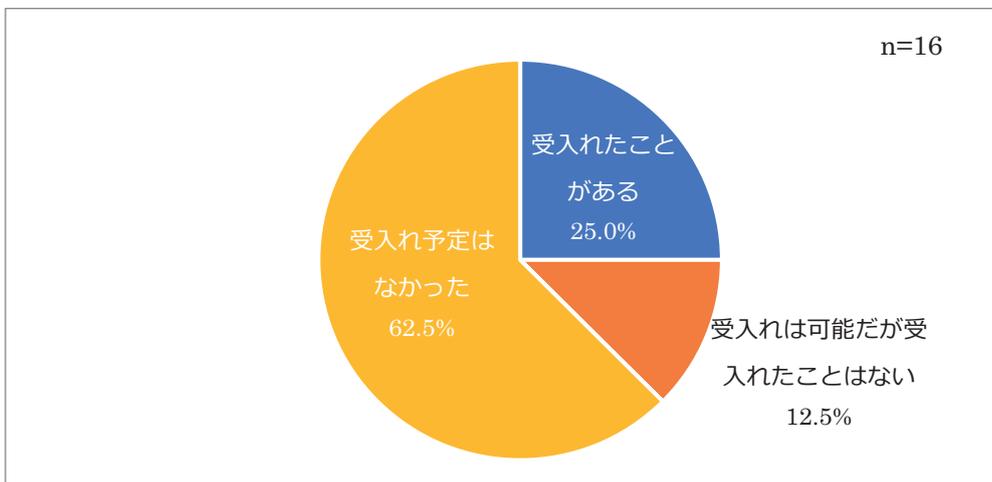
(図表 55)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(一般病院)



(図表 56)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(療養型病院)



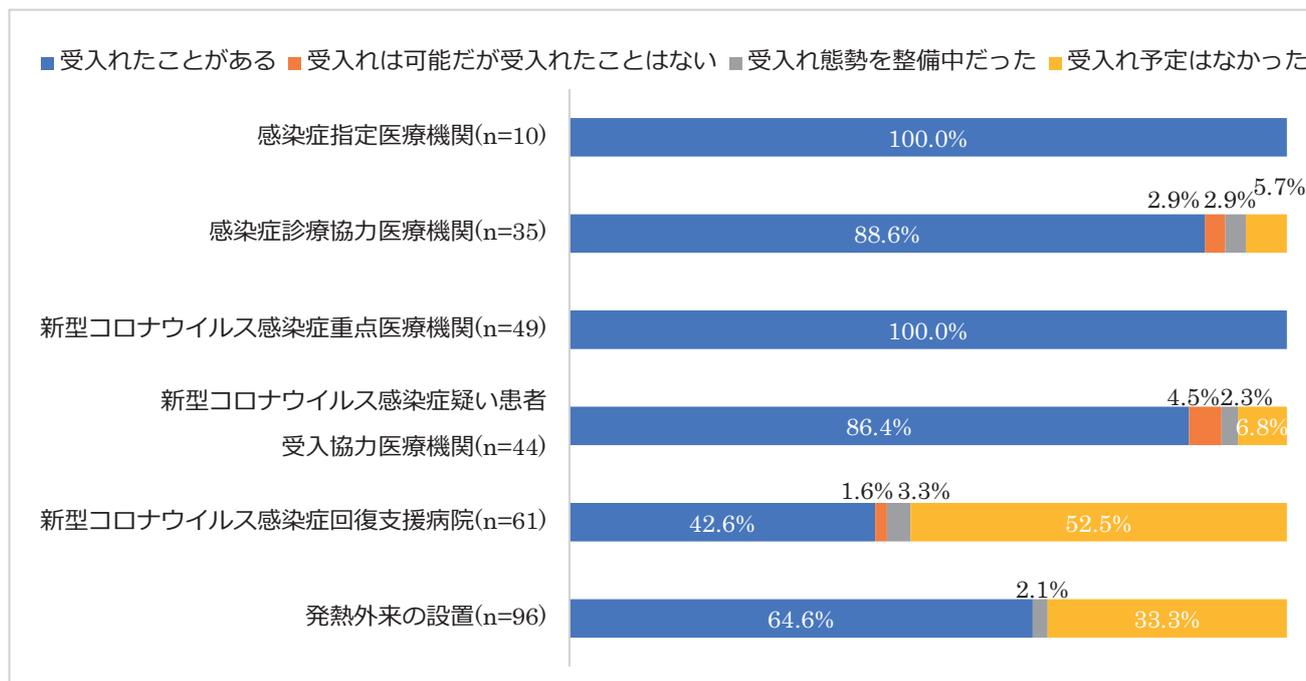
(図表 57)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(精神科病院)



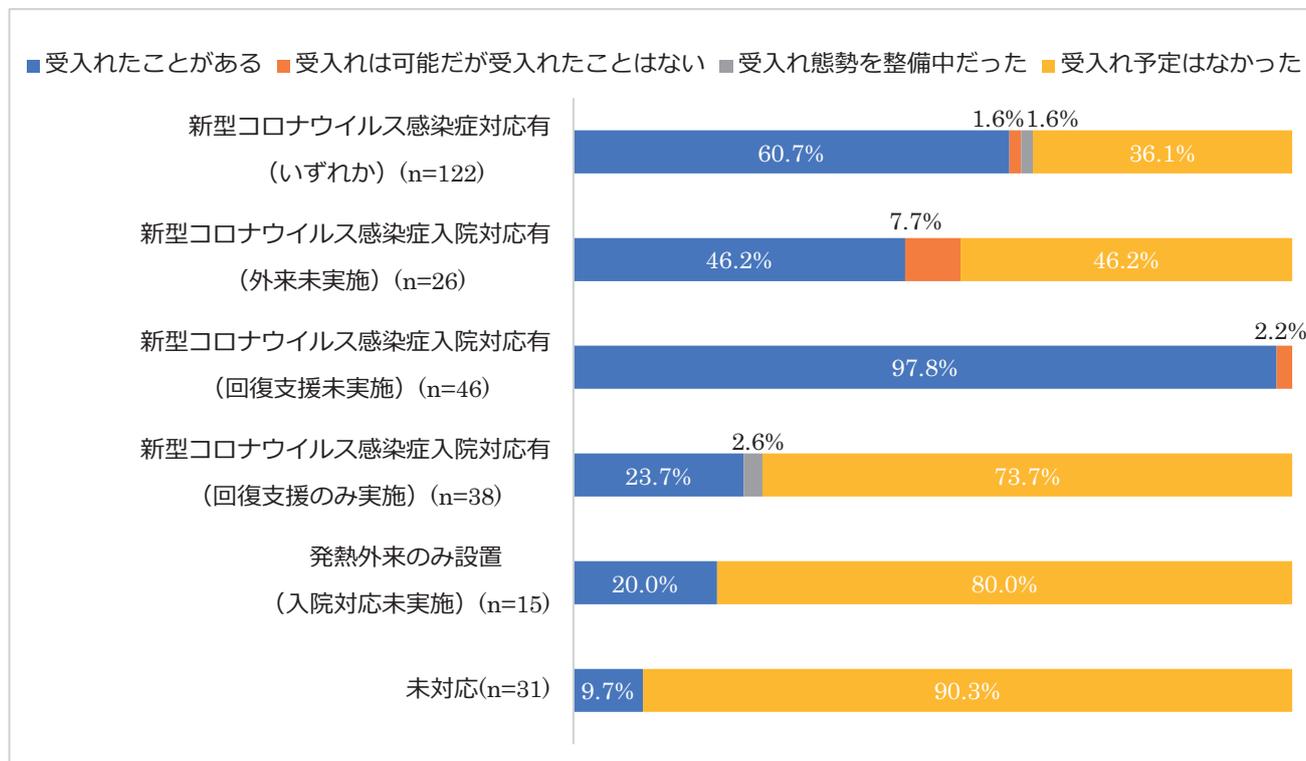
(図表 58)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(その他)



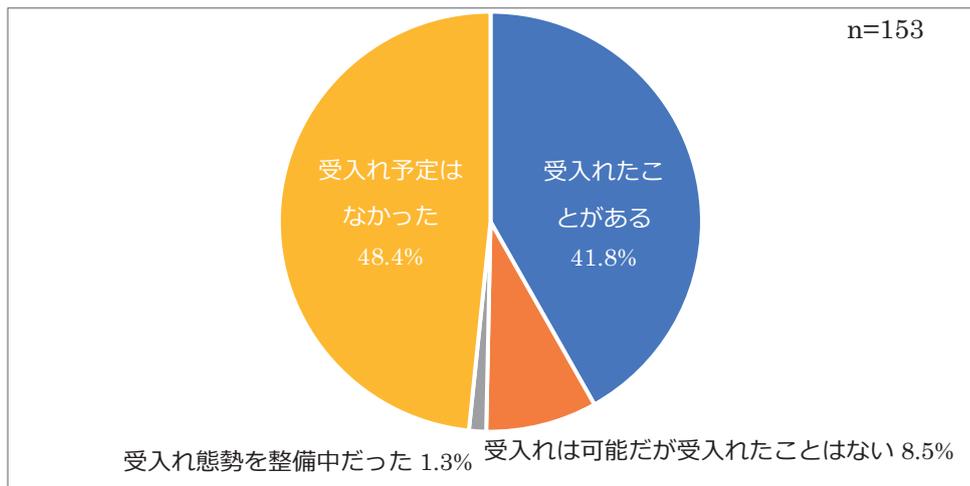
(図表 59)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①



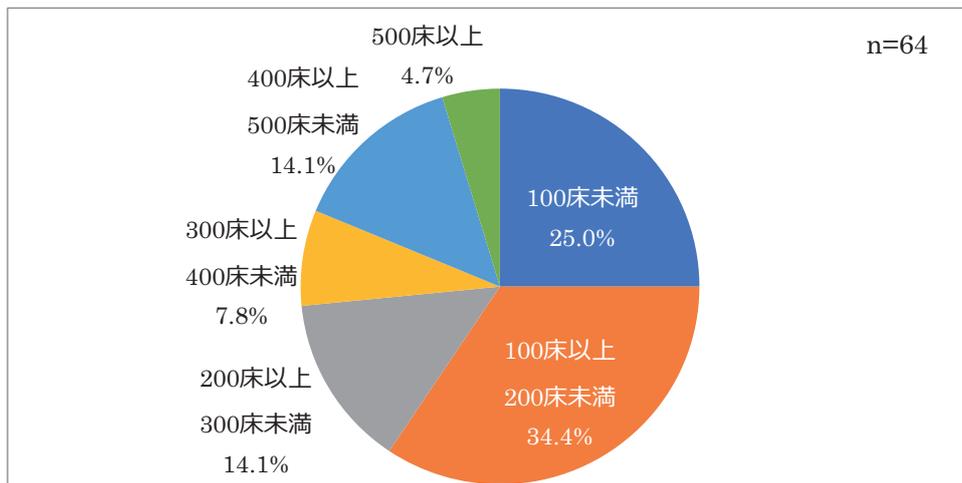
(図表 60)2021 年度上半期 コロナ患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②



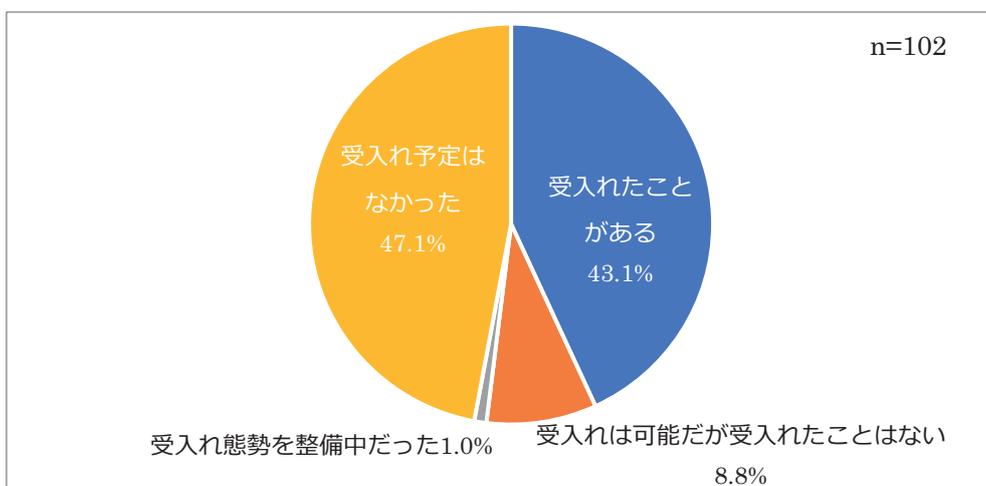
(図表 61)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(全体)



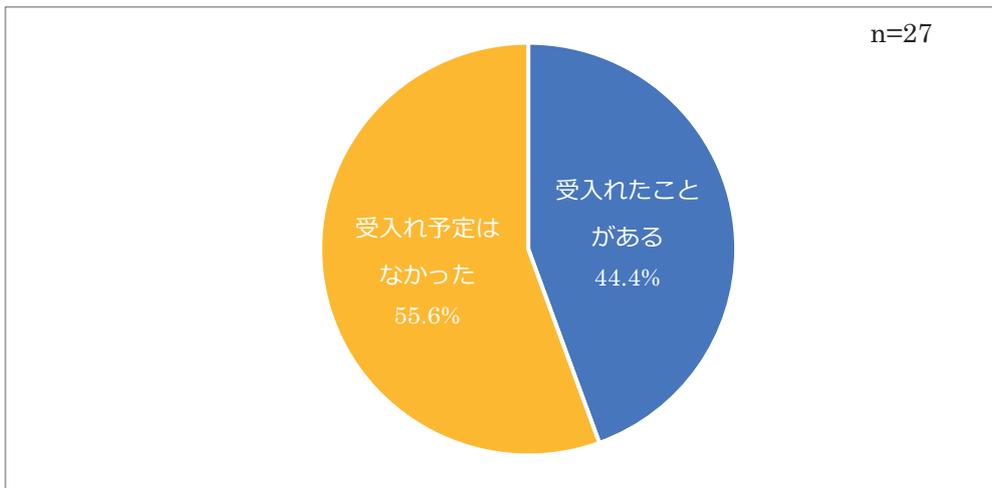
(図表 62)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れをした病院の病床規模



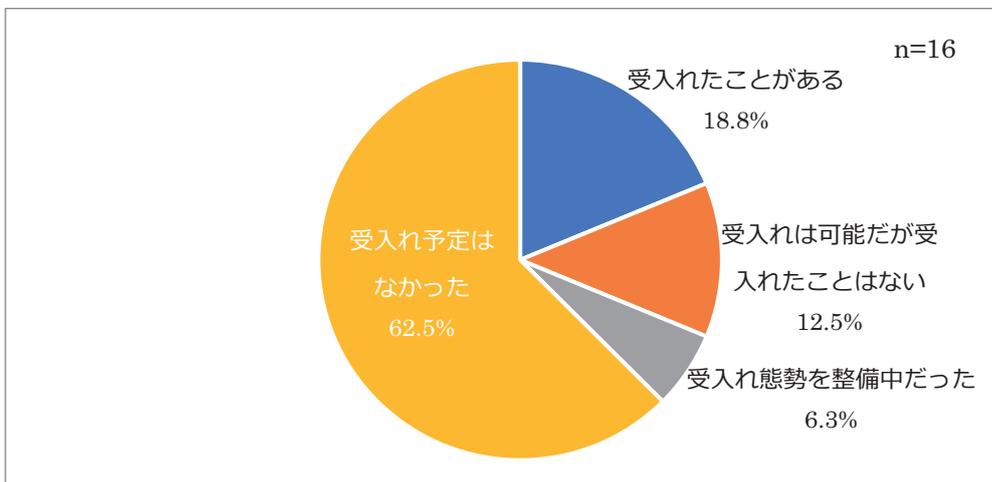
(図表 63)2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(一般病院)



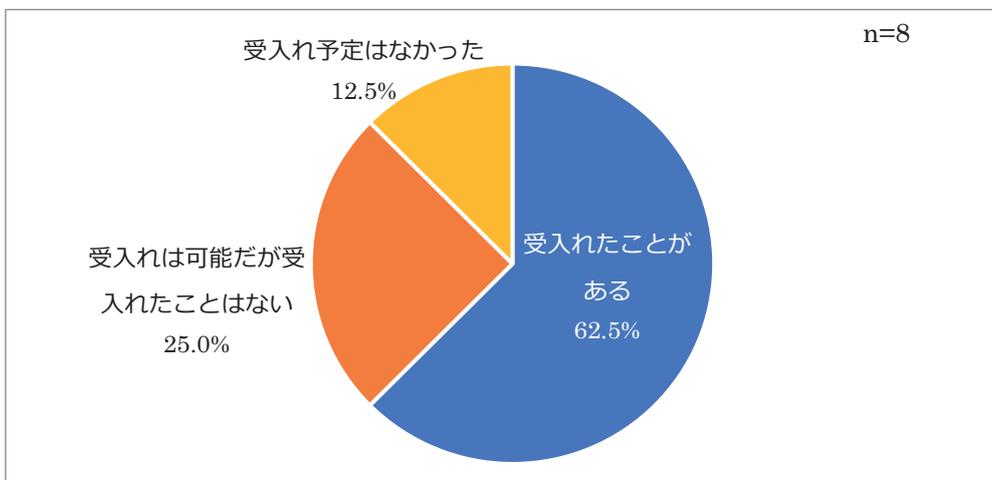
(図表 64) 2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(療養型病院)



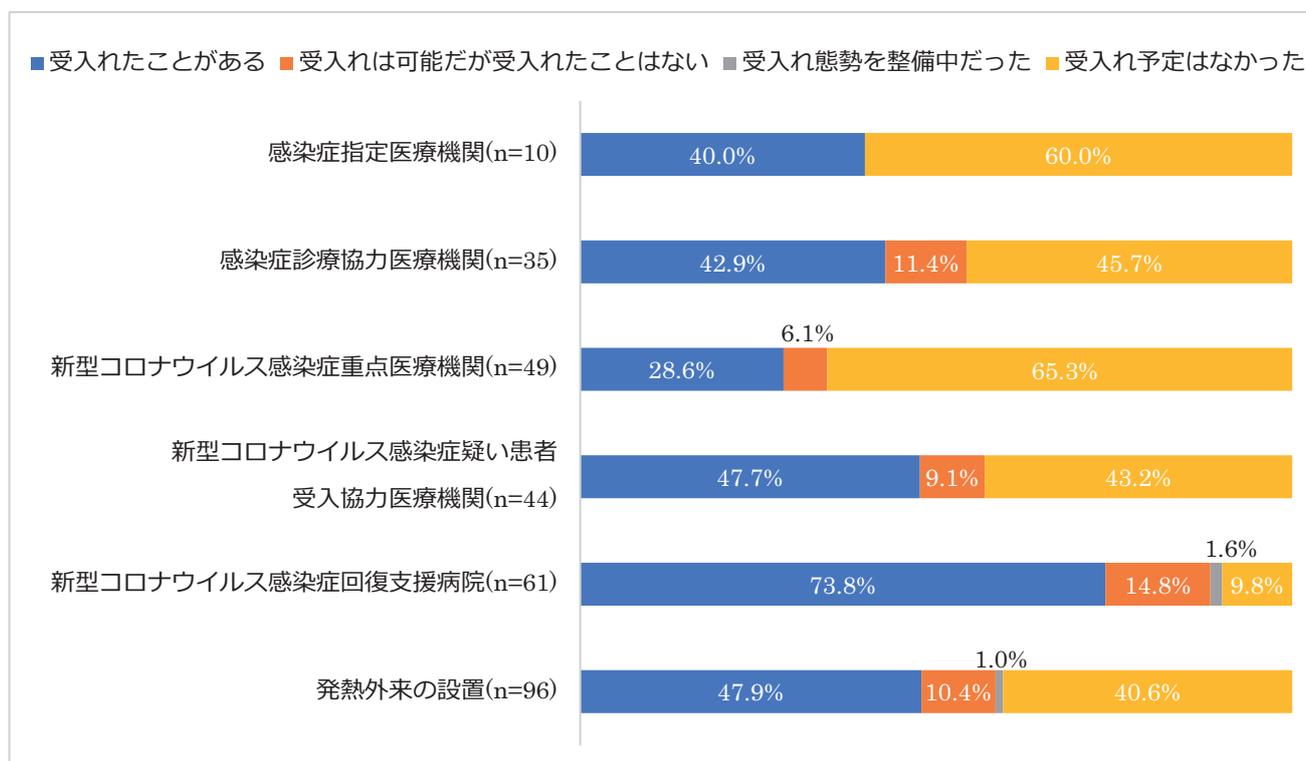
(図表 65) 2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(精神科病院)



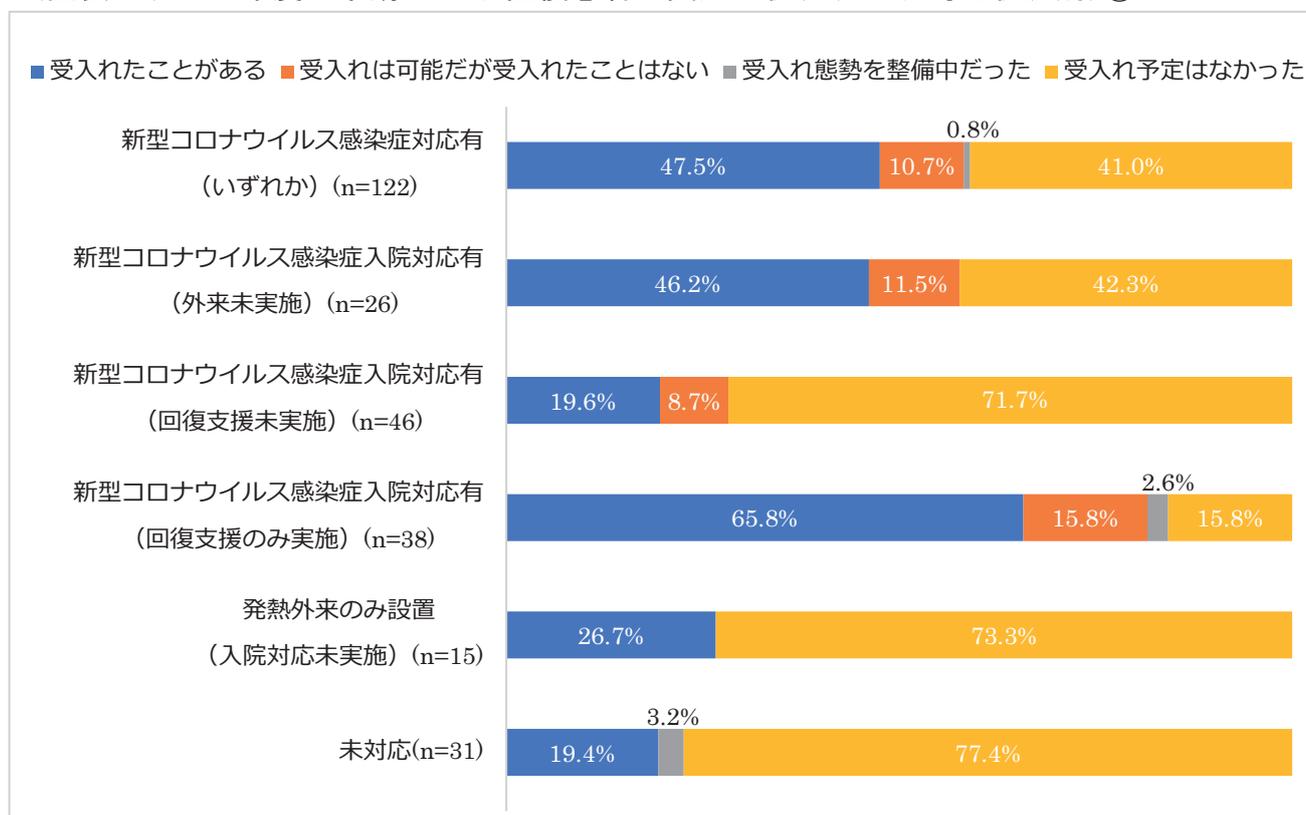
(図表 66) 2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(その他)



(図表 67) 2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)①

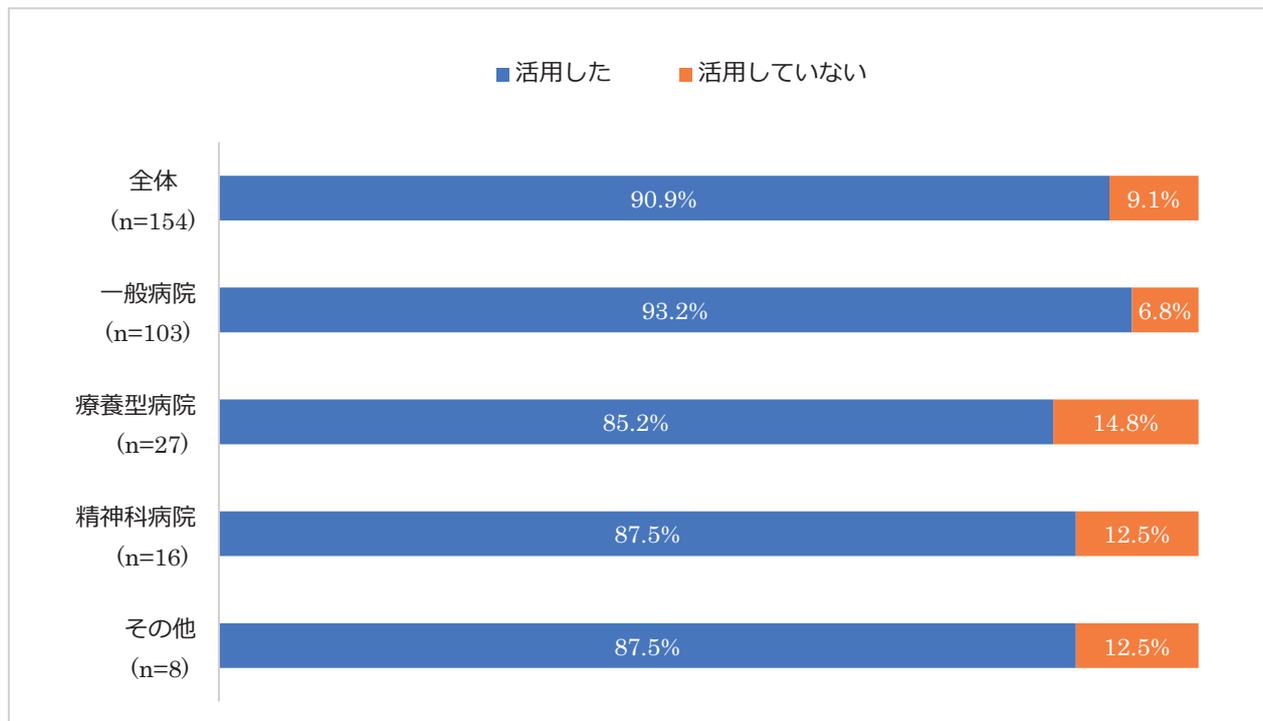


(図表 68) 2021 年度上半期 コロナ回復患者の受入れ状況(コロナ対応状況別)②

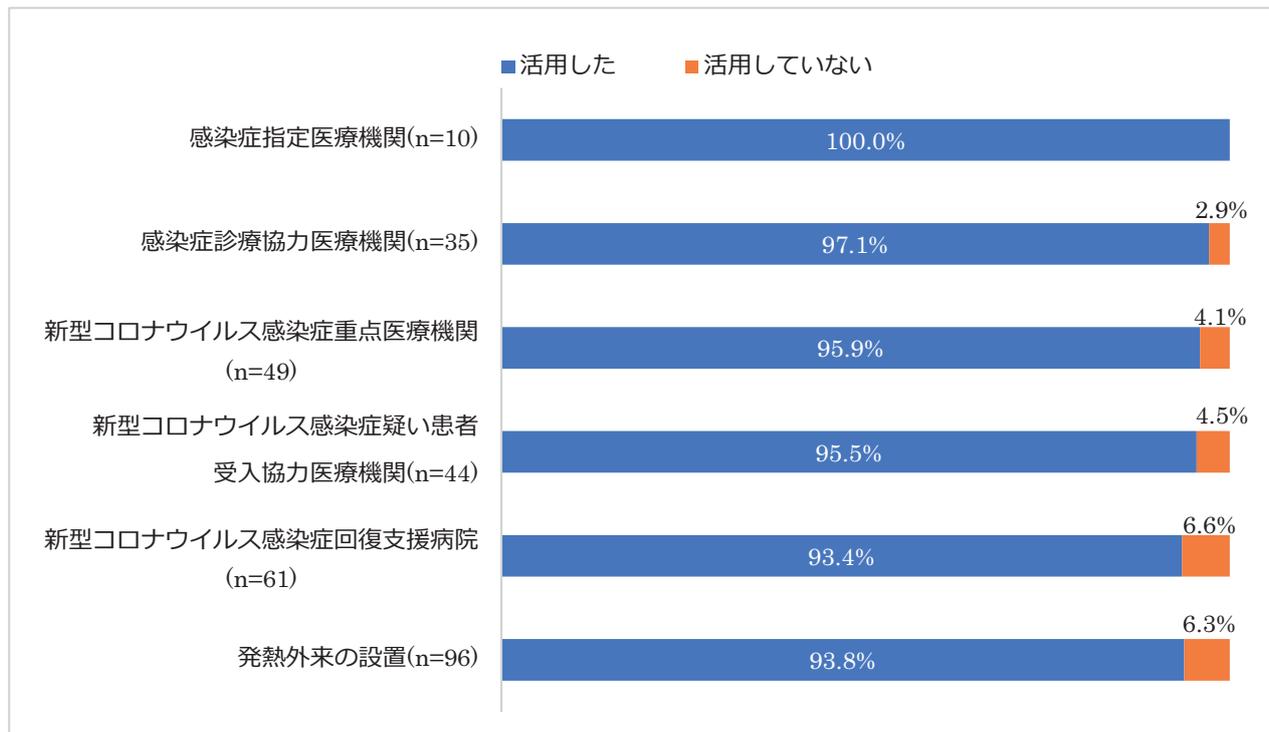


## 補助金等経営支援策の活用状況

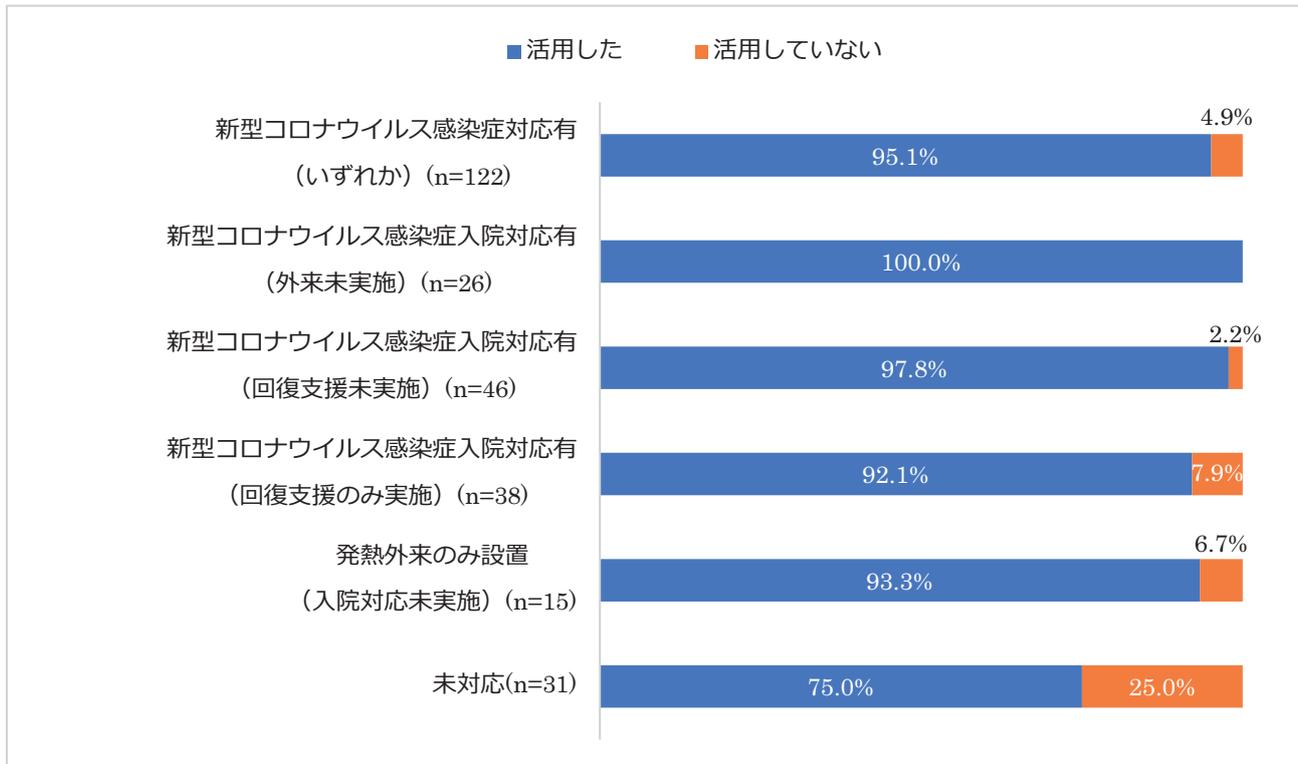
(図表 69) 病院類型別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無



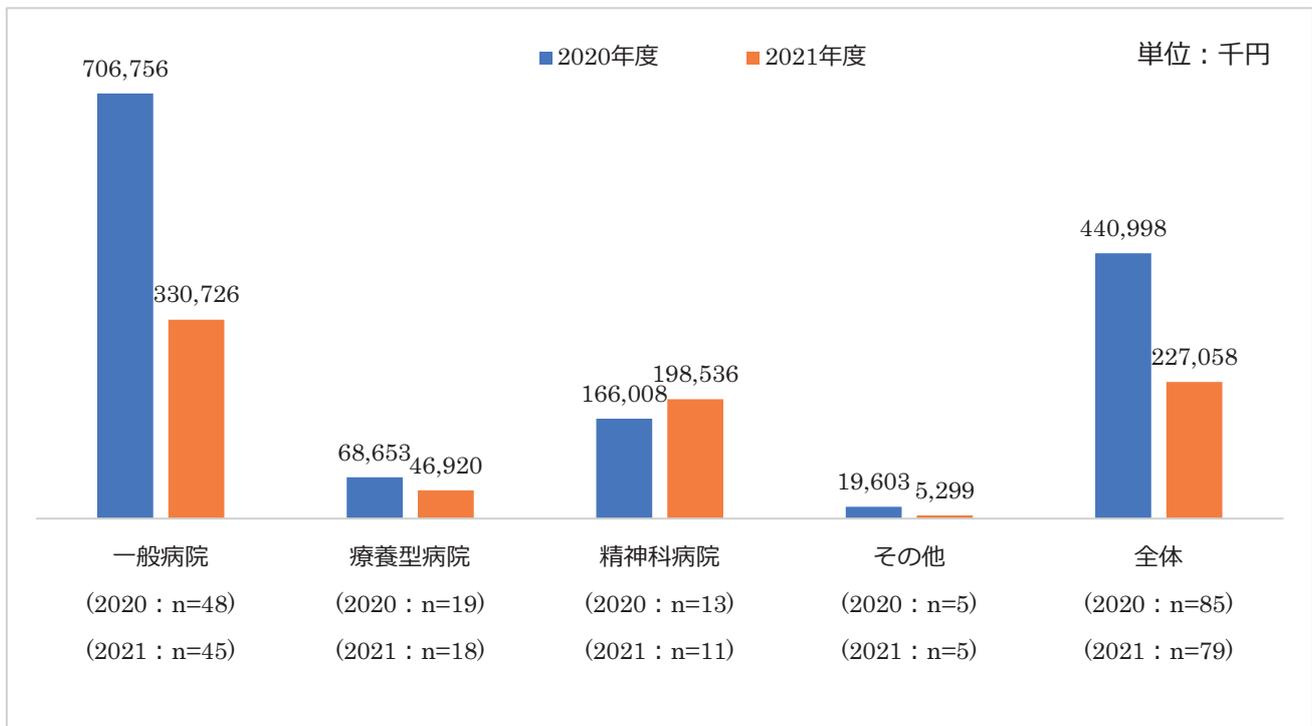
(図表 70) コロナ対応別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無①



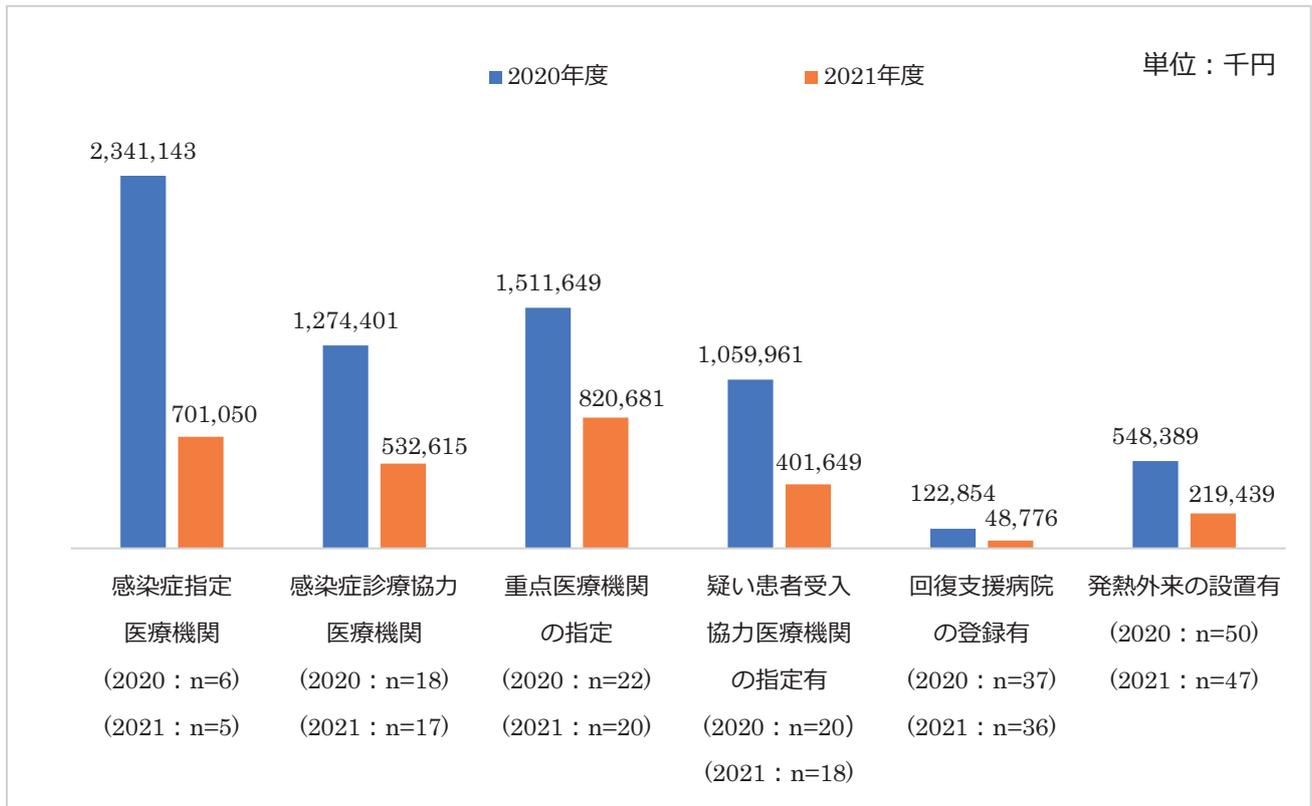
(図表 71) コロナ対応別 コロナ禍における補助金等経営支援策の活用有無②



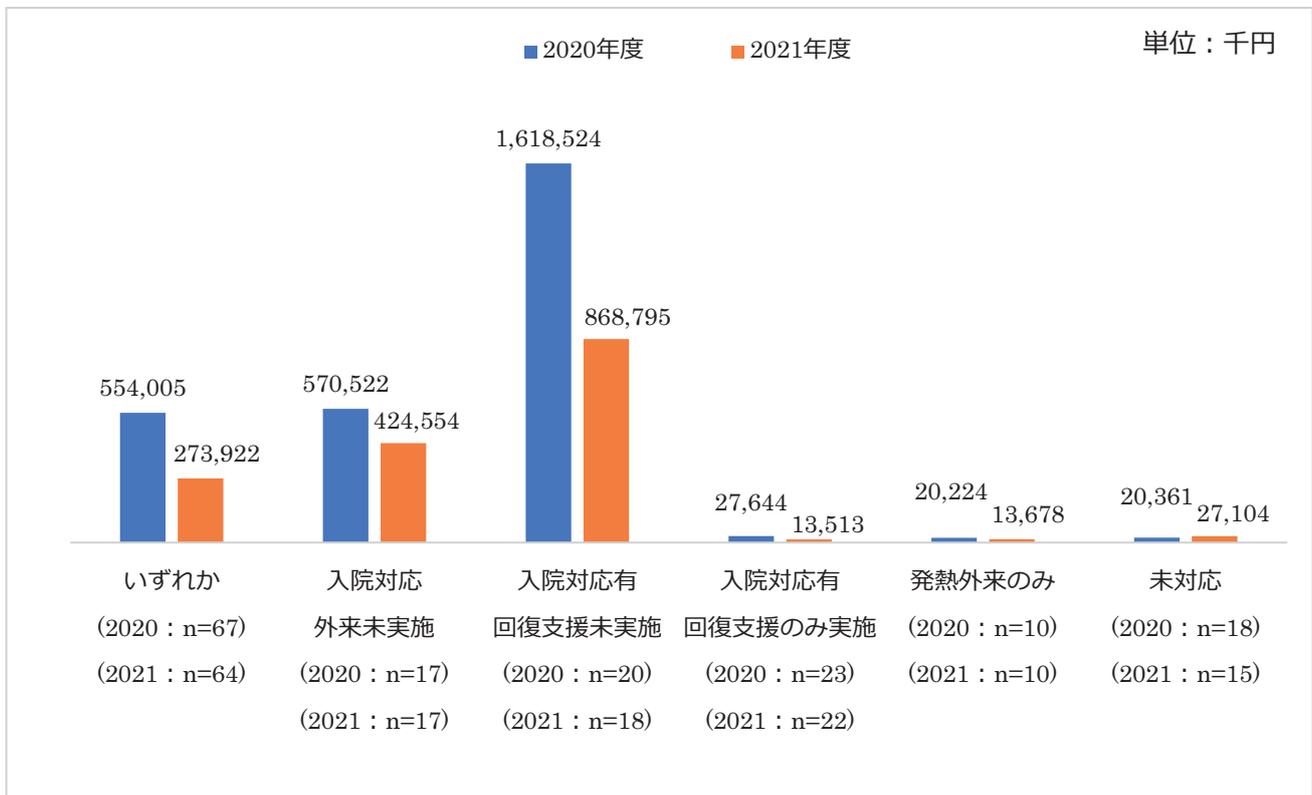
(図表 72) 病院類型別 補助金・交付金の受取額(平均)



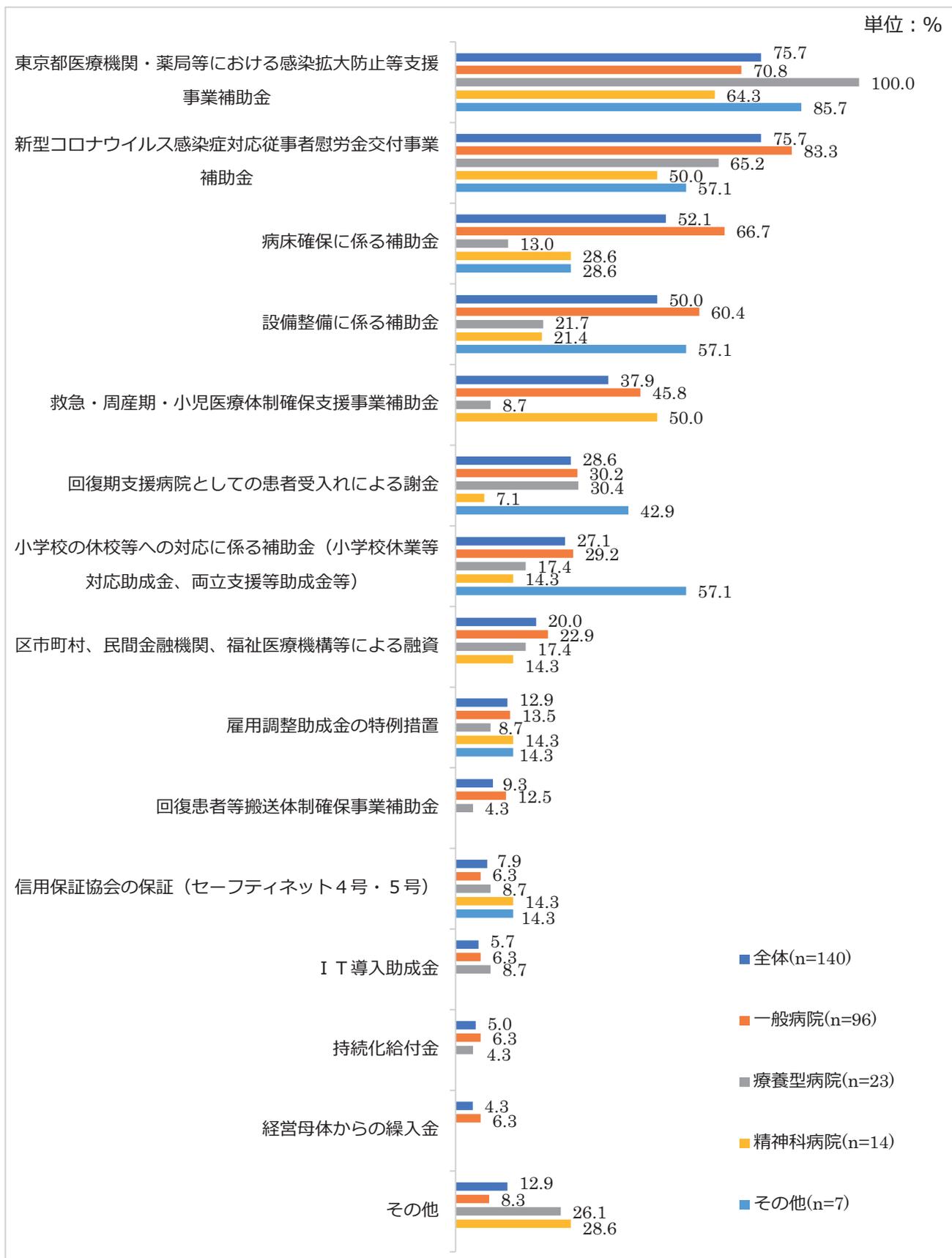
(図表 73) コロナ対応別 補助金・交付金の受取額①(平均)



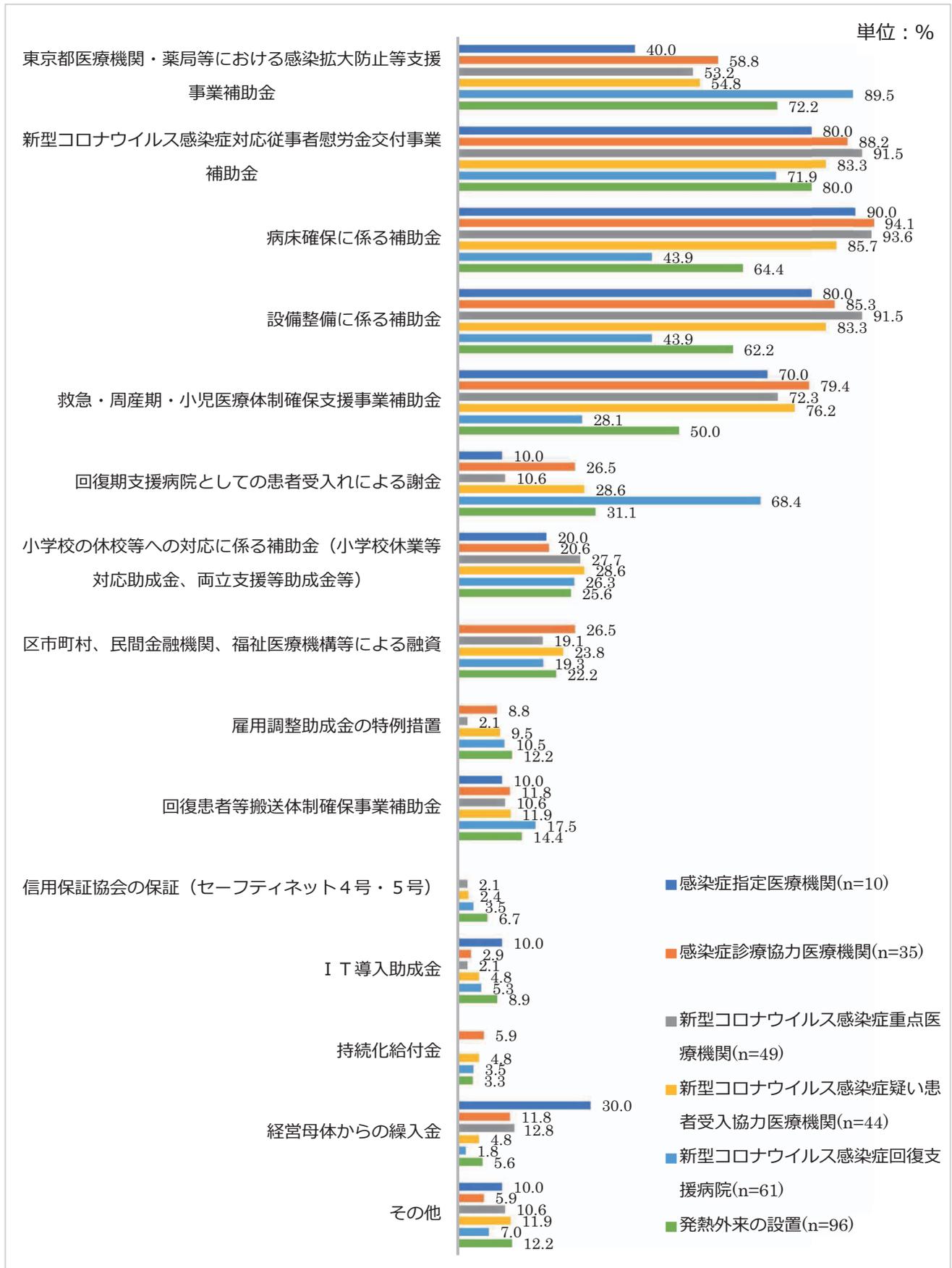
(図表 74) コロナ対応別 補助金・交付金の受取額②(平均)



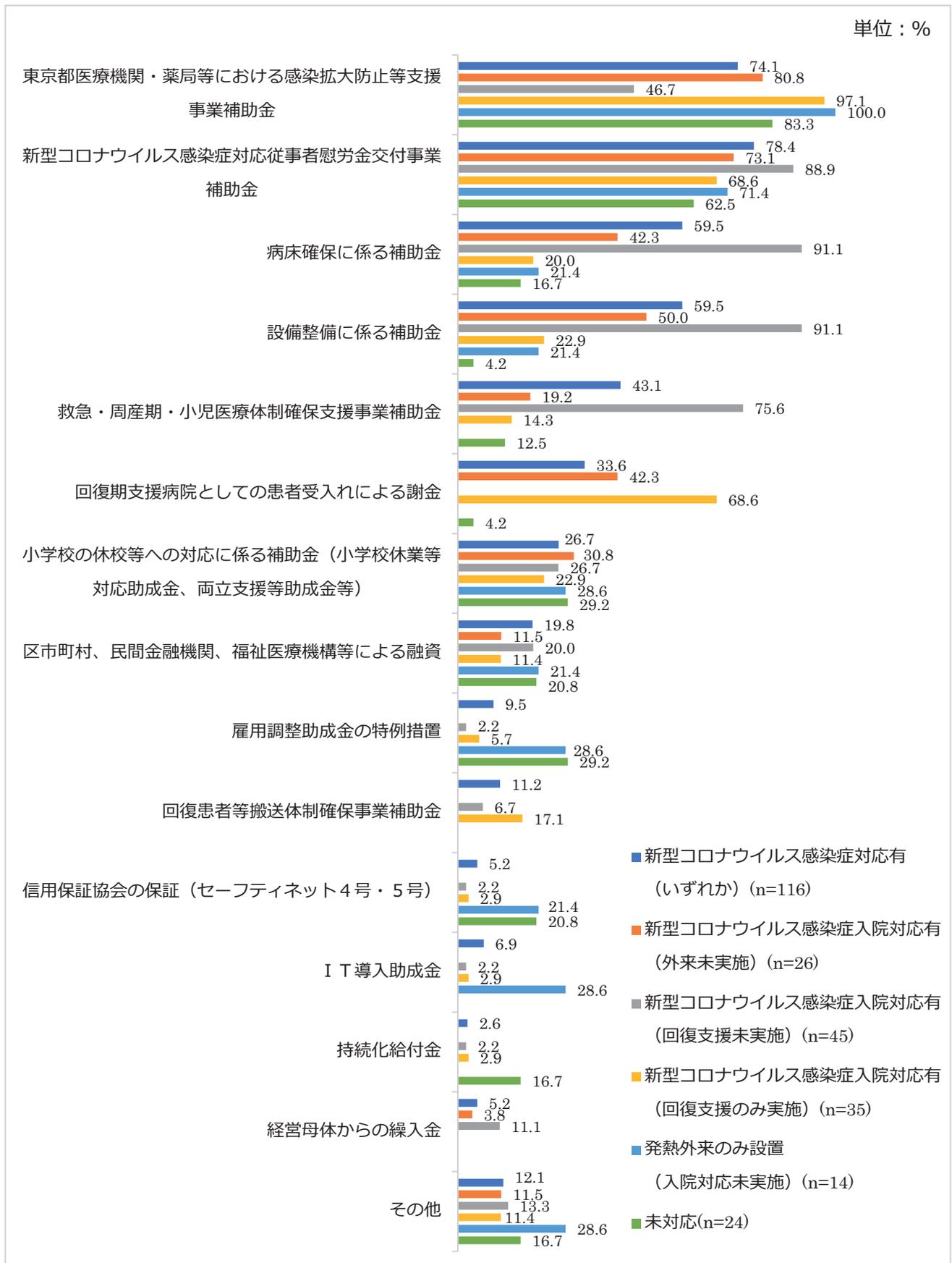
(図表 75) 病院類型別 補助金等経営支援策の活用状況(複数回答)



(図表 76) コロナ対応別 補助金等経営支援策の活用状況①



(図表 77) コロナ対応別 補助金等経営支援策の活用状況②



※補助金等経営支援策の活用状況 その他の内容

葛飾区感染拡大防止対策交付金

葛飾区緊急支援補助金

コロナワクチン接種促進事業

発熱外来診療体制確保支援補助金

精神科救急医療体制確保支援事業

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

新型コロナウイルス感染症検体検査機器設備整備費補助金

回復期患者受入実績に応じた補助金

精神科救急医療体制確保支援事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金

新型コロナウイルス感染症検体検査機器設備整備費補助金

財団からの寄付金

クラスター発生時のみなし重点病床確保事業

東京都 新型コロナウイルス感染症患者の転院等受入後方支援病院確保事業謝金

町田市特別給付金

インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療  
機関体制確保事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金

インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業

令和2年インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・  
小児医療体制確保支援事業補助金

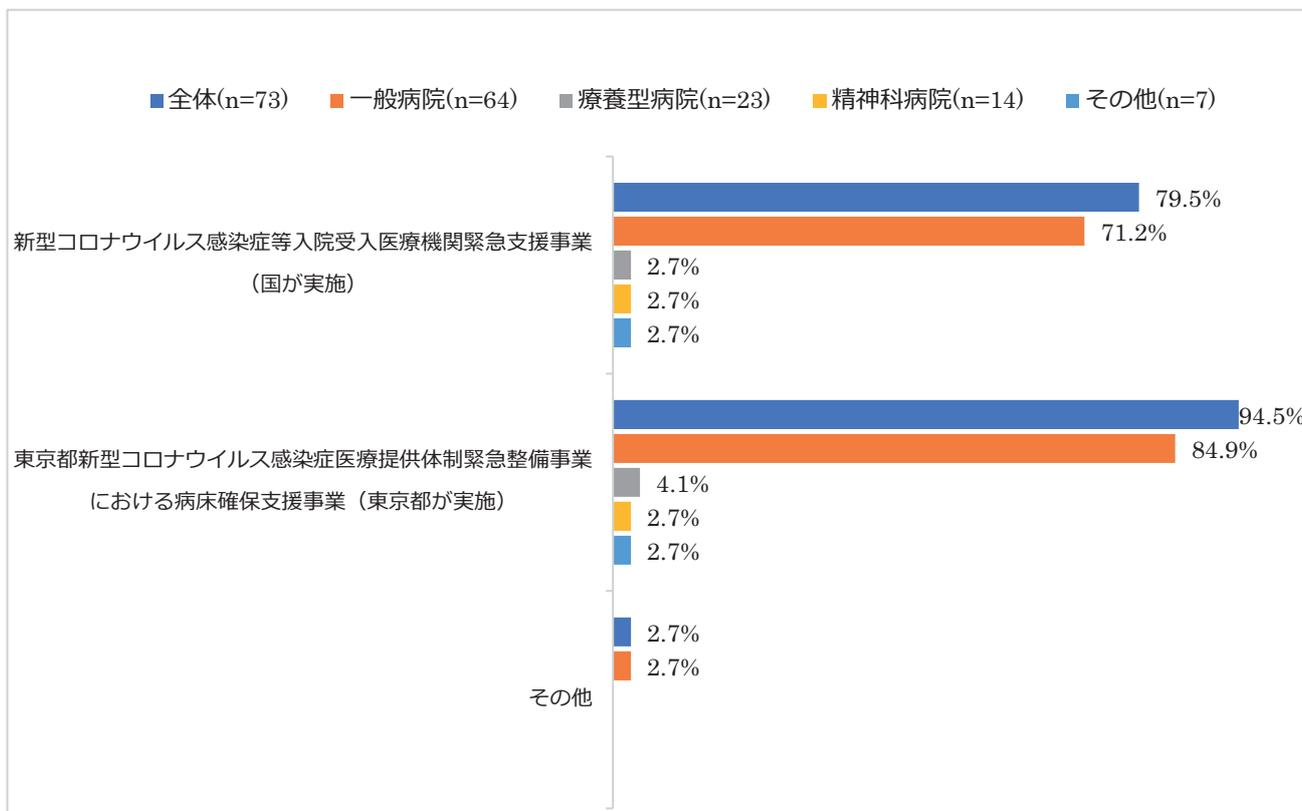
インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(医療機関・薬局における感染拡大防止等支援事業)

院内感染によりクラスターが発生した医療機関への空床確保の補助

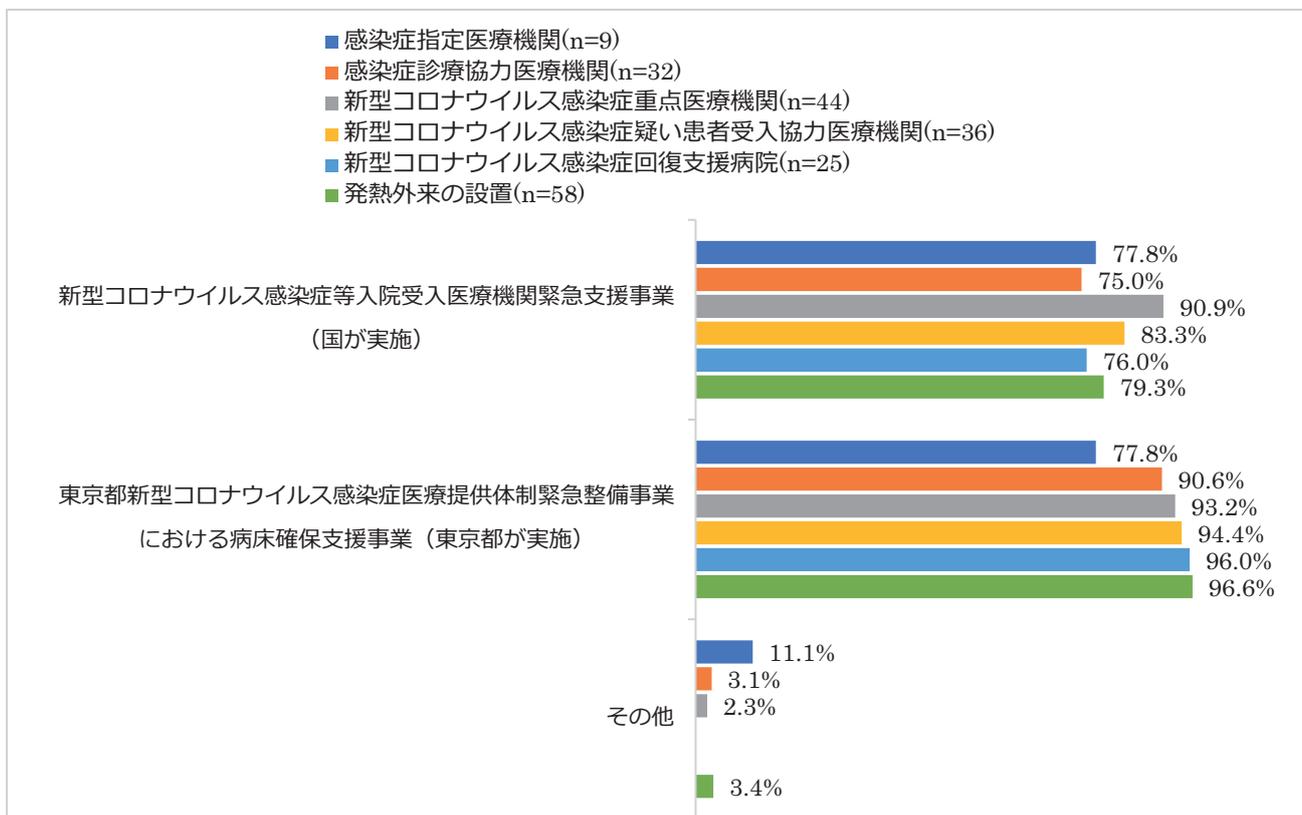
(回答いただいた名称をそのまま記載しているため、正式名称とは異なる場合があります。)

(図表 78) 病院類型 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名

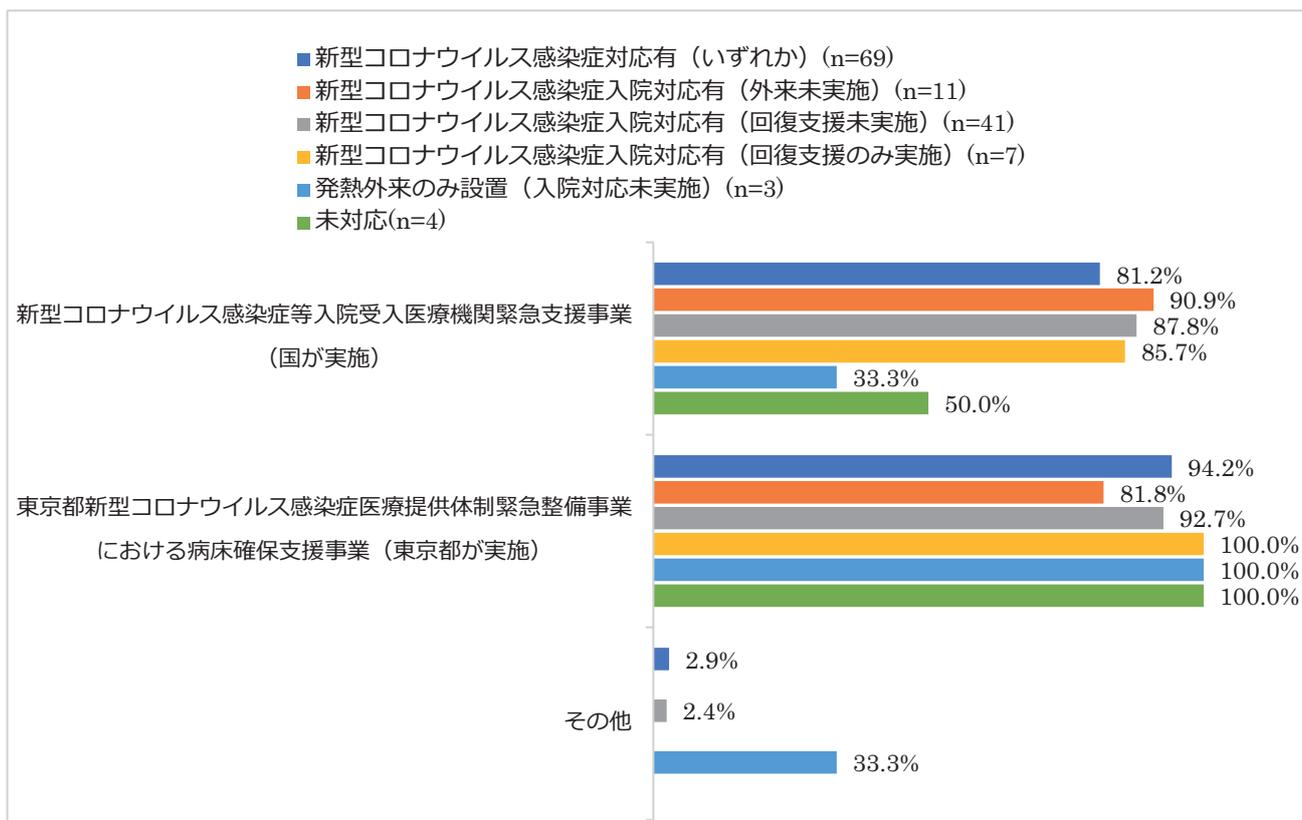


※その他の内容: クラスター発生時のみなし重点病床確保事業 など

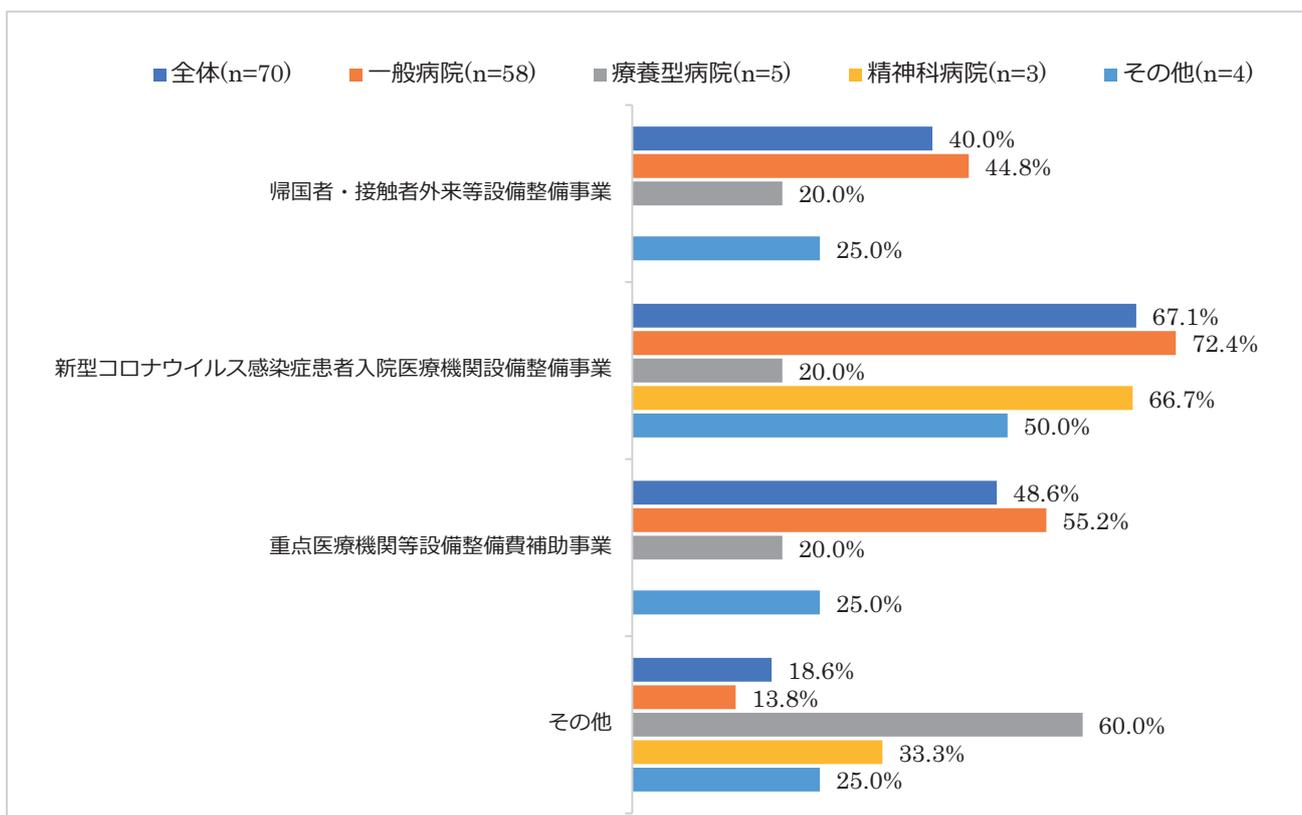
(図表 79) コロナ対応別 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名①



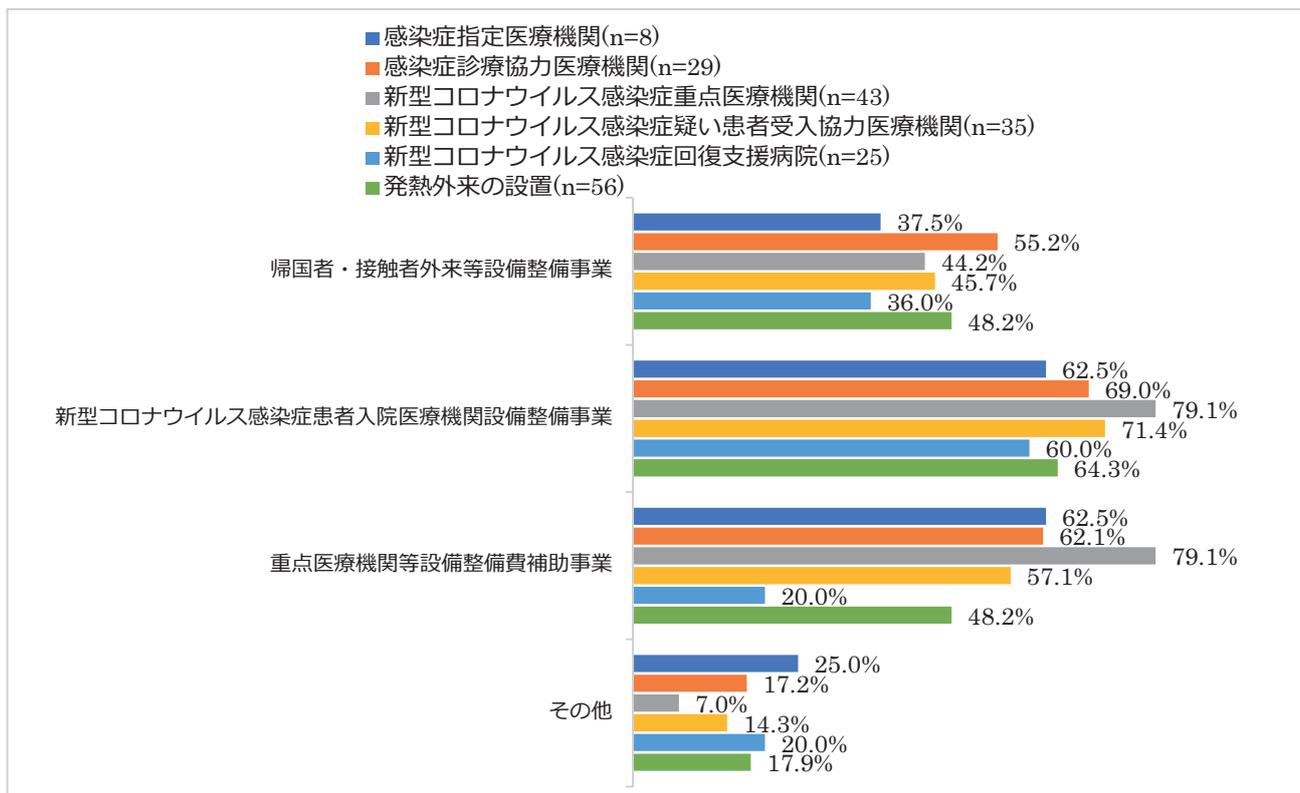
(図表 80) コロナ対応別 病床確保に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名②



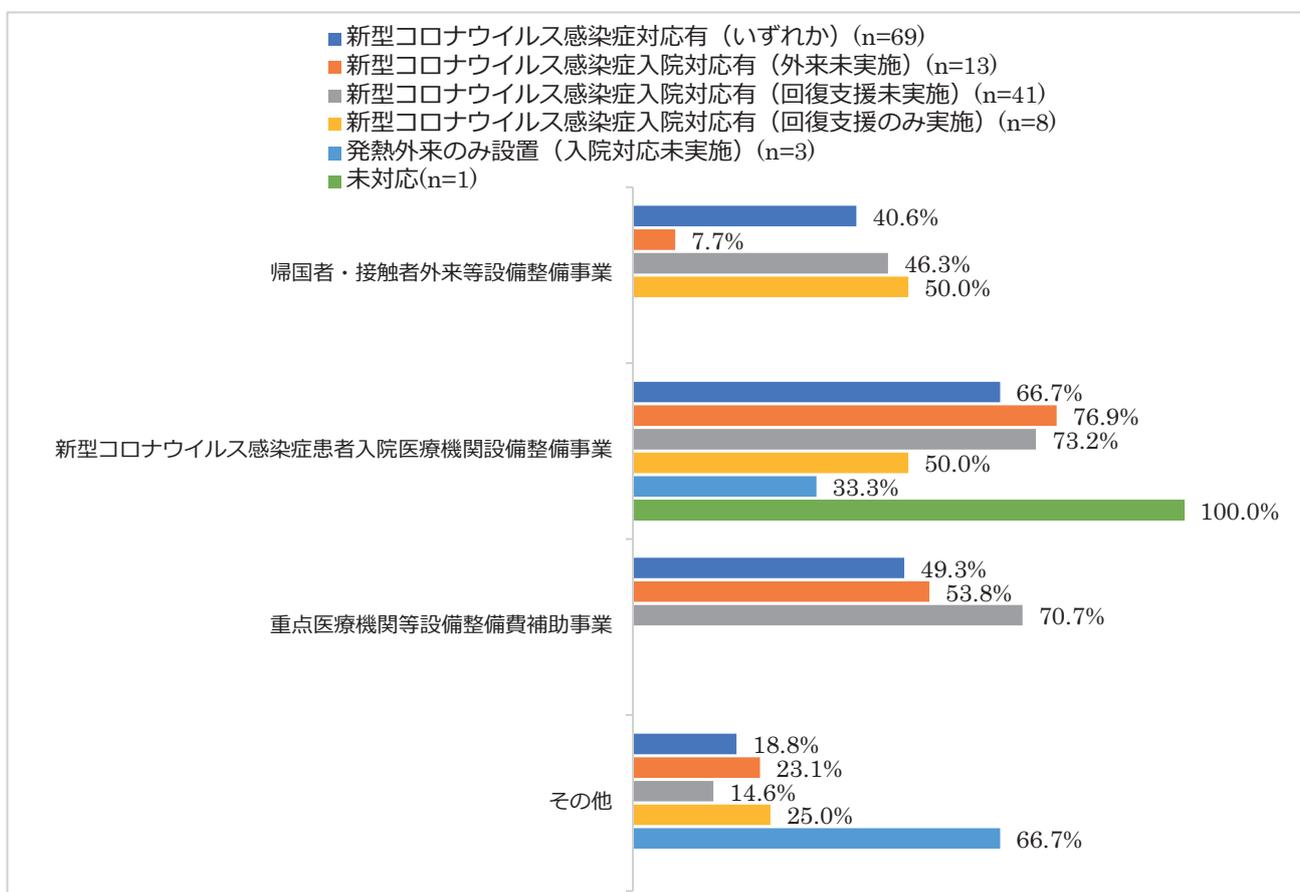
(図表 81) 病院類型 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名



(図表 82) コロナ対応別 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名①



(図表 83) コロナ対応別 設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名②

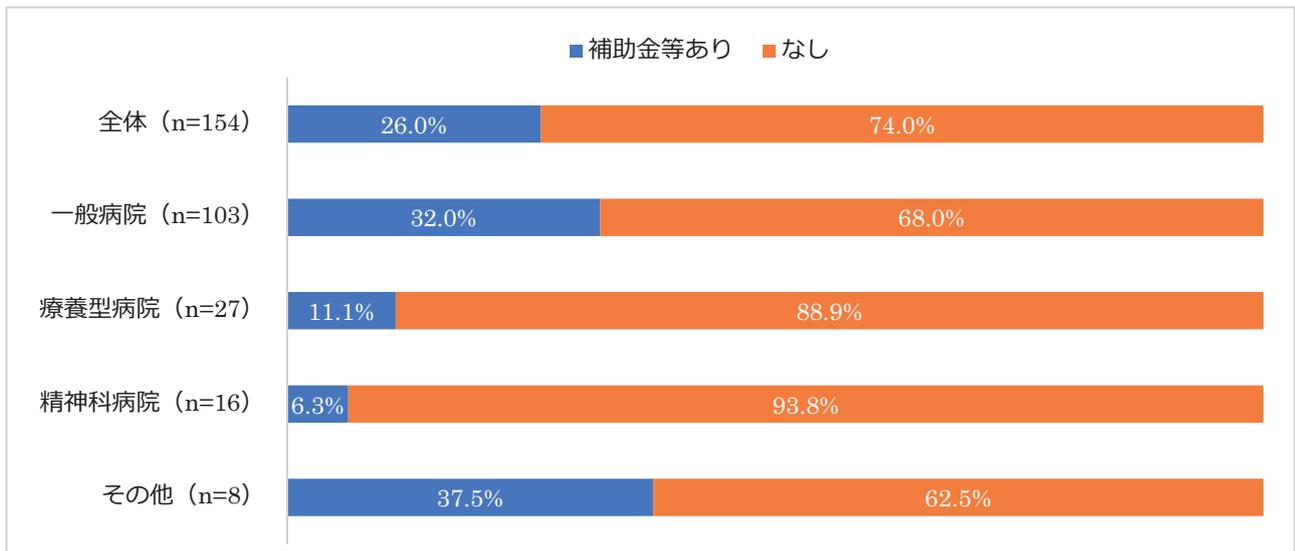


※設備整備に関する補助金のうち活用した(申請中を含む)事業名 その他の内容

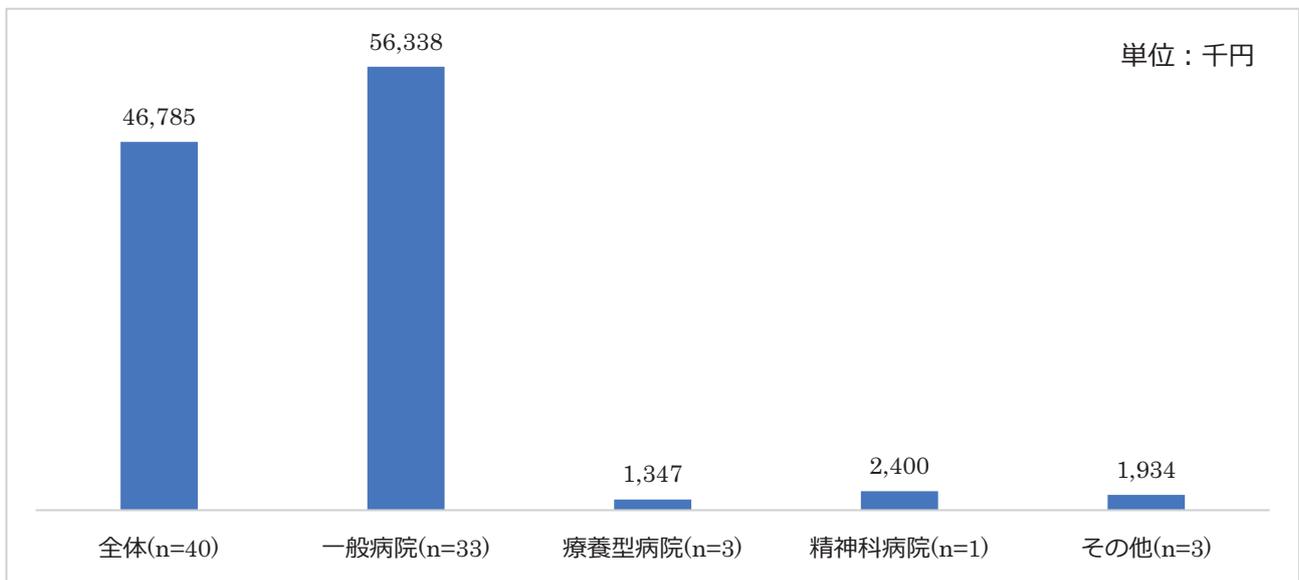
医療提供体制確保支援
災害拠点病院等自家発電設備強化事業
検体検査機器設備整備事業
感染症医療提供体制整備事業
感染症感染拡大防止継続支援
感染対策拡散増幅法機器購入費
新型コロナウイルス感染症対策整備支援事業
医療施設施設・設備整備費用補助事業
救急・周産期・小児医療体制確保支援事業
東京都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業

## 区市町村独自の補助金等の活用状況

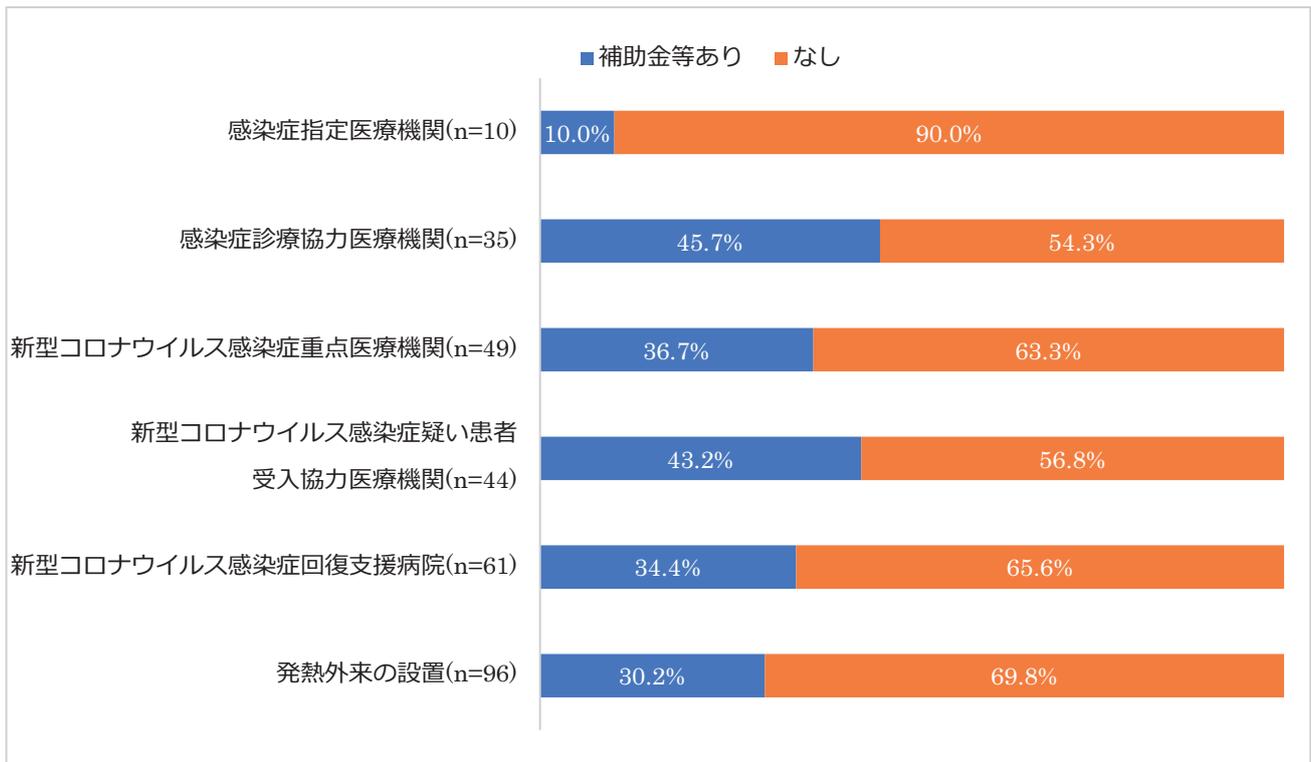
(図表 84) 病院類型別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無



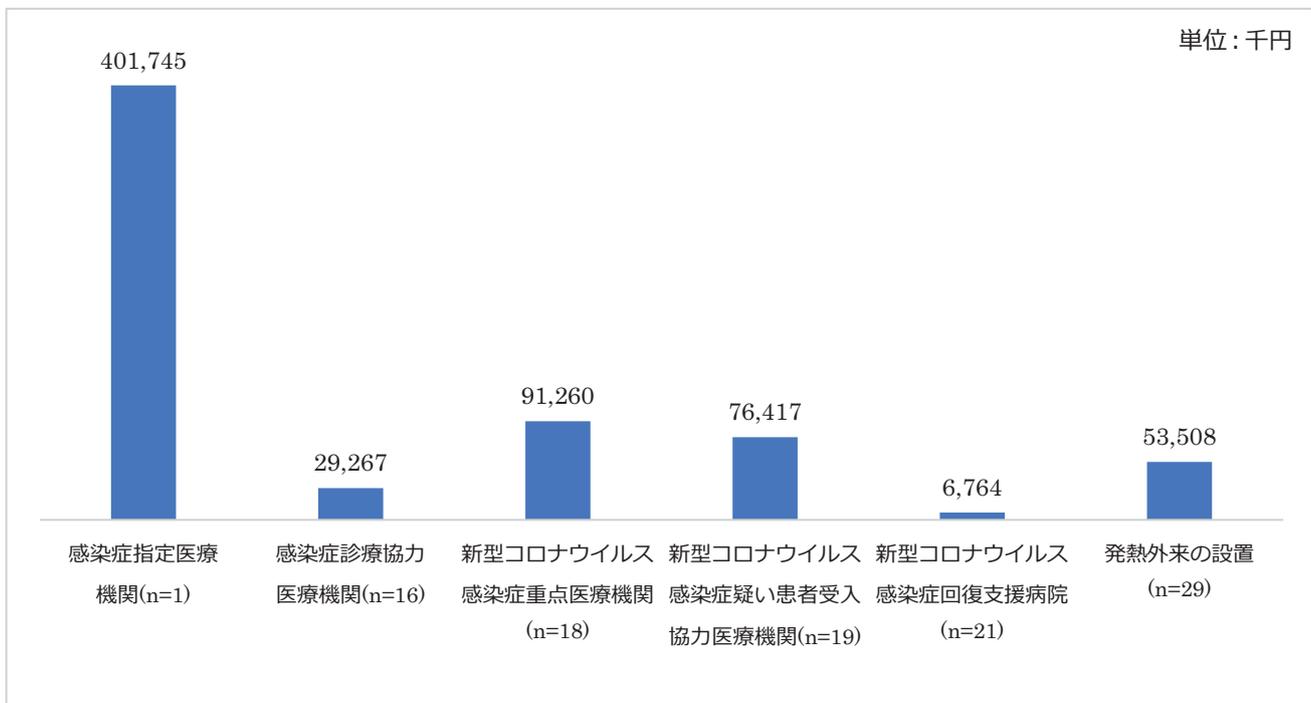
(図表 85) 病院類型別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額(平均)



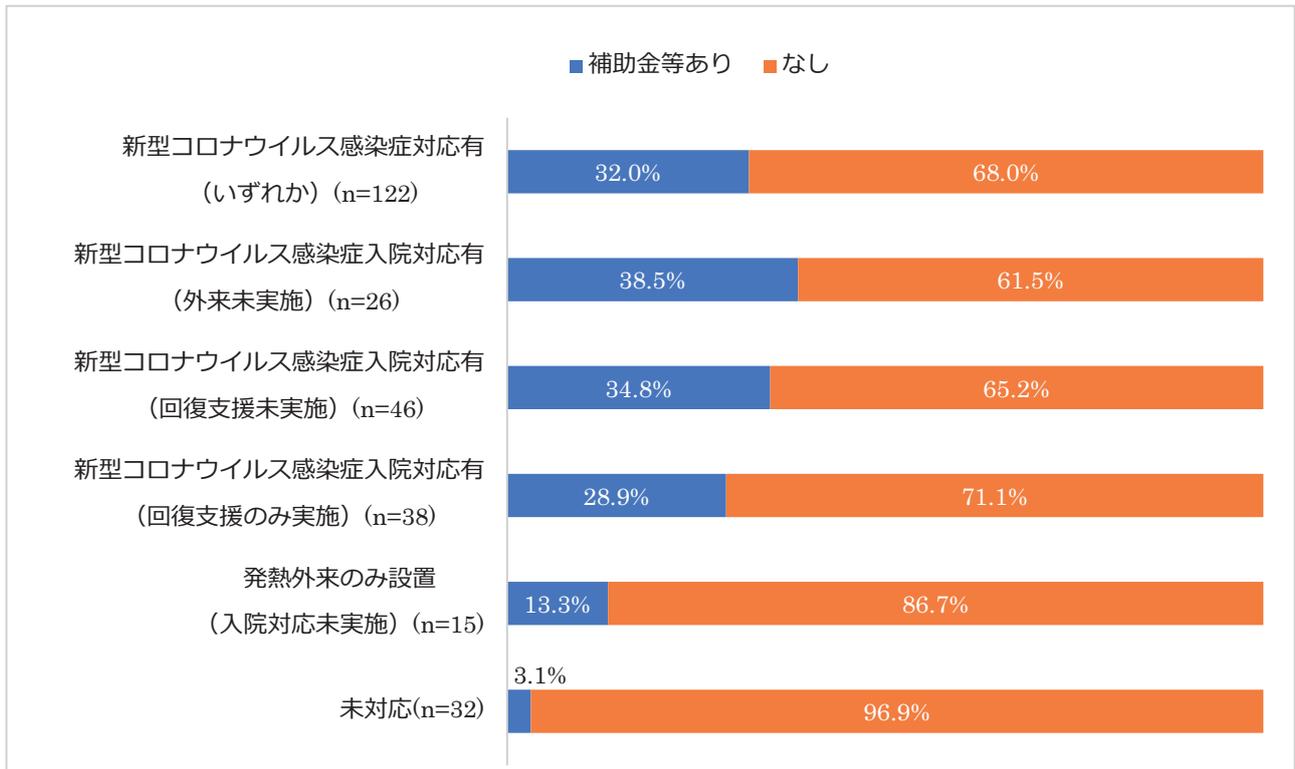
(図表 86) コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無①



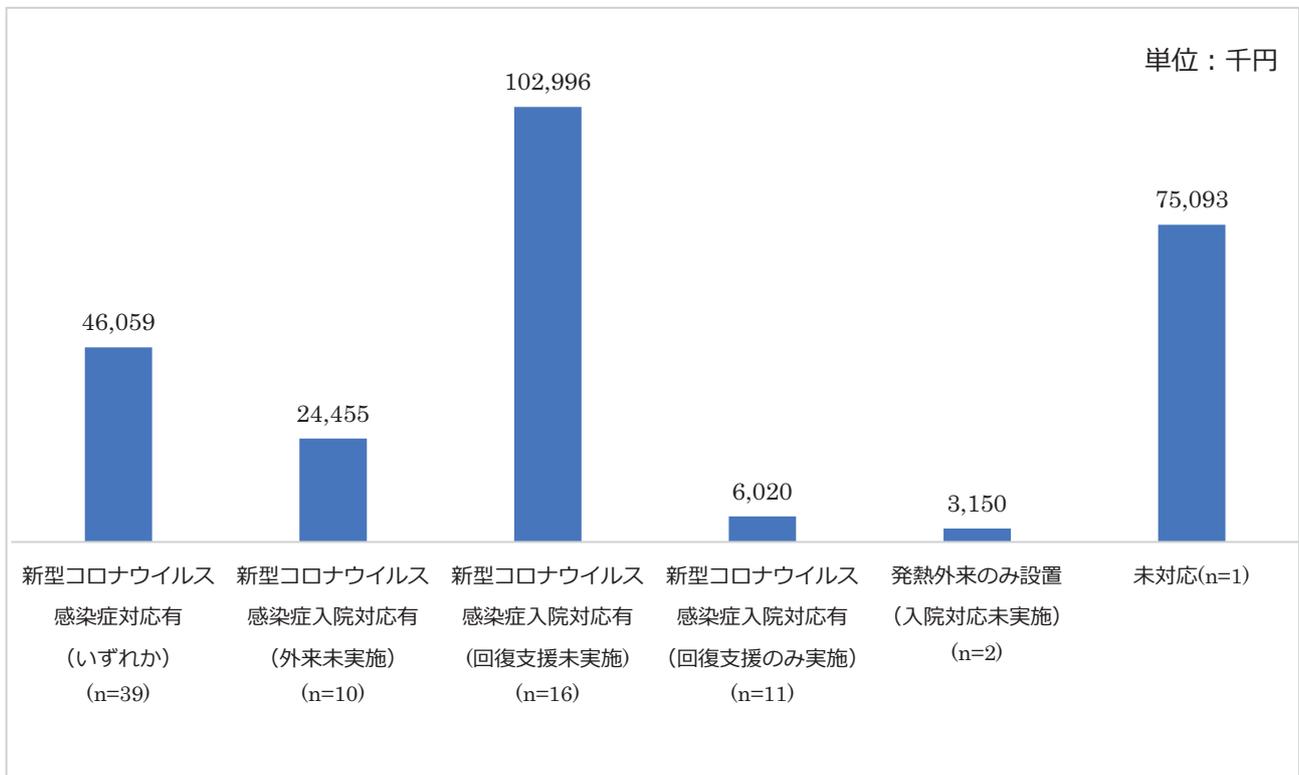
(図表 87) コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)



(図表 88) コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の有無②



(図表 89) コロナ対応別 患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)

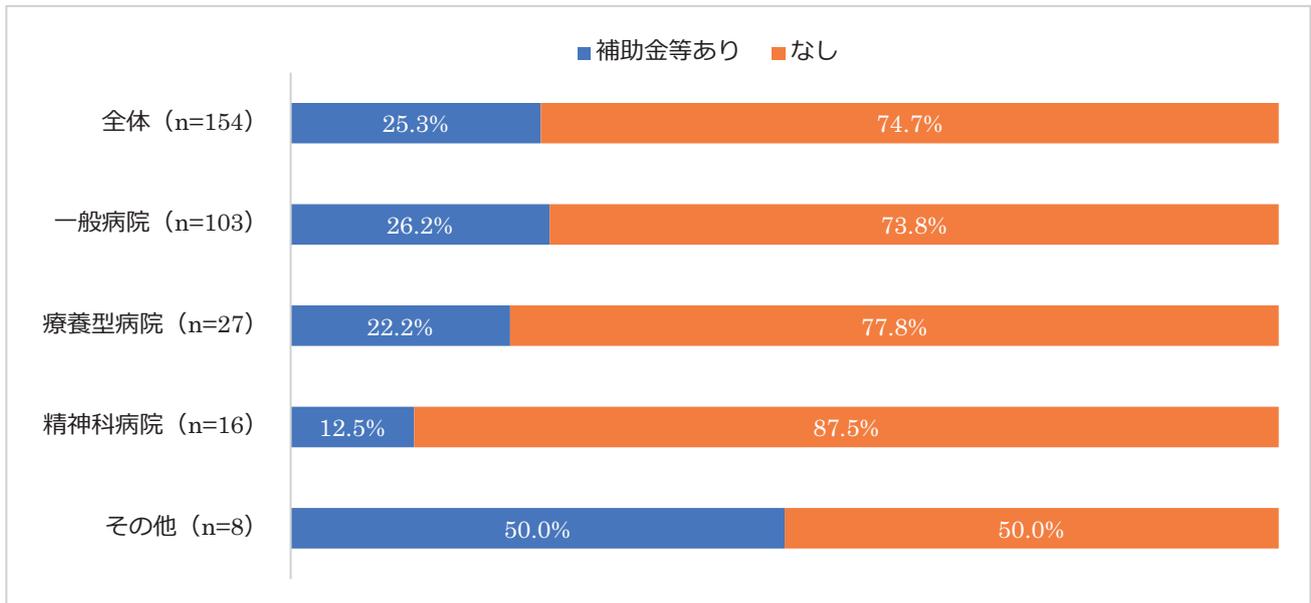


(図表 90)患者受入・病床確保関連の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)

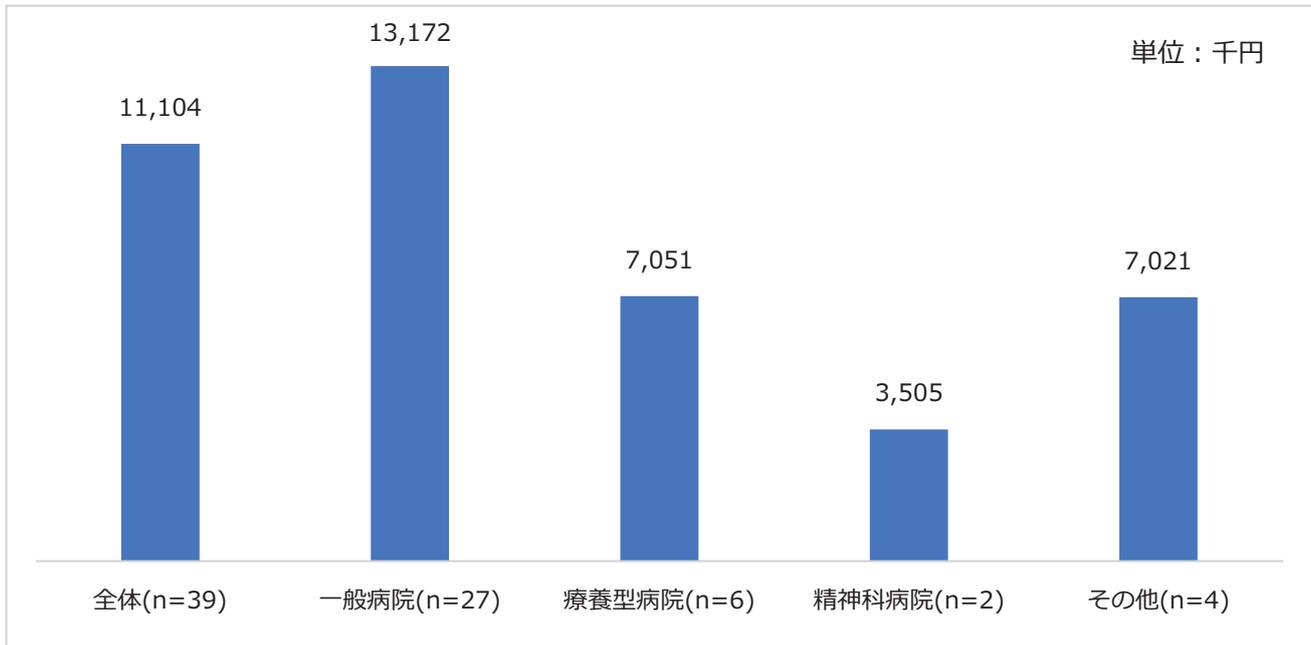
※回答いただいた名称をそのまま記載しているため、正式名称とは異なる場合があります。

患者受入れ等支援補助金
発熱外来等を設置及び運営する病院に対する補助金
重症回復者地域完結型医療体制整備支援金(墨田区)
墨田区地域完結型医療体制整備支援事業補助金
外来診療体制支援事業・医療従事者支援事業・患者受入支援事業
調布市病床確保
感染症自宅療養患者診療補助金
杉並区新型コロナウイルス感染症病床確保の為の転院支援事業補助金
大田区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援助成金
令和3年度新型コロナウイルス感染症回復患者の転院受入協力金
品川区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援
三鷹市新型コロナウイルス感染症に係る医療支援事業補助金(感染症患者専用病床等設定支援事業)
令和2年度東京都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業 等
板橋区新型コロナウイルス感染症に係る病床確保医療機関への支援金
新型コロナウイルス感染症重症回復又は長期療養中の患者受入に係る補助金
新型コロナウイルス感染症に係る病院経営補助金(練馬区) 他
病床確保のための転院支援事業
患者の受け入れ支援補助金
病院保有救急車による新型コロナウイルス患者搬送業務委託料
目黒区新型コロナウイルス感染症対策に係る空床助成金
大田区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援助成金
大田区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関病床確保助成金
品川区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援室、品川区発熱外来診療・検査医療機関支援室
世田谷区新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業補助金
江東区新型コロナウイルス感染症患者受入謝金
町田市医療機関特別給付金(後方支援)
令和3年度三鷹市新型コロナウイルス感染症に係る医療支援事業「感染症患者専用病床等設定支援事業」
新型コロナウイルス対策に係る病院間連携体制整備事業(板橋区)
八王子市新型コロナウイルス感染症患者転院受入協力金
杉並区新型コロナウイルス感染症に対する入院・外来医療体制強化事業
目黒区新型コロナウイルス感染症対策に係わる区内医療機関における空床助成金交付事業
東京都感染症疑い患者一時受入医療機関受入謝金交付事業 等
葛飾区年末年始発熱患者等の診療体制確保協力金
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金

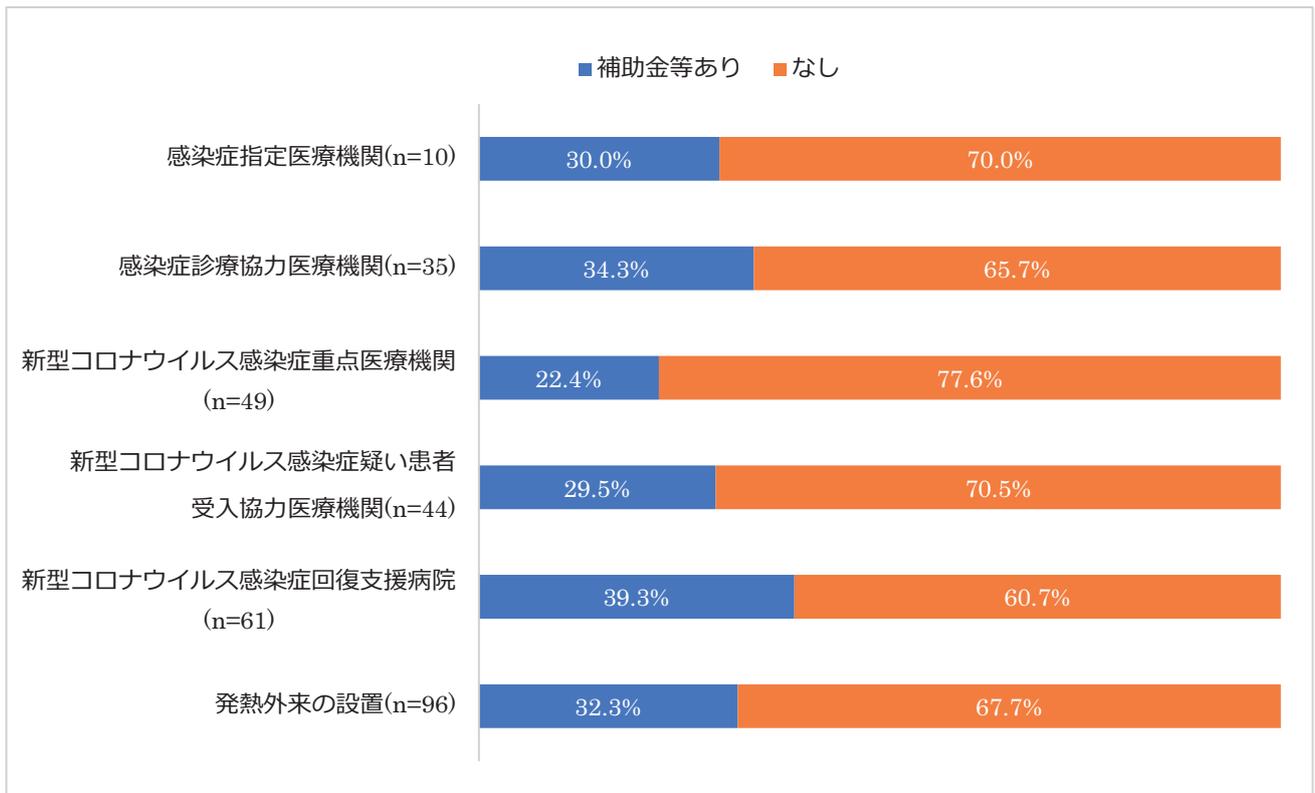
(図表 91) 病院類型別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無



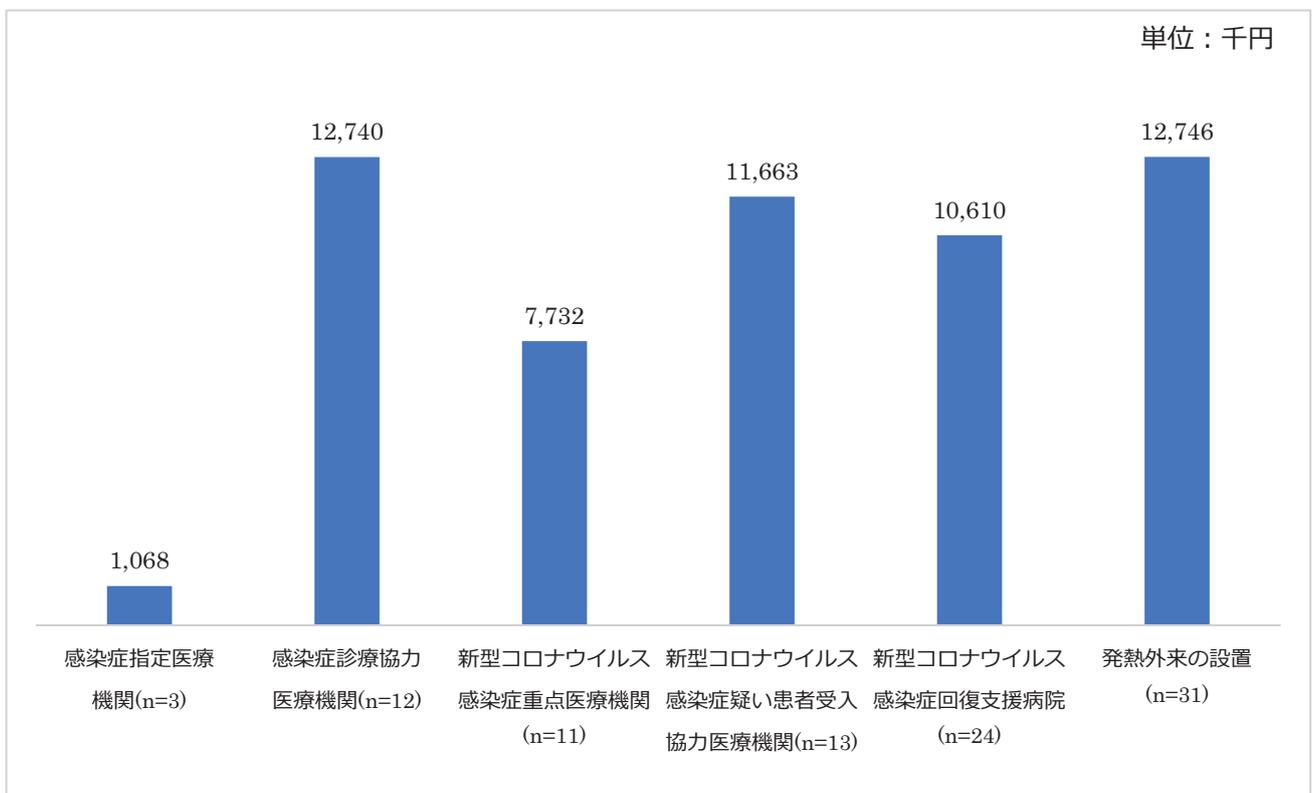
(図表 92) 病院類型別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額(平均)



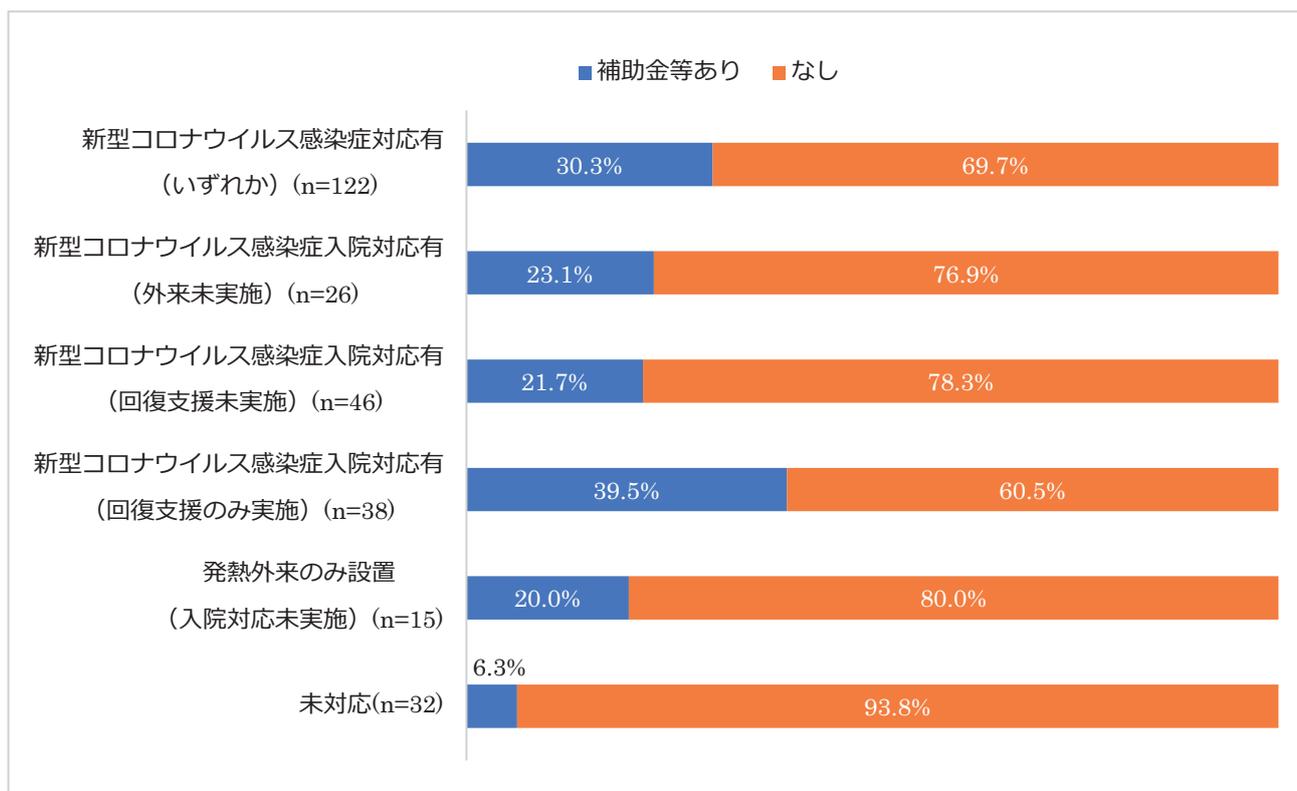
(図表 93) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無①



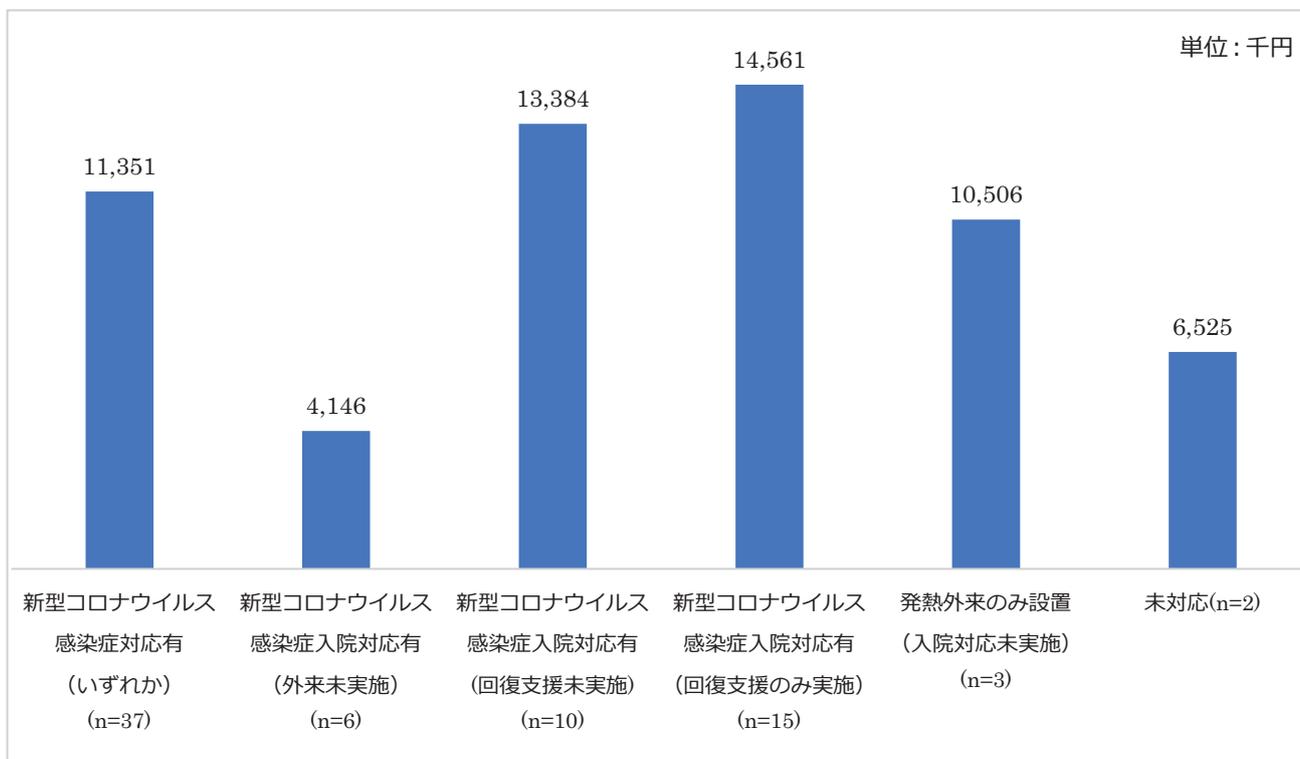
(図表 94) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)



(図表 95) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の有無②



(図表 96) コロナ対応別 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)

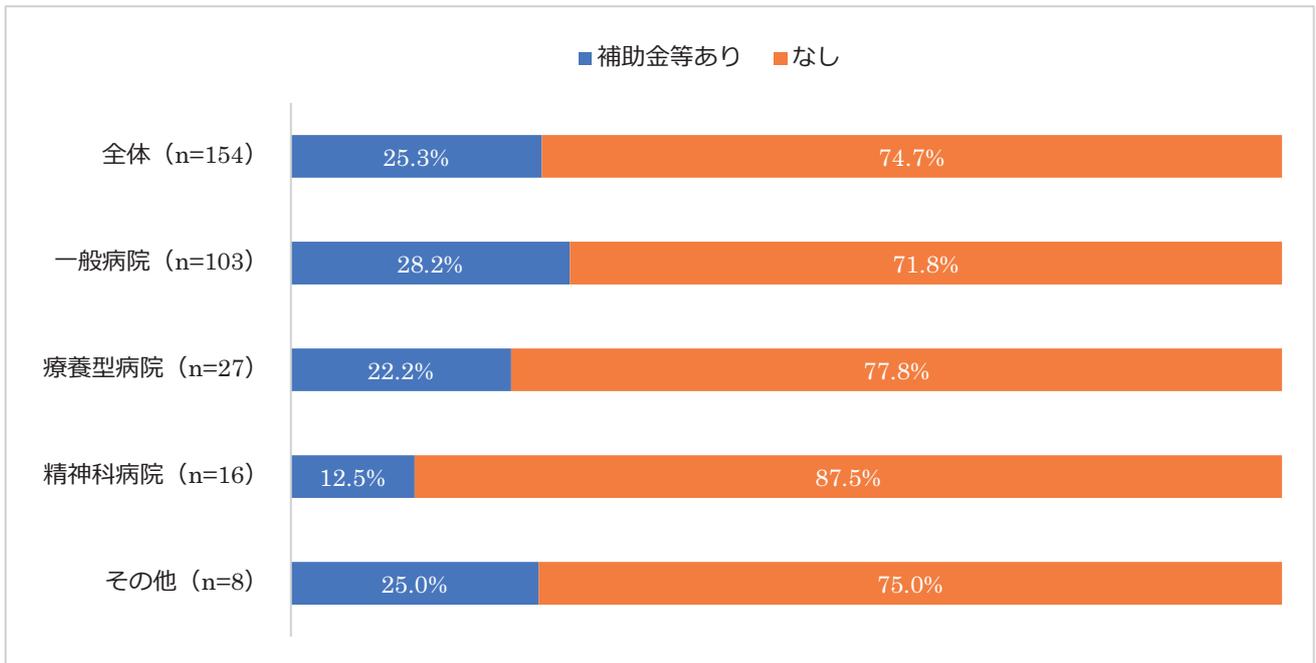


(図表 97) 感染症対策関連の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)

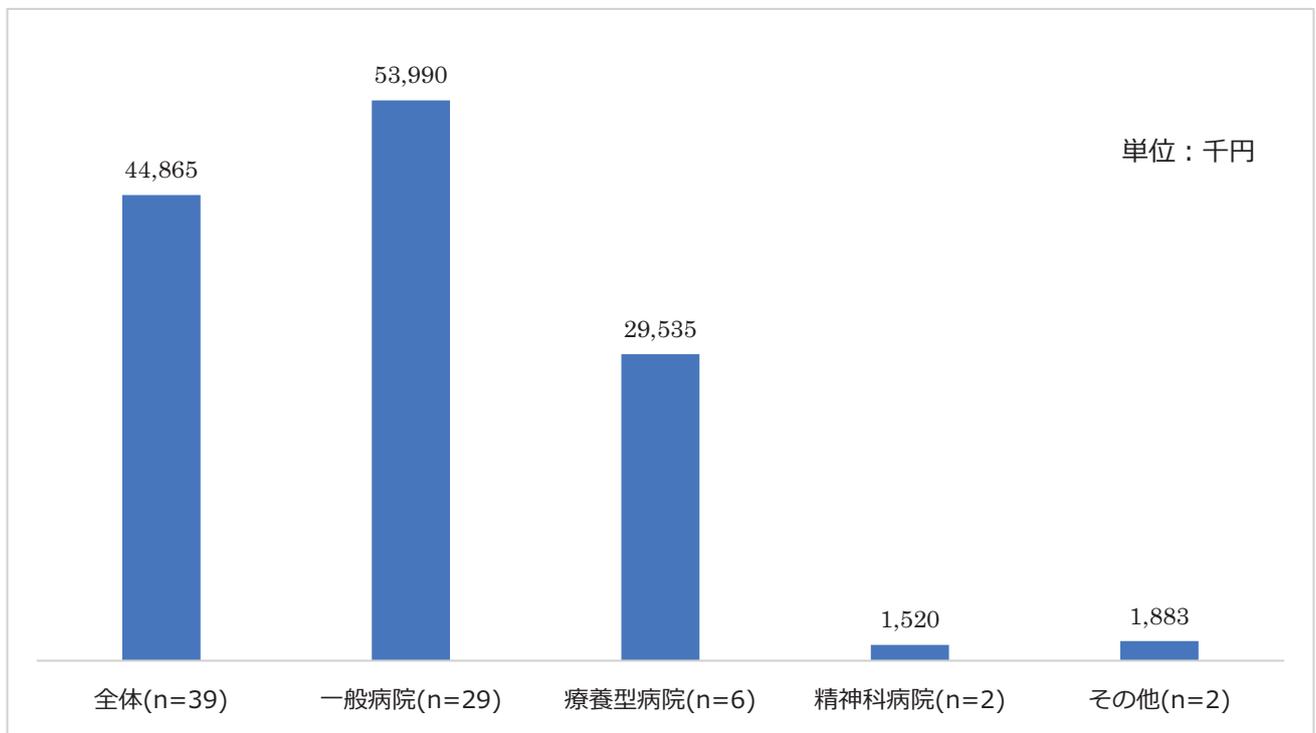
※回答いただいた名称をそのまま記載しているため、正式名称とは異なる場合があります。

発熱外来等を設置及び運営する病院に対する補助金
葛飾区感染拡大防止対策交付金
感染症拡大防止医療提供体制確保支援など
大田区新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関病床確保支援助成金
葛飾区医療機関感染拡大防止交付金
感染症対策支援事業
江戸川区新型コロナウイルス感染症に係る機器等整備事業
発熱外来用テント設置とゾーニングのための入り口増設、その他
三鷹市新型コロナウイルス感染症に係る医療支援事業補助金(医療体制確保支援事業)
令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助事業 等
感染症患者移送業務委託
板橋区 PCR 検査等実施医療機関支援事業
足立区医師会新型コロナウイルス感染症協力病院援助金
検体採取実施運営支援事業、児童福祉施設感染防止対策支援事業
小金井市発熱診療医療機関助成
私立保育施設等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金
目黒区医療従事者等季節性インフルエンザ予防接種経費助成金
大田区新型コロナウイルス感染症流行期診療環境整備支援事業
葛飾区医療機関感染拡大防止対策交付金
令和2年度西東京市感染症拡大防止に係る安全対策事業
新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業補助金 発熱外来の運営
青梅市介護・障害福祉サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金
令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金
令和3年度三鷹市新型コロナウイルス感染症に係る 医療支援事業 「医療体制確保支援事業」
杉並区新型コロナウイルス感染症に対する入院・外来医療体制強化事業
西東京市・介護事業運営補助金、安全対策事業、ワクチン接種事業
小平市事業者向け感染防止徹底協力金
葛飾区医療機関感染拡大防止交付金
新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急補助金
令和2年度新型コロナウイルス入院医療機関への機器整備補助

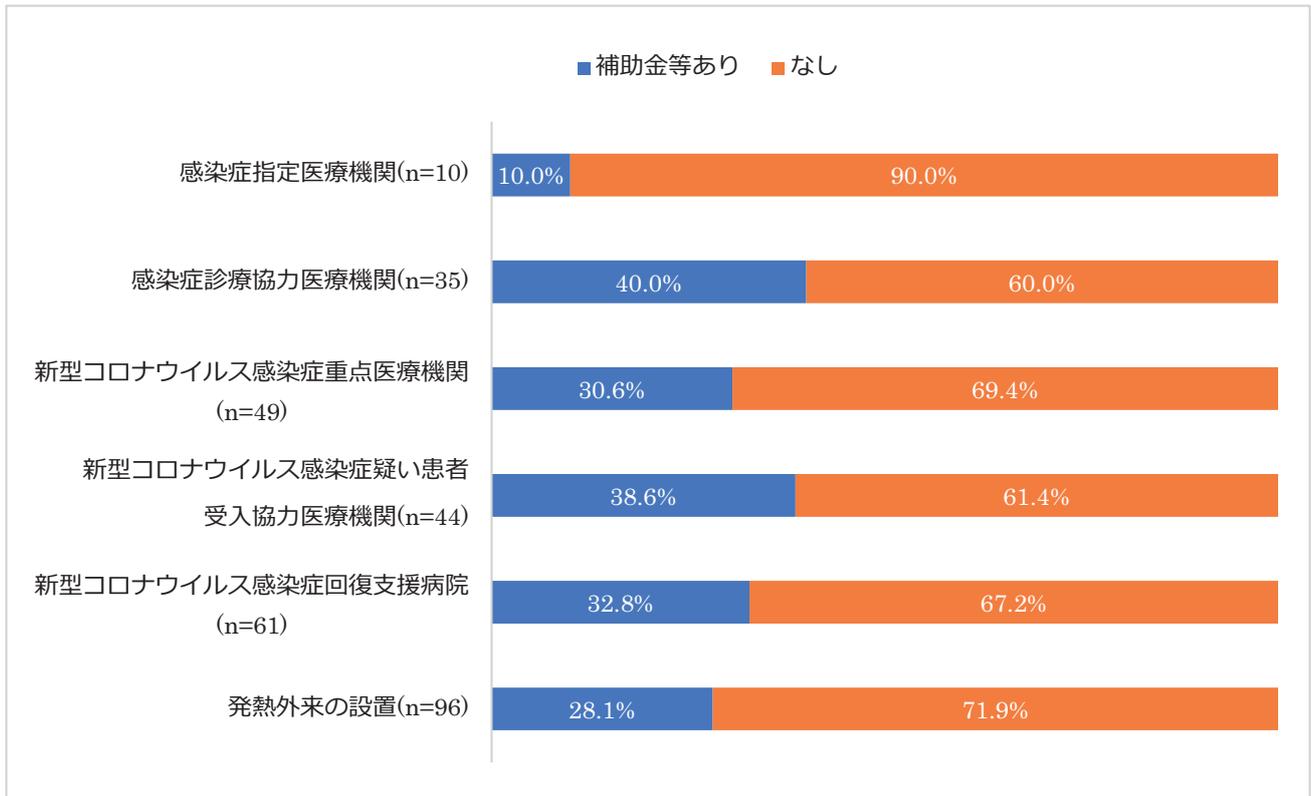
(図表 98) 病院類型別 その他の区市町村独自の補助金等の有無



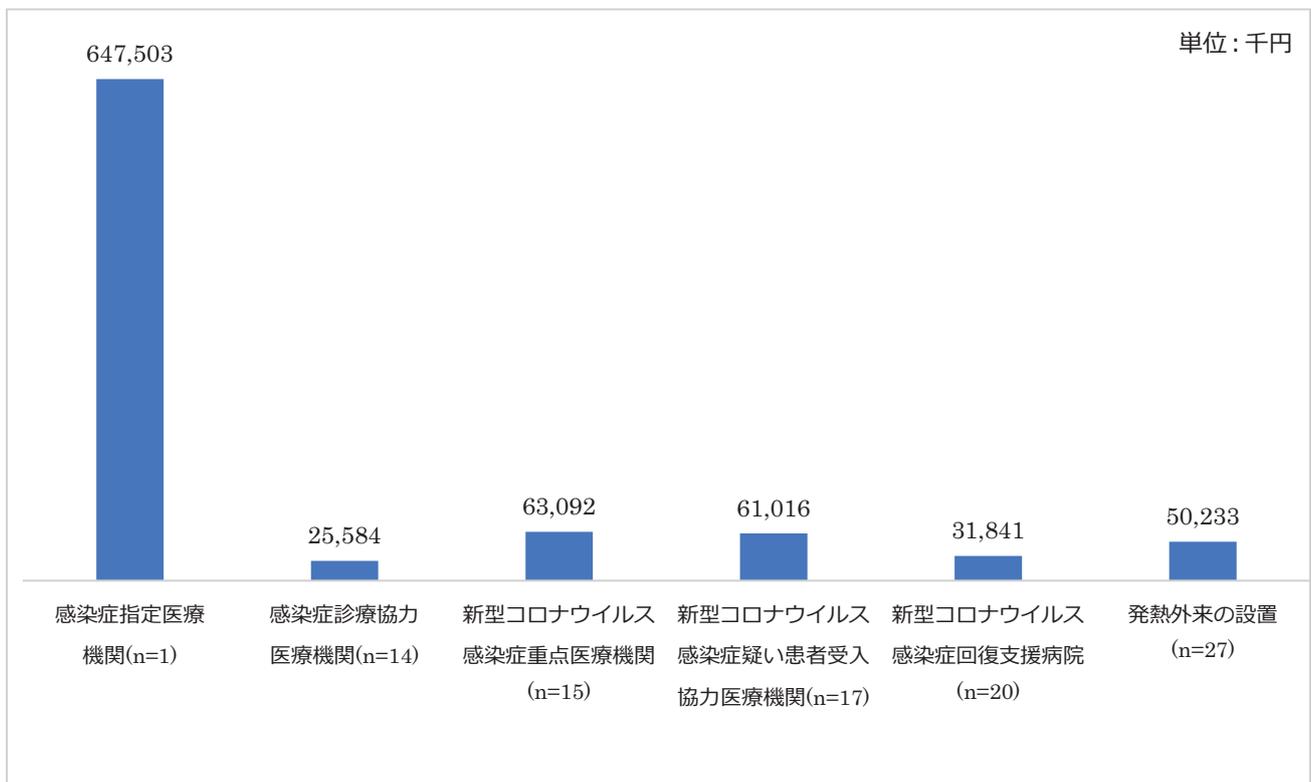
(図表 99) 病院類型別 その他の区市町村独自の補助金等の金額(平均)



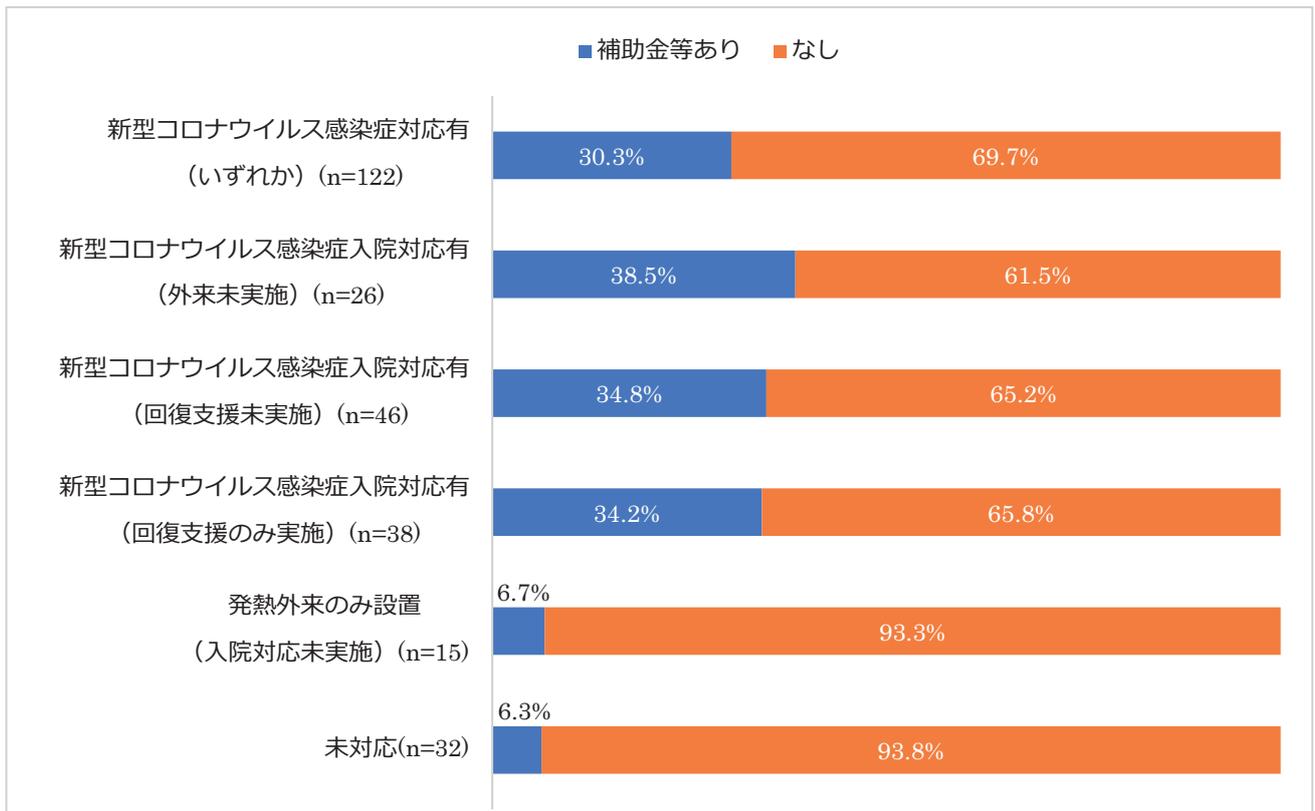
(図表 100) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の有無①



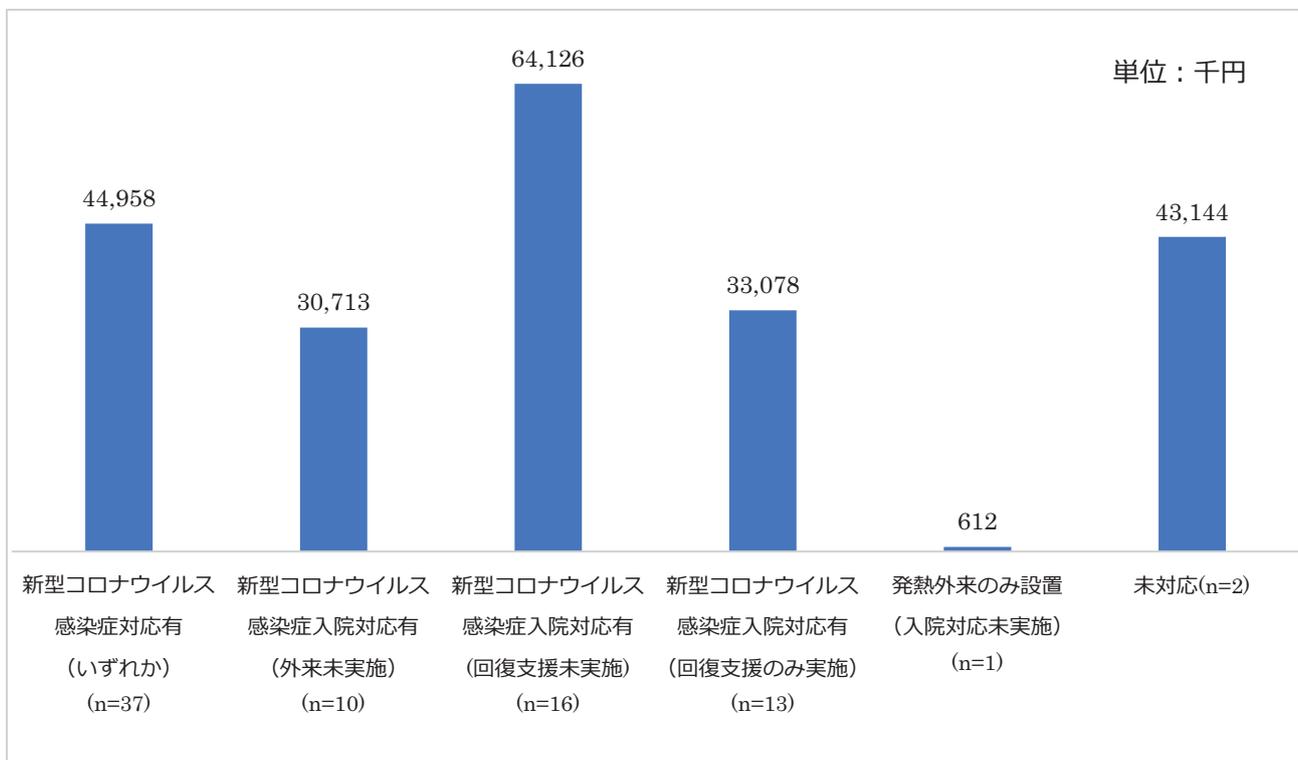
(図表 101) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の金額①(平均)



(図表 102) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の有無②



(図表 103) コロナ対応別 その他の区市町村独自の補助金等の金額②(平均)

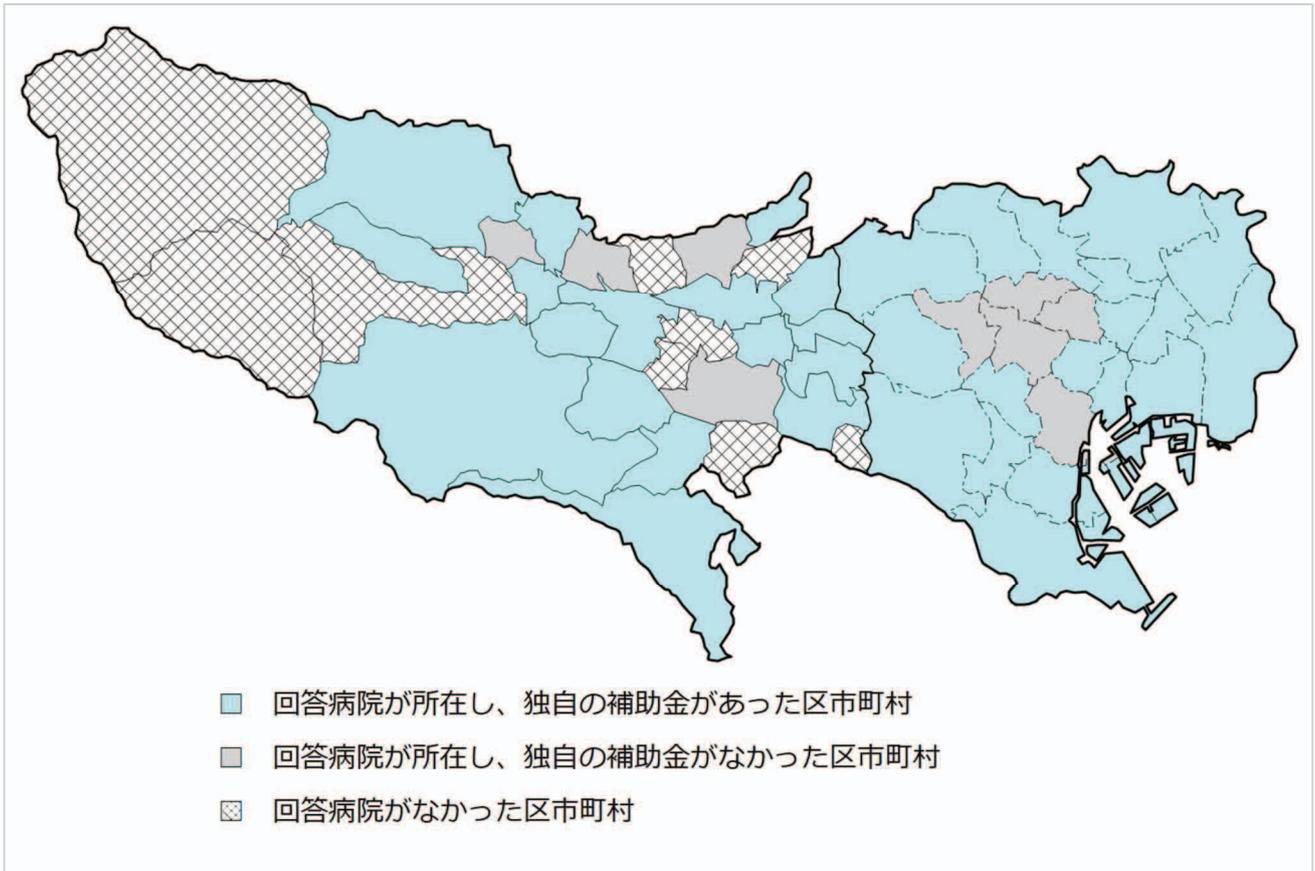


(図表 104) その他の区市町村独自の補助金等(一部抜粋)

※回答いただいた名称をそのまま記載しているため、正式名称とは異なる場合があります。

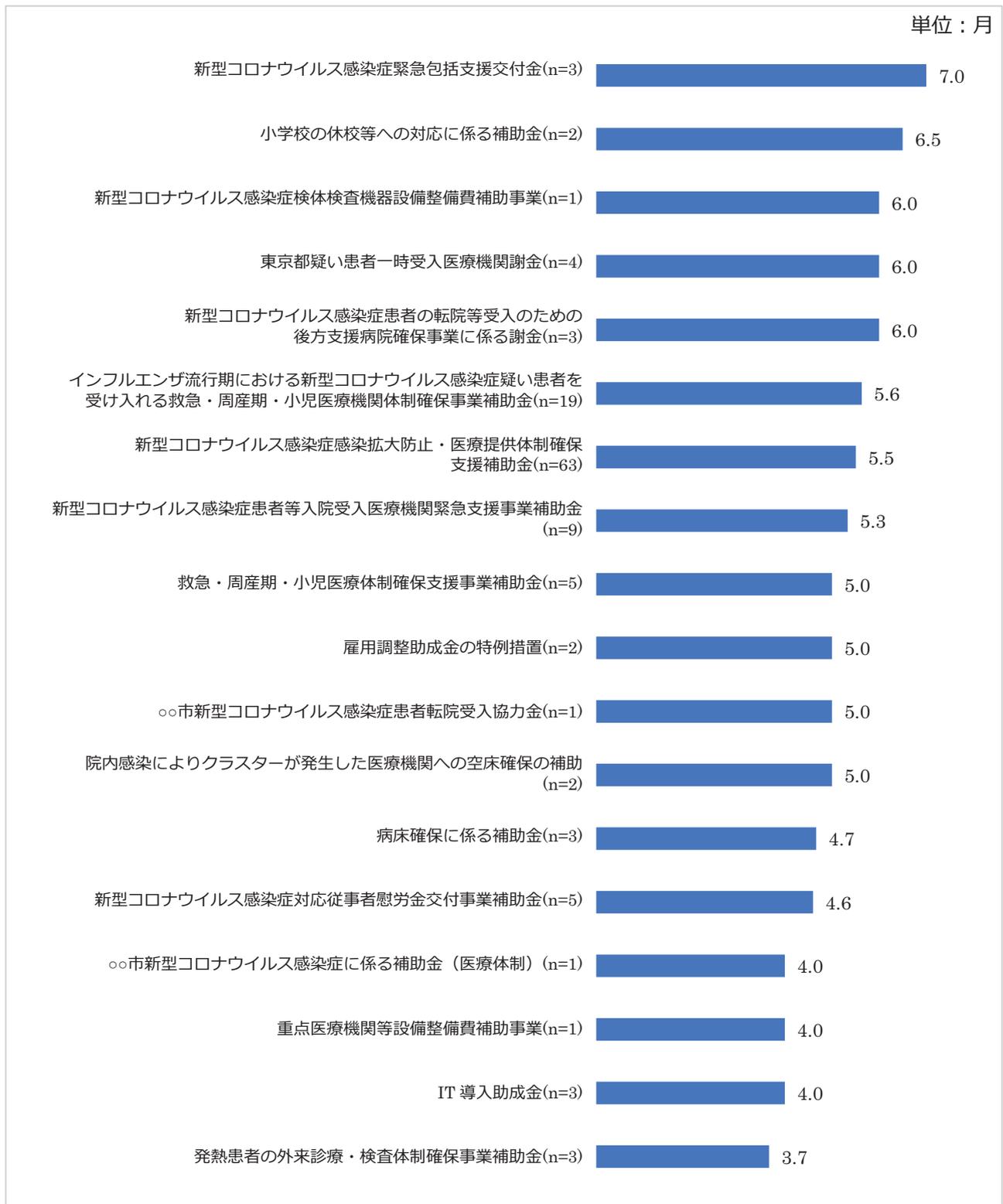
特殊勤務手当補助、病院経営支援補助金
年末年始の診療・検査体制の確保医療機関協力金
葛飾区緊急支援補助金(検査1件分)
年末年始の医療体制の確保、後方支援病院確保事業謝礼金上乘せ支給
北区 Covid-19 医療提供体制支援事業
清瀬市新型コロナウイルスワクチン住民接種に係る体制確保業務
墨田区二次救急診療再開支援補助金:クラスター発生 二次救急医療機関に対する一般外来診療再開に対する支援
杉並区新型コロナウイルス感染症検体採取実施支援事業補助金
大田区年末年始発熱外来事業補助金
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う病床確保に関する協定書(回復期支援)
三鷹市新型コロナウイルス感染症に係る医療支援事業補助金
新型コロナウイルス感染症に係る区内医療機関に対する休業期間経営継続支援事業
足立区新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援金
パブリックリソース財団 コロナ給付金寄付プロジェクト 医療分野助成基金 他
休業期間経営継続支援事業支援金
災害拠点病院等への支援にかかる助成金
医療従事者特殊勤務手当支援
立川市に集まった寄付の分配
杉並区新型コロナウイルス感染に係る区内医療機関に対する休業期間経営継続支援事業補助金
目黒区災害医療体制整備補助金・緊急医療救護所待合スペースの環境整備に係る工事費等を補助する
品川区新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金
板橋区新型コロナウイルス対策に係る病院間連携体制整備事業
渋谷区医師会 PCR センター受託料
都指定二次救急医療機関特別給付金・町田市介護サービス事業継続支援事業補助金
検査診療機関(連休中の発熱外来の実施について)
八王子市 新型コロナウイルス感染症対策事業補助金
町田市医療機関特別給付金
葛飾区救急医療機関体制確保(二次救急)交付金
足立区新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援金/新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種及び個別接種促進のための支援事業

(図表 105) 区市町村独自補助金の有無のマッピング



注) 区市町村独自の補助金等の有無について、今回の調査においては事務局による独自調査は行っていないことから、独自の補助金がなかったという回答には、回答病院が独自の補助金の存在を知らず、活用しなかった場合も含まれている可能性がある

(図表 106) 申請から入金まで最も期間を要した補助金等の名称と交付までに要したおよその期間



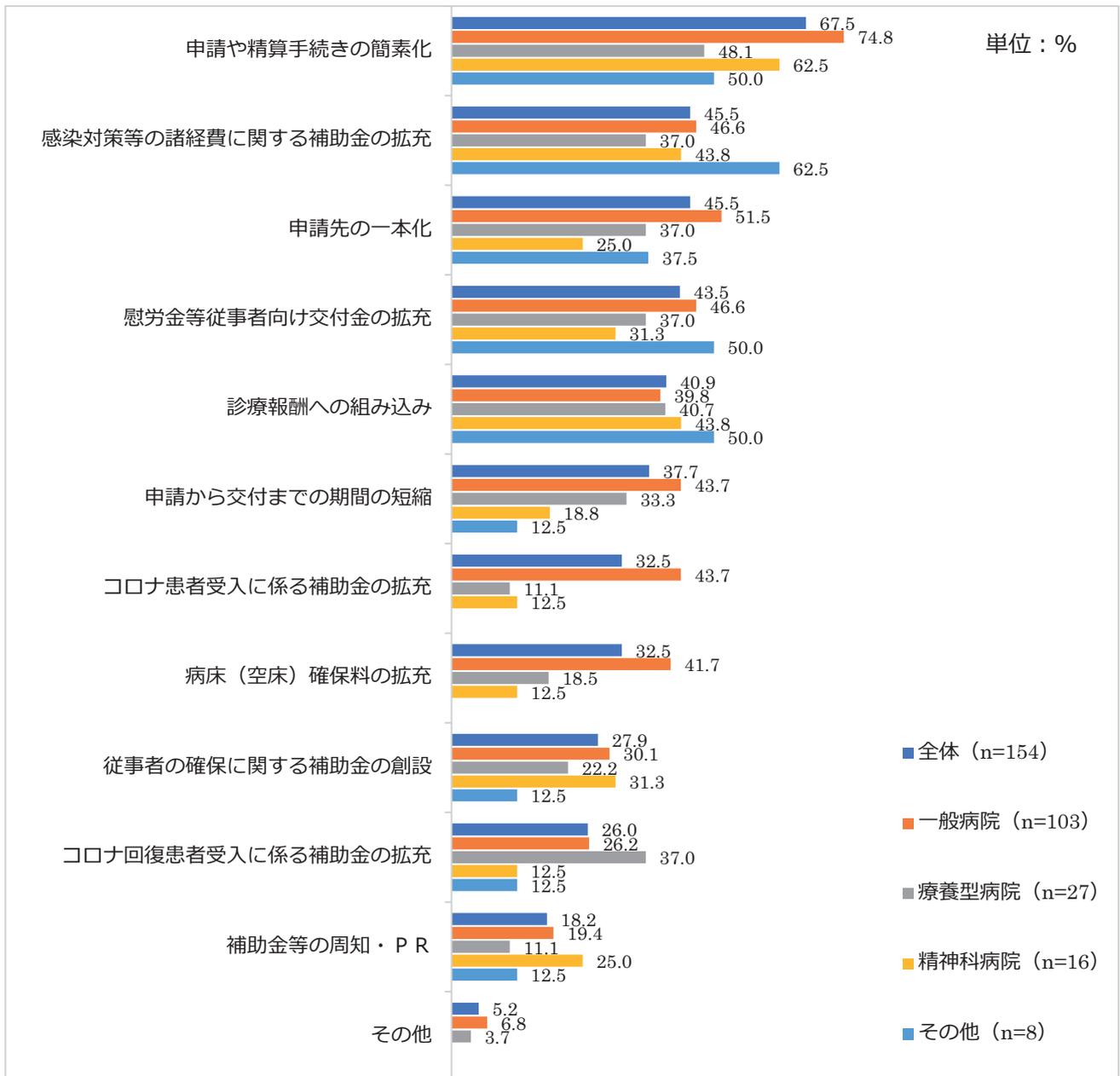
(図表 107)活用したコロナ関連の補助金等のうち、最も申請が容易であった補助金等の名称とその理由(一部抜粋)

※回答いただいた名称をそのまま記載しているため、正式名称とは異なる場合があります。

補助金等の名称	容易であった理由
練馬区患者受入れ等支援補助金	入院患者数とPCR検査数の報告だけでほぼ申請できた
葛飾区感染拡大防止対策交付金	申請書のみ
感染拡大防止支援事業	申請額の計算方法が簡単であった。
新型コロナ感染拡大防止継続支援補助金	根拠書類の省略ができたため。
持続化給付金	申請入力が容易であった。
東京都医療機関・薬局等における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等支援事業補助金	適用範囲が広い
回復期支援病院としての患者受入れによる謝金	申請が毎月実績に基づき対応し、請求は半期に一度Webである
医療機関・薬局等における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等支援事業	電子申請で完了したため
感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	①提出書類の数が少なく、記入する内容もシンプルであったこと ②申請する経費の支出が全て終わっている場合、申請と実績報告が同時に行えたこと
感染症感染拡大防止継続支援	ネット申請のため
医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業	進捗状況があった
ワクチン接種促進支援事業	データ入力が少ない
令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	これから申請予定であるが、インターネット申請で完結し、書類提出が不要のため。
福祉医療機構 コロナ融資	必要最低限の書類で、融資までのスピードも早かった
年末年始の診療・検査体制の確保医療機関協力事業	診療体制日を報告するのみであった為
令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	Web申請であったため
令和2年度インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	申請書が簡単かつ少ない
東京都新型コロナウイルス感染症患者受入謝金	報告システムが容易であったため

東京都医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金	領収書の積算でよいから
令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	申請方法・様式が簡便
東京都新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関臨時支援金交付事業	交付条件が単純かつ医療機関の経営支援が目的であり、申請も容易だった
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	電子申請であるため
新型コロナウイルス感染症患者の転院等受入の為の後方支援病院確保事業	提出資料が複雑ではない為
令和2年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業	申請後、入金までの期間が短った
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援	上限金額が少なく、1件の申請で済んだため
救急・周産期・小児医療体制確保支援事業補助金	申請用紙2枚程度の申請で実績報告も用紙1枚程度の提出であった
八王子市新型コロナウイルス感染症地域医療体制支援拠点運営費用	人件費補助であったため簡便な申請で済んだ
東京都医療機関・薬局等における新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	購入予定分をリスト化するだけだったから
八王子市新型コロナウイルス感染症患者転院受入協力金	添付書類としては紹介医療機関からの証明書であったこと
令和3年度東京都新型コロナ外来診療体制確保協力謝金事業	実施日数のみの入力のため
令和3年度東京都新型コロナ外来診療体制確保協力謝金	事前の届け出も簡易的、かつ実績報告が不要であるため。令和2年度は補助金事業で事前届け出も実績報告も非常に煩雑だった。
東京都医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金	必要書類が少なく、提出もネットを使って簡易だった為
令和2年インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療体制確保支援事業補助金	提出書類等も簡易であったため
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	申請方法がシンプルであった
新型コロナウイルス感染症患者の転院等受け入れの支援	提出資料が少ない為
東京都新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関臨時支援金交付事業	申請書類の作成が簡易で、用途の報告が不要であったため
病床確保支援事業	提出資料作成の手間が少なかった
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金	Web上での申請のみで押印や郵送が不要だった
令和3年度新型コロナウイルス感染症拡大防止継続支援補助金	書式が簡略化されていたため

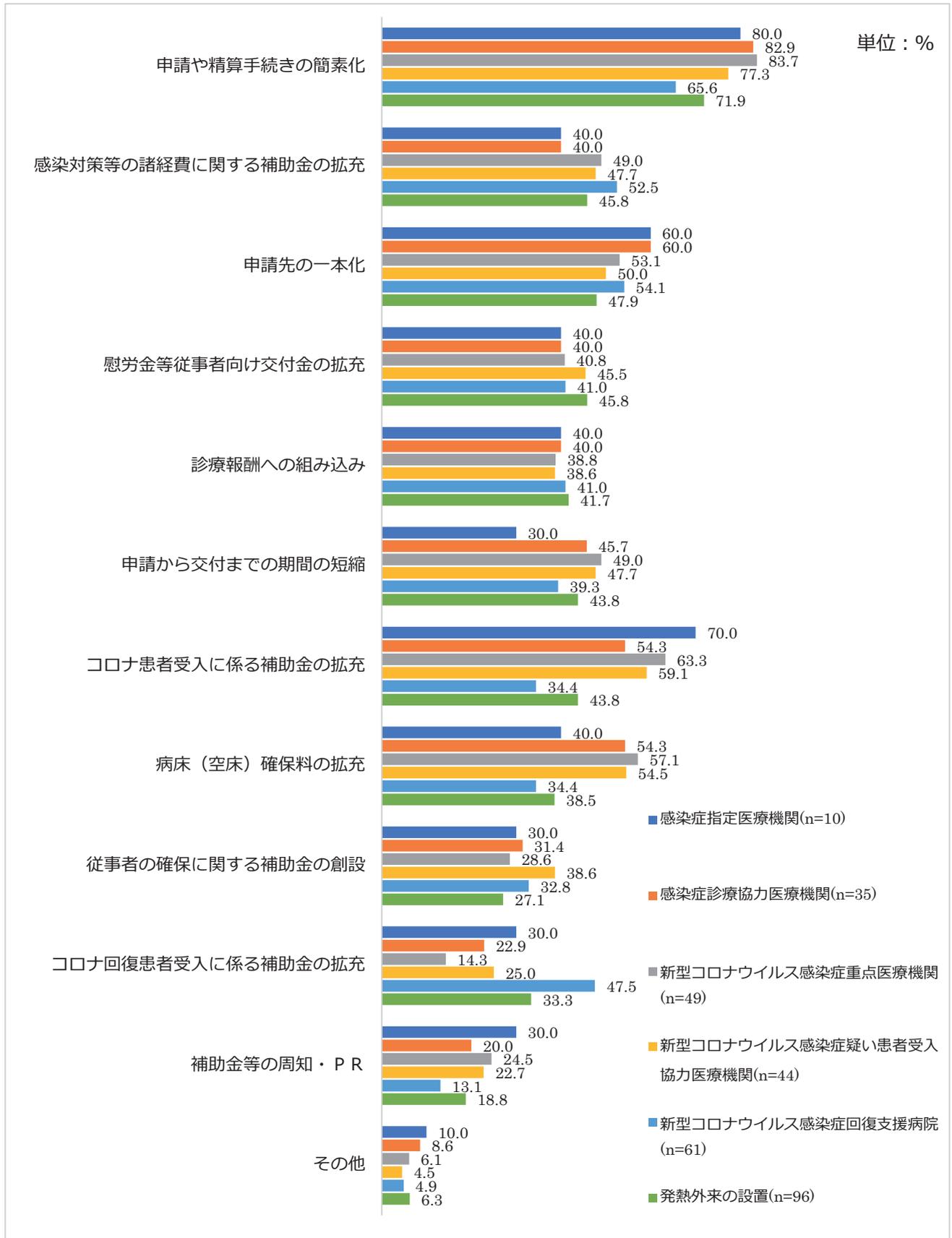
(図表 108) 病院類型別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)



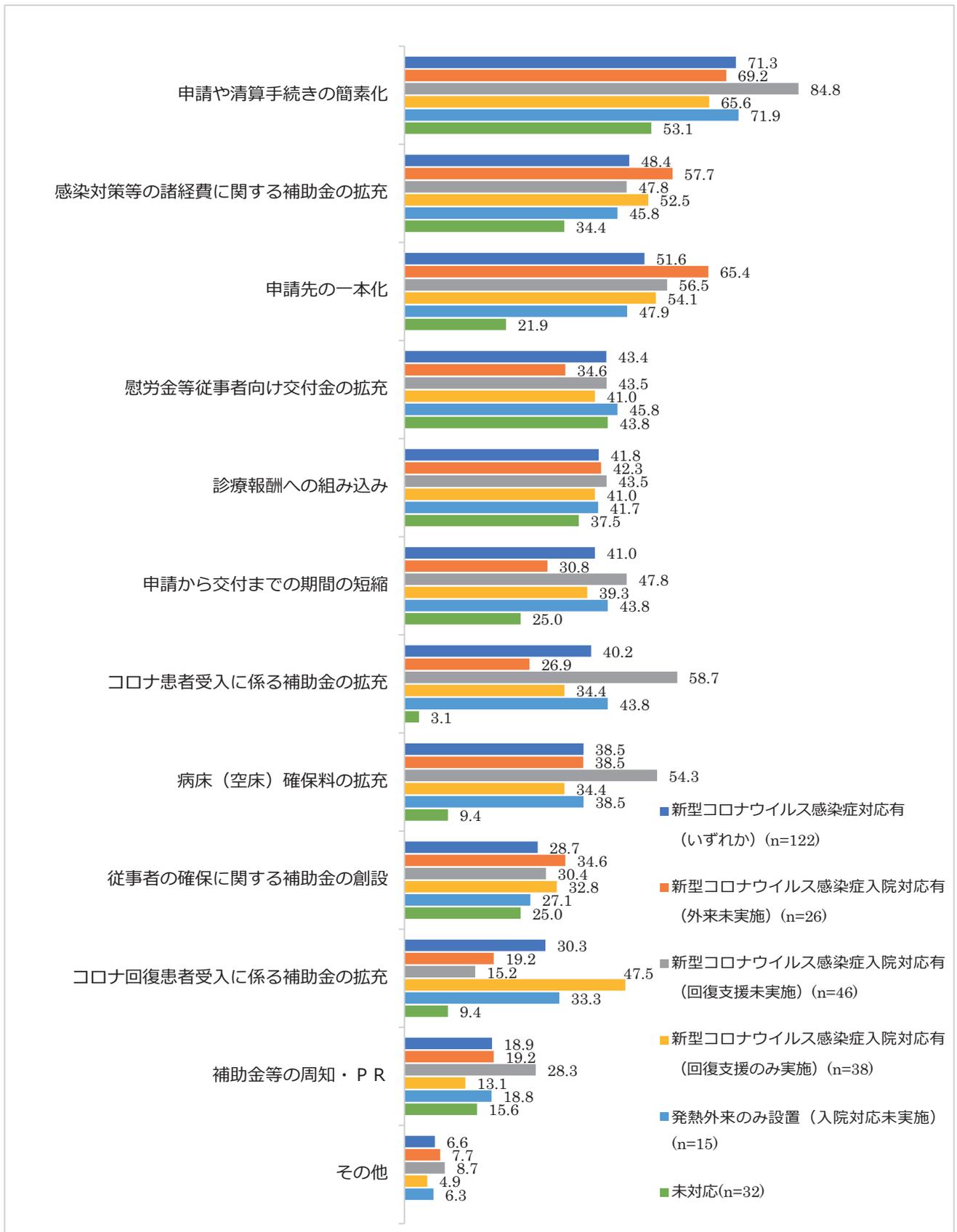
※コロナ関連の補助金等の制度のより望ましい形 その他の内容

当院は、妊婦さんの不安を抑えるため外来受入の指定は受けていないが、実態では毎月 50 名程度の疑い患者の診察をしている。このような対応にも補助金が出せないか考慮して欲しい。
直接コロナ患者の診療にあたらなくても、発熱外来に係る労力、経費に対しても補助をしていただきたい
設備・整備補助金の対象疾患の範囲(血栓への対応等)が狭すぎる
用途に柔軟性がほしい
補助金は使用上の制約が多く手続きも煩雑なため国立大学法人としては運営費交付金という形の交付が望ましい
補助事業の種類、名称を分かりやすくする等。令和 2 年度中の補助事業数や名称が似たものが多く、メールも多かったため混乱した。シンプル化すれば申請しやすい。
提出資料の簡略化、提出期日の緩和
補助金対象の明確化(担当者の見解統一化)

(図表 109) コロナ対応別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)①



(図表 110) コロナ対応別 コロナ関連の補助金等の制度について、より望ましい形をどのように考えるか(複数回答)②



## ポストコロナを踏まえた経営の在り方について

(図表 111) ポストコロナを踏まえた経営の在り方について考えていること(一部抜粋)

補助金頼りにならない診療報酬対応による収益増と人件費を中心とした費用削減
在宅医療の推進
COVID-19による制限がある中で、入院患者を他院との連携により増加させられる方針で、経営の良化を図っていく
耳鼻咽喉科は、外来患者数の減少のまま回復が見込めない状況にあります。ただし、聴覚系疾患は回復の兆しがあり、検査設備の拡充含めて増収対策を進める予定です
診療報酬改定の度重なる実質的なマイナス改定により病院経営はコロナ前から厳しい状況になっており、また、人材教育等も施設基準になっていることを考えると、人材教育に係る経費やコロナのような不測の事態を見据え、病院にもう少し経営的ゆとりもてる診療報酬体系を考慮すべきと考える
小規模医療機関では感染対策や看護師確保が厳しい
コロナ患者の受入れを予定した病院への補助金は相当高額計画されているが、コロナ患者を受け入れない当院には感染対策を行った費用の補填はあるが、コロナにより患者が激減した経営支援的な補助金は無い。コロナ禍による経営へのダメージをいかに回復させるか考えていく
今後平時に戻った時、休床していた病床を早々に埋めれる事が急務(新入院患者の確保)
経営の在り方ではありませんが、今回の補助金等では国や東京都よりも杉並区の補助金が充実しており経営が厳しい中、助けて頂きました
人材確保ができていないので、病院経営は今後より厳しい状況が想定される
地域連携を強化し、収益増加につなげる
医療従事者の確保にかなりの費用がかかるようになってきている。募集費用などに補助金を付与するのもいいが、紹介業者ばかりが得をするような仕組みに思えてならない。何らかの規制をかけていただきたい。そうでもしないとさらに募集費用がかさみ、経営を圧迫する
当院は、40年以上経過した老朽化した病院ということもあり人材確保、定着化の面で苦勞しています。看護師、医師も高齢化しておりその中でギリギリの経営をしています。地域医療の中でアフターコロナの患者受入など当院でできることはやっていきたいと思えます
COVID-19患者を受け入れるために行ってきた手術枠の制限などを徐々に解除し、大学病院として提供しなければならない高度な診療を行うことで、手術件数の増加と病床稼働率の上昇を図る必要がある
コロナ感染に伴い、コロナとあまり関係のない診療科(眼科や皮膚科など)を専門にされている医療機関が倒産するなど医療の存続にかかわる事態になっていると思えます。コロナ患者を受け入れる病院は確かに手厚い補助金が必要ですが、それ以外の医療機関は外来患者が減少するなど経営難になっています。そのような医療機関でも存続できる仕組みがあればと思います。全体的に診療報酬を上げるなどの施策が必要なのではないでしょうか

本業を示す医業利益ベースではまだまだ回復しておらず、新型コロナウイルス感染症は現状下火になったとはいえ、今後の再燃等を踏まえ引き続き体制を維持して行く必要はあり、使用できない病床も当然に一定数あり、空床確保はもちろんのこと、平常時に戻すまでの補助金等は必要と考える

クラスターが発生した病院では退職者が出たため、後の人材確保が難しく補充ができず、ニーズがあっても受入れができないといった事態になっているため、そのようなことになった時にプロジェクトが機能して応援や人材確保に向けたシステム構築があるとよいと思った

通常診療とコロナ対応の両立として、迅速な病床転換体制を整えること。紹介率、逆紹介率の向上や救急応需を積極的にとることにより患者確保

当法人の2病院の一括薬品入札による薬品購入削減。医師・看護師の増員

クラスター時も病院の機能が止まらないように、管理職の中から、2名以上のゼネラリストの人材育成を検討している

以上



---

令和3年度 東京都医師会調査研究委託事業 事業報告書

新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況と  
補助金等経営支援策の状況に関する調査

発行日:2022年(令和4年)3月

編集・発行:一般社団法人 東京都病院協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号

TEL:03-5217-0896

FAX:03-5217-0898

URL:<https://tha.or.jp>

Mail:[thaoffice@tha.or.jp](mailto:thaoffice@tha.or.jp)

協力:独立行政法人 福祉医療機構

---

